

受刑者，少年院在院者及び少年鑑別所在所者の生活と意識に関する調査（その1：少年編）

矯正協会附属中央研究所 保 木 正 和
 木 村 正 孝
 栗 栖 素 子
 澁 谷 和 子
 横 山 潔
 古 曳 牧 人¹

キーワード：少年院，少年鑑別所，非行，学校，規範意識，家族，職業補導

I はじめに

21世紀になって5年余，戦後60年を経た現在のわが国は，現代社会を説明するキーワードの中心に「少子高齢社会」を置いて，経済，政治，文化，教育，医療等国民の社会生活のあらゆる面で，その望ましい在り方を実現する上で解決することが容易でない種々の問題に直面している。矯正施設においては，こうした問題を背景や原因とした犯罪や非行によって収容される者が目立ってきている。もちろん，従前同様に成人施設においては覚せい剤事犯者，高齢受刑者，外国人受刑者等処遇が困難な者の収容は高水準の状況が続いている。少年施設では従来の価値観では測れなかったタイプの少年の受入れが増加しつつある状況である。

ところで，当中央研究所は，矯正行政に資するために矯正活動にかかる調査研究を様々な観点から行うことを要務の一つとしているが，今後の矯正処遇に役立つ当所における研究の在り方を考えたときに，矯正を取り巻く環境が先述のような実状にあることを踏まえて，矯正施設が全体として，あるいは組織別に，若しくは個々の施設別に，被収容者の改善更生，社会復帰に関する方策を検討する場合に，それに必要な基礎的資料が包括的かつ継続的に収集されていて，その資料を現場が情報として常時活用することができ，あるいは定期的に提供を受けることができる態勢を整える任があると思われる。この態勢を整えることによって，被収容者の処遇に関する基本的な情報が，組織別の全国統計として，内容として比較的広範囲にわたって，かつ，時系列的に比較研究する資料として活用することが可能となる。

¹ 現所属：川越少年刑務所

この観点から立ち上げた本研究によって収集する基礎的資料は、被収容者の意識や価値観の変化の方向を累積的データとして整理するものであり、その具体的な内容は、被収容者の家庭、学校、社会、交友関係等に対する満足度、自己意識、生活意識、価値観等に関するもの及び被収容者の施設処遇に対する受け止め方、意味や価値の置き方等に関するものである。

このような趣旨から、本調査は、今回が「第1回目の調査」であるが、今後は原則として、同一調査方式によって5年ごとに定期的に調査を実施することを予定している。また、本研究の調査対象者は、全国の行刑施設、少年院及び少年鑑別所の被収容者であるが、今回の報告（その1：少年編）は、少年院在院者及び少年鑑別所所在所者を調査対象者とした第1回目の報告である。受刑者を調査対象者とする第1回目の調査は、既に平成17年に実施しており、中央研究所紀要第16号（次号）において、その結果を報告することとしている。

II 目的

少年鑑別所所在所者及び少年院在院者の意識及び価値観を調査することにより、矯正処遇の一層の充実を図るための基礎資料を得る。

III 方法等

1 調査期間

平成16年10月15日発送した調査票が各調査対象施設に送達された翌日以降から、平成16年11月15日までである。

2 調査対象者

全国の少年鑑別所（52施設）に在所している者1,000名及び少年院（52施設（分院1施設を含む。））に在院している者1,000名の合計2,000名である。

なお、少年院のうち、新潟県中越地震のため調査対象者が全員移送となった新潟少年学院については調査対象施設から除外した。

各施設の調査対象者数は、各施設の収容定員から一定の基準を設けて算出する方法によった。少年院の場合は、処遇課程が複数設けられている施設があることから、調査対象者の指定は、特定の処遇課程に偏らないように、かつ、短期処遇と長期処遇のバランスを取って行われるように依頼した。併せて、調査対象者が、新入時教育過程、中間期教育過程及び出院準備教育過程（以下「新入時期」、「中間期」及び「出院準備期」という。）のいずれかに集中しないように指定するように依頼した。新入時期のうち、考査期間中の少年と、移送前施設で本調査を受けた場合や少年鑑別所所在所中に本調査を受けた少年院在院者は、調査対象者から除いた。

表1 調査対象者（組織別・性別・性別・少年院入院歴の有無別）

組織別	性別		性										
	合計	男子計	男子計					女子計					
			少年鑑別所 入所歴 (小計)	少年院入院歴の有無 はじめて (1回)	2回以上	少年院に 入ったこ とはない	無回答・ 未記入	少年鑑別所 入所歴 (小計)	少年院入院歴の有無 はじめて (1回)	2回以上	少年院に 入ったこ とはない	無回答・ 未記入	
少年鑑別所	970 (100.0)	851 (87.7)	はじめて(1回) 571 (58.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	571 (58.9)	0 (0.0)	119 (12.3)	はじめて(1回) 98 (10.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	98 (10.1)	0 (0.0)
			2回以上 264 (27.2)	16 (1.6)	16 (1.6)	172 (17.7)	0 (0.0)		2回以上 20 (2.1)	8 (0.8)	2 (0.2)	10 (1.0)	0 (0.0)
			無回答 16 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (1.6)		無回答 1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)
少年院	978 (100.0)	840 (85.9)	はじめて(1回) 339 (34.7)	339 (34.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	138 (14.1)	はじめて(1回) 85 (8.7)	85 (8.7)	39 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
			2回以上 501 (51.2)	269 (27.5)	232 (23.7)	0 (0.0)	0 (0.0)		2回以上 52 (5.3)	0 (0.0)	13 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
			無回答 0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		無回答 1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.1)	1 (0.1)
合計	1,948 (100.0)	1,691 (86.8)	はじめて(1回) 910 (46.7)	339 (17.4)	0 (0.0)	571 (29.3)	0 (0.0)	257 (13.2)	はじめて(1回) 183 (9.4)	85 (4.4)	0 (0.0)	98 (5.0)	0 (0.0)
			2回以上 765 (39.3)	345 (17.7)	248 (12.7)	172 (8.8)	0 (0.0)		2回以上 72 (3.7)	47 (2.4)	15 (0.8)	10 (0.5)	0 (0.0)
			無回答 16 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (0.8)		無回答 2 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.1)

注1 () 内は、構成比である。
 2 少年鑑別所所在者と少年院在院者の回答を合わせて作成したものである。少年院在院者用調査票には「少年院に入ったことはない」の選択肢はない。

有効回答総数は、少年鑑別所所在者970名、少年院在院者978名、合計1,948名（有効回答率97.4パーセント）である。ただし、回答の不備が多い調査票は分析対象から除外した。

表1は、調査対象者を組織別に示したものである。

なお、有効回答のものであっても、設問によっては無回答・未記入の項目がある場合は、欠損値として、それぞれの設問項目の分析対象から除外したため、設問項目の回答総数が有効回答総数と一致しない場合がある。

3 調査方法

調査方法は、少年鑑別所所在者及び少年院在院者それぞれが自ら記載する択一回答方式を中心とする少年用調査票と、施設職員に作成を依頼した職員調査票の2種類である。調査対象者の調査への協力は任意としており、また、集団場面で実施するか、個別に実施するかについては調査実施施設にゆだねた。

IV 調査内容

職員用調査票と少年用調査票の項目は、次のとおりである（調査票の内容は、巻末資料のとおりである。）。

なお、調査票の作成に当たっては、次のことに留意した。調査対象者は、少年鑑別所に入所し、又は少年院に入院したことを契機として、自分の生活環境、自分が行った非行行為、あるいは家庭等に関する意識が変化していると思われるので、1 入所・入院以前の意識、2 入所・入院している現在の意識、3 退所・出院後を見通した意識のそれぞれが区別しやすいように工夫した。

1 職員用調査票

(1) 家族の状況等

- ・ 兄弟姉妹状況等

(2) 非行の内容等

- ・ 非行名（主たる非行名）、今回の非行による被害者の死亡の有無
- ・ 調査日現在の分類級、教育過程等（少年院のみ回答）

2 少年用調査票

(1) 属性

- ・ 性別
- ・ 年齢
- ・ 一緒に暮らしていた人
- ・ 兄弟姉妹の有無

- ・ 仕事の有無
 - ・ 少年鑑別所入所回数，少年院入院回数
 - ・ 学歴
- (2) 学校生活
 - (3) 交友関係
 - (4) 家族
 - (5) 仕事
 - (6) 規範意識，非行の原因等
 - (7) 被害者についての考え方
 - (8) 少年鑑別所・少年院の生活，生活設計等

V 調査結果

調査票の集計に当たって，未記入や無回答は欠損値として処理しているため，質問項目によって，回答者総数が異なる場合がある。

なお，本調査では少年鑑別所所在者，少年院在院者のそれぞれについて調査票を作成して調査を実施したが，集計に当たっては全体を取りまとめて統計処理しており，原則として男女の性別により集計結果を示している。この理由は，少年鑑別所，少年院の各々の施設の設置目的や収容される少年の法的身分によって，回答結果に影響を与えることは十分考えられることであるが，本調査の目的は，少年鑑別所に入所，又は少年院に入院する非行少年全般の意識を把握することにあるため，収容施設の別ではなく性別による集計を行った。

また，調査日現在に少年鑑別所に在院している者の中には，過去に少年院に入院したことのある少年も含まれる。少年の非行性の進捗による生活意識の相違を見るという観点から，設問によっては調査日現在に少年院に在院していることを含めて少年院に入院したことが1度でもある者（以下「少年院入院歴のある者」という。）と，少年院入院歴が1度もない者（以下「少年院入院歴のない者」という。）との2群に分けて，2群間の比較を行った。

なお，少年鑑別所所在者用調査票と少年院在院者用調査票の一部の質問項目又は選択肢は，収容施設に応じて表現が異なるものがあるが，設問の趣旨は同じであることから，集計上は1つの質問項目又は選択肢として合体して集計している。

1 属性

(1) 家族

ア 保護者

少年鑑別所所在者・少年院在院者（以下「回答者」という。）（回答総数1,946名）

の約88パーセントの者には、実父母、又は実父、実母のいずれかの保護者がいる。

イ 兄弟姉妹の数

回答者（回答総数1,948名）の90.4パーセントの者（1,761名）には、兄弟姉妹がいる。兄弟姉妹のいる者について、回答者本人を除く兄弟姉妹の数は、1名から11名までであり、そのうち1名は43.3パーセントと最も多く、次に2名が37.1パーセントである。

ウ 兄弟姉妹の保護処分歴・不良集団加入歴、薬物使用歴の有無

兄弟姉妹のいる者のうち、兄弟姉妹の保護処分歴のある者は、12.4パーセント（218名）であり、兄弟姉妹の不良集団加入歴がある者は、6.8パーセント（119名）である。また、兄弟姉妹の薬物使用歴がある者は、4.1パーセント（72名）である（資料1参照）。

(2) 非行

ア 非行名（主たる非行名）

回答者（回答総数1,948名）について、今回の非行名について見たものが表2である。窃盗が36.1パーセントと最も多く、次に傷害・暴行が17.2パーセント、道路交通法が10.4パーセント、恐喝が7.0パーセント、強盗が6.3パーセントの順である。これを男女別に見ると、男子（総数1,691名）の場合は、窃盗が38.0パーセントと最も多く、次に傷害・暴行が16.5パーセント、道路交通法が11.6パーセント、恐喝が7.4パーセント、強盗が6.7パーセントである。少年院在院者・少年鑑別所在所者の女子（総数257名）の場合は、窃盗が23.7パーセントと最も多く、次に、傷害・暴行が22.2パーセント、く犯が16.0パーセント、覚せい剤が14.8パーセント、恐喝が4.7パーセントである。

イ 今回の非行による被害者の死亡の有無

回答者（回答総数1,928名）のうち、被害者のいる非行事件の者は85.2パーセントである。被害者が死亡している非行事件は、傷害・暴行、殺人及び道路交通法違反であり、総数の1.3パーセントを占める。

表2 主たる非行名（性別）

非行名	合計	性別	
		男子	女子
殺人	11 (0.6)	8 (0.5)	3 (1.2)
強盗	122 (6.3)	113 (6.7)	9 (3.5)
傷害・暴行	336 (17.2)	279 (16.5)	57 (22.2)
恐喝	137 (7.0)	125 (7.4)	12 (4.7)
窃盗	704 (36.1)	643 (38.0)	61 (23.7)
強姦・強制わいせつ	64 (3.3)	59 (3.5)	5 (1.9)
覚せい剤	63 (3.2)	25 (1.5)	38 (14.8)
毒物及び劇物（シンナー）	51 (2.6)	42 (2.5)	9 (3.5)
道路交通法	203 (10.4)	196 (11.6)	7 (2.7)
ぐ犯	67 (3.4)	26 (1.5)	41 (16.0)
その他	190 (9.8)	175 (10.3)	15 (5.8)
合計	1,948 (100.0)	1,691 (100.0)	257 (100.0)

注1 ()内は，構成比である。

2 未遂を含む。

(3) 調査日現在の分類級等（少年院在院者のみ回答）

ア 種別別（表3）

中等少年院に在籍している者は82.9パーセントと最も多く，次に初等少年院が10.6パーセント，特別少年院は4.4パーセント，医療少年院は2.0パーセントの順である。

イ 教育過程別・処遇区分別（性別）（表4）

短期処遇を実施する少年院在院者は21.0パーセント（205名）であり，長期処遇を実施する少年院在院者は79.0パーセント（773名）である（資料2参照）。

表3 種別別（性別）

種別	合計	男	女
初等	104 (10.6)	71 (8.5)	33 (23.9)
中等	811 (82.9)	714 (85.0)	97 (70.3)
特別	43 (4.4)	41 (4.9)	2 (1.4)
医療	20 (2.0)	14 (1.7)	6 (4.3)
合計	978 (100.0)	840 (100.0)	138 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

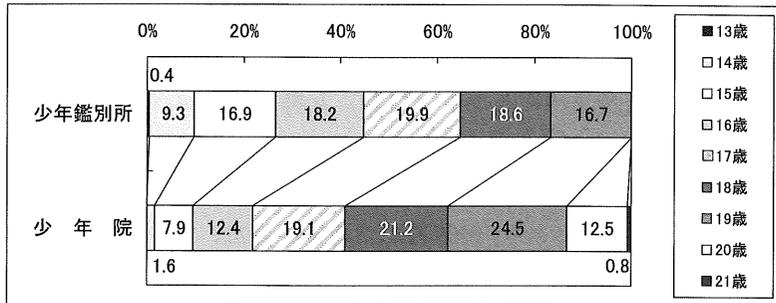
表4 教育過程・処遇区分別（性別）

		合計	短期処遇		長期処遇
			特修短期 処 遇	一般短期 処 遇	
男	新入時期	174 (20.7)	0	35 (19.0)	139 (21.2)
	中間期	422 (50.2)	1 (100.0)	86 (46.7)	335 (51.1)
	出院準備期	244 (29.0)	0	63 (34.2)	181 (27.6)
	計	840 (100.0)	1 (100.0)	184 (100.0)	655 (100.0)
女	新入時期	23 (16.7)	0	3 (15.0)	20 (16.9)
	中間期	77 (55.8)	0	10 (50.0)	67 (56.8)
	出院準備期	38 (27.5)	0	7 (35.0)	31 (26.3)
	計	138 (100.0)	0	20 (100.0)	118 (100.0)
合計		978 (100.0)	1 (100.0)	204 (100.0)	773 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

(4) 年齢（表5）

図1は，回答者別の年齢別構成比を見たものである。調査時点での年齢の幅は13歳から21歳までであり，全体の平均年齢は17.2歳である。組織別に見ると，少年鑑別所在者には14歳未満の触法少年は4名在所しており，全員が13歳である。少年院在院者は，19歳，18歳，17歳の順に多く，少年鑑別所在者では，17歳，18歳，16歳の順である。少年院在院者の場合は，入院後の教育期間が経過しているため，少年鑑別所入所者と比べると年齢がやや高めている。



注 少年院への送致年齢は14歳以上である。少年鑑別所は，20歳以上の者を収容することもあるが，今回の調査期間は，20歳以上の者の入所者はいなかった。

図1 調査対象者の年齢別構成比（組織別）

表5 対象者の年齢

	合計	組織別					
		少年鑑別所			少年院		
		計	男子	女子	計	男子	女子
13歳	4 (0.2)	4 (0.4)	4 (0.5)	0			
14歳	106 (5.4)	90 (9.3)	61 (7.2)	29 (24.4)	16 (1.6)	7 (0.8)	9 (6.5)
15歳	241 (12.4)	164 (16.9)	143 (16.8)	21 (17.6)	77 (7.9)	58 (6.9)	19 (13.8)
16歳	298 (15.3)	177 (18.2)	159 (18.7)	18 (15.1)	121 (12.4)	99 (11.8)	22 (15.9)
17歳	380 (19.5)	193 (19.9)	181 (21.3)	12 (10.1)	187 (19.1)	153 (18.2)	34 (24.6)
18歳	387 (19.9)	180 (18.6)	164 (19.3)	16 (13.4)	207 (21.2)	184 (21.9)	23 (16.7)
19歳	402 (20.6)	162 (16.7)	139 (16.3)	23 (19.3)	240 (24.5)	222 (26.4)	18 (13.0)
20歳	122 (6.3)	0	0	0	122 (12.5)	110 (13.1)	12 (8.7)
21歳	8 (0.4)	0	0	0	8 (0.8)	7 (0.8)	1 (0.7)
合計	1,948 (100.0)	970 (100.0)	851 (100.0)	119 (100.0)	978 (100.0)	840 (100.0)	138 (100.0)

注1 ()内は，構成比である。

2 少年鑑別所は，20歳以上の者を収容することもあるが，今回の調査の期間は，20歳以上の者の入所者はいなかった。また，少年院への送致年齢は14歳以上である。

(5) 一緒に暮らしていた人

回答者（回答総数1,930名）のうち、今回の本件事件のときに一人暮らしをしていた者は61名（3.2パーセント）であり、父と母を選択した者については見ると、母は約70パーセント、父は約50パーセントである。

(6) 少年鑑別所入所時・少年院入院時の就職状況

今回の本件事件で少年鑑別所に入所した時点又は少年院に入院した時点における就職状況を見ると、回答者（回答総数1,946名）の40.1パーセントの者は仕事をしてしたが、59.9パーセントの者は仕事をしていなかった。仕事をしていた者について男女別に見ると、男子（総数1,689名）は、42.0パーセント（710名）が仕事をしてしたが、女子（総数257名）は27.6パーセント（71名）と男子の約66パーセントにとどまる。

(7) 少年鑑別所入所・少年院入院回数

回答者（回答総数1,930名）のうち、矯正施設へ入所したのが今回の少年鑑別所入所が最初の者は34.7パーセント（669名）である。また、今回の少年院入院を含めて、少年院へ入院した回数が1回の者は42.3パーセント（816名）であり、2回以上の者は13.6パーセント（263名）である（Ⅲ 2表1参照）。

(8) 学歴

表6は、調査時における最終学歴を見たものである。中学校卒業が35.5パーセントと最も多く、次に、高校・専門学校中退が32.8パーセント、高校・専門学校在学中が13.3パーセントである。女子は、中学校在学中の者の比率が男子より高い。

表6 学歴（性別）

	合計	性別	
		男子	女子
中学校在学中	247 (12.7)	189 (11.2)	58 (22.6)
中学校卒業	690 (35.5)	596 (35.3)	94 (36.6)
高校・専門学校在学中	259 (13.3)	239 (14.2)	20 (7.8)
高校・専門学校中退	639 (32.8)	564 (33.4)	75 (29.2)
高校・専門学校卒業	79 (4.1)	72 (4.3)	7 (2.7)
その他	32 (1.6)	29 (1.7)	3 (1.2)
合計	1,946 (100.0)	1,689 (100.0)	257 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

2 学校生活

少年鑑別所入所、少年院入院前の学校生活の面について、少年たちがどのように意識していたかを総務庁青少年対策本部の調査（2000）を参考にして10項目の設問によって調べた。

(1) 学校生活についての意識

ア 授業の内容はよくわかった（図2）

「そう思った」と回答した者は、男女とも10パーセント未満であり、「そう思わなかった」と回答した者は男女ともに30パーセント以上を占めている。男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「そう思わなかった」とする者が有意に多く、「そう思った」、「どちらかといえばそう思った」、「どちらかといえばそう思わなかった」とする者が有意に少ない（ $\chi^2(4)=100.61$, $p<.01$ ）（以下、集計結果についてカイ二乗検定を行った場合は同様に示す。回答数等の関係からカイ二乗検定が不適切な場合は除く。）（資料3参照）。

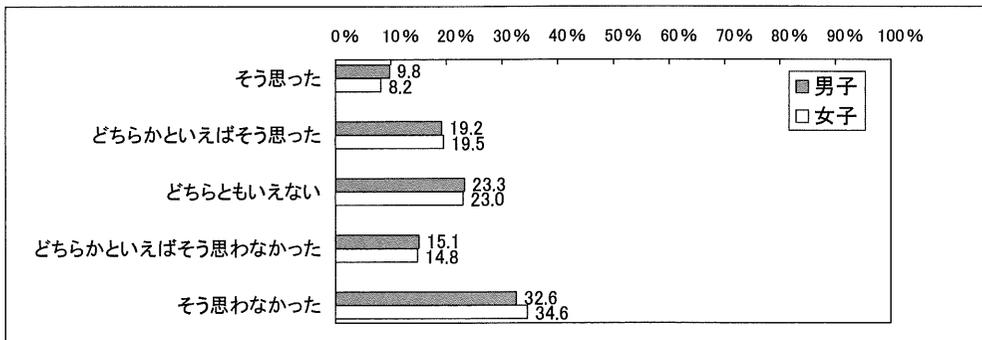


図2 授業の内容はよくわかった

イ クラブ活動や部活動は楽しかった（図3）

「そう思った」と回答した者は、男子は43.5パーセント、女子は33.3パーセントである。男子については、女子よりも「そう思った」とする者が有意に多い（ $\chi^2(4)=25.12$, $p<.01$ ）。男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「そう思わなかった」とする者が有意に多く、「そう思った」とする者が有意に少ない（ $\chi^2(4)=23.78$, $p<.01$ ）。

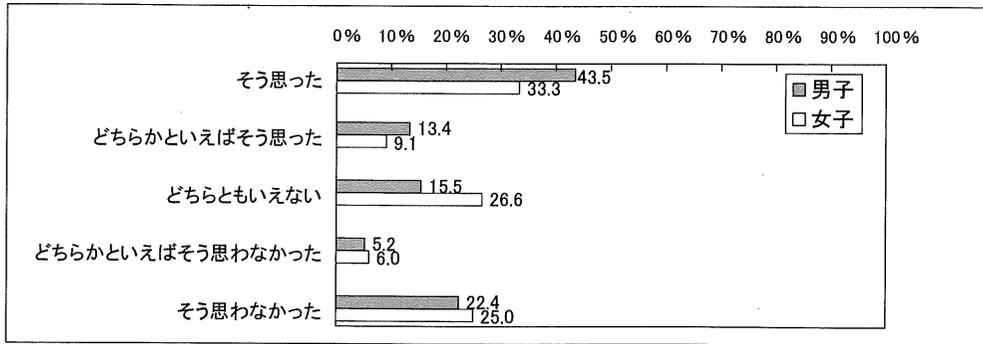


図3 クラブ活動や部活動は楽しかった

ウ 学校の校則は厳しかった (図4)

「そう思わなかった」とする者は、男女とも約40パーセントである。男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「そう思わなかった」とする者が有意に多く、「そう思った」、「どちらかといえばそう思った」、「どちらかといえばそう思わなかった」とする者が有意に少ない ($\chi^2(4)=76.43, p<.01$)。

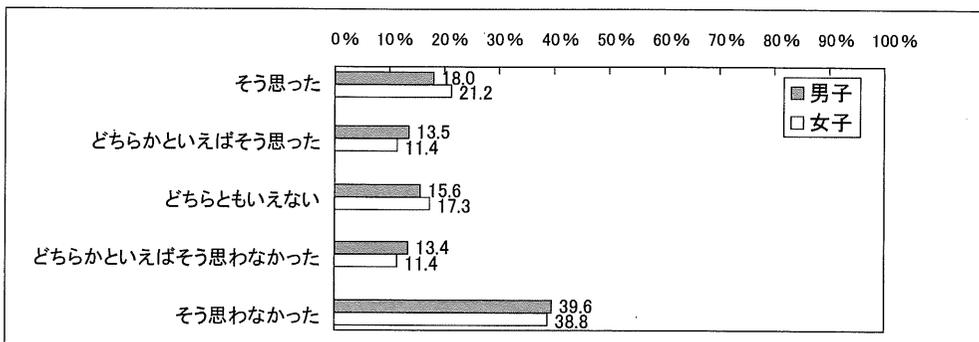


図4 学校の校則は厳しかった

エ 友だちは学校以外の友だちと過ごすほうが楽しかった (図5)

「そう思った」と回答した者は、男子よりも女子の比率が高い (男子27.1パーセント、女子38.9パーセント)。男子について「そう思った」とする者は、女子よりも有意に低く、「そう思わなかった」とする者は有意に多い ($\chi^2(4)=27.26, p<.01$)。男女とも、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「そう思った」とする者が有意に多く、「そう思わなかった」とする者が有意に少ない。加えて、男子について、少年院入院歴のない者は少年院入院歴のあるものよりも、「どちらともいえない」、「どちらかといえばそう思わなかった」とする者が有意に少ない (男子； $\chi^2(4)=26.33, p<.01$, 女子； $\chi^2(4)=15.53, p<.01$)。

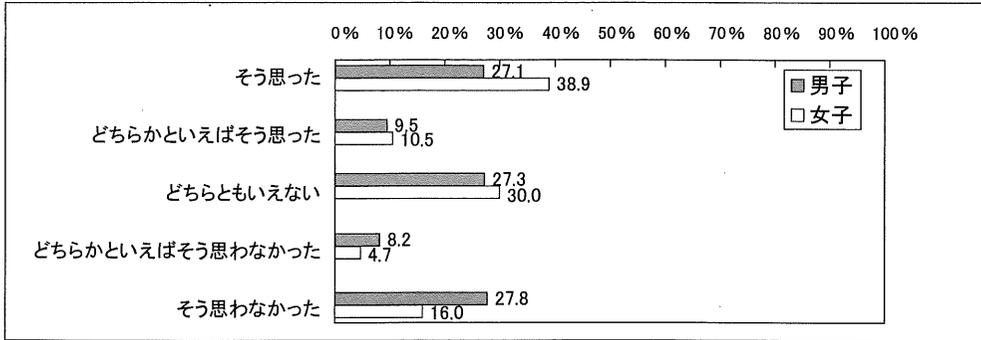


図5 友だちは学校以外の友だちとすごすほうが楽しかった

オ 学校は楽しかった (図6)

「そう思った」と回答した者は、男子は43.5パーセント、女子は33.1パーセントである。「そう思った」とする者は、男子は女子よりも有意に多く、「どちらかといえばそう思わなかった」、「そう思わなかった」とする者は有意に少ない ($\chi^2(4) = 15.75, p < .015$)。男女とも、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「そう思わなかった」とする者が有意に多く、「そう思った」とする者が有意に少ない (男子; $\chi^2(4) = 51.59, p < .01$, 女子; $\chi^2(4) = 17.18, p < .01$)。

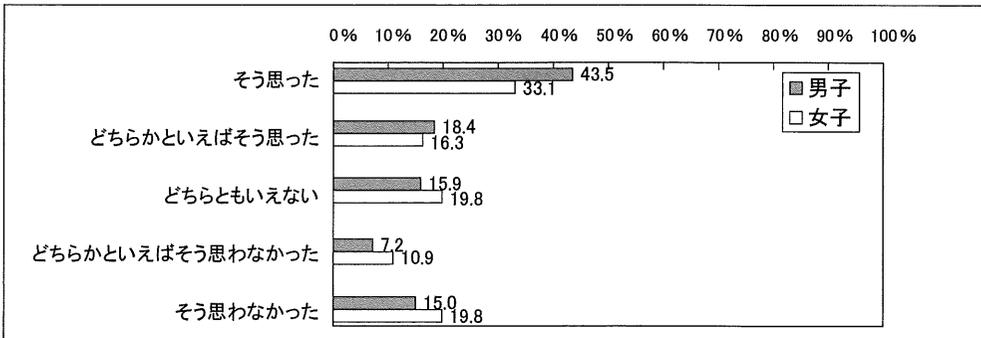


図6 学校は楽しかった

カ できることなら学校をやめたいと思っていた (図7)

「そう思わなかった」と回答した者は、男子は51.0パーセント、女子は40.1パーセントである。女子は男子よりも「そう思った」とする者が有意に多く、「そう思わなかった」とする者が有意に少ない ($\chi^2(4) = 24.59, p < .01$)。男女とも、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「そう思った」とする者が有意に多く、「そう思わなかった」とする者が有意に少ない (男子; $\chi^2(4) = 48.40, p < .01$, 女子; $\chi^2(4) = 15.07, p < .05$)。

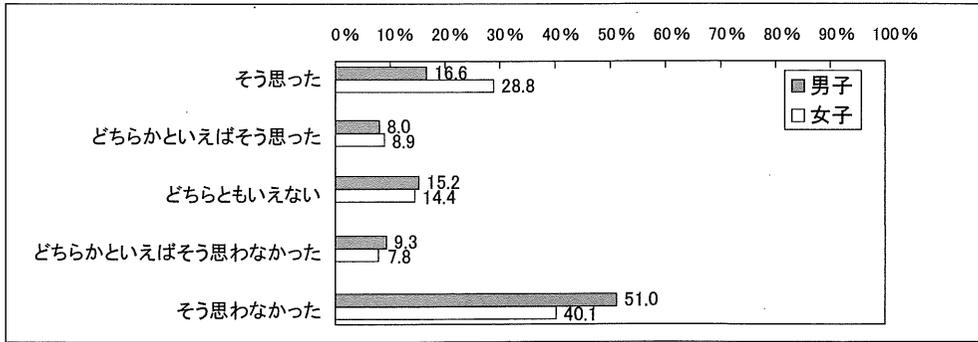


図7 できることなら学校をやめたいと思っていた

キ 先生は生徒のことを公平に取り扱っていた (図8)

「そう思わなかった」者は30パーセント台であるが、「そう思った」とする者は20パーセント台である。男女とも「そう思わなかった」とする者は、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも有意に多い。加えて、男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「どちらともいえない」とする者は有意に多く、「そう思った」、「どちらかといえばそう思った」とする者が有意に少ない (男子; $\chi^2(4)=102.02$, $p<.01$, 女子; $\chi^2(4)=9.71$, $p<.05$)。

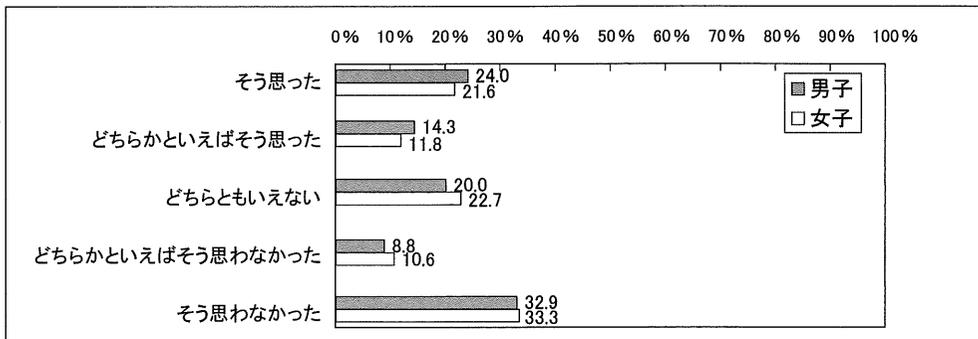


図8 先生は生徒のことを公平に取り扱っていた

ク クラスでは、いじめられていた (図9)

「そう思わなかった」と回答した者は約8割である。男子について、「そう思わなかった」とする者は女子よりも有意に多く、「そう思った」とする者は有意に少ない ($\chi^2(4)=17.57$, $p<.01$)。男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「そう思った」とする者は有意に多く、「そう思わなかった」とする者が有意に少ない ($\chi^2(4)=12.68$, $p<.01$)。

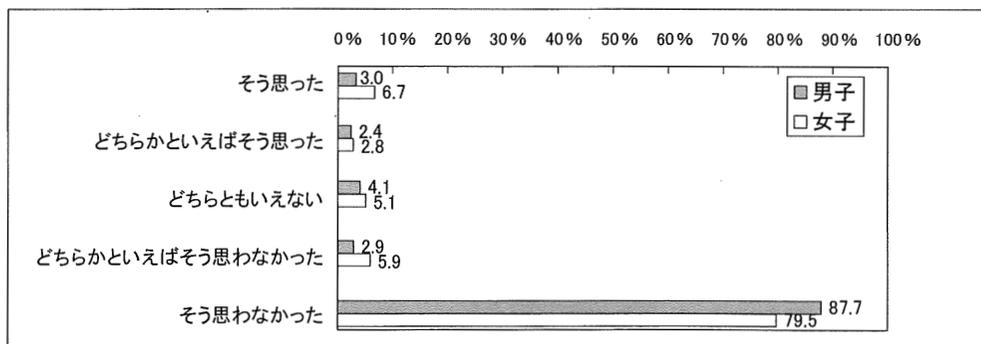


図9 クラスでは、いじめられていた

ケ 先生を信頼していた (図10)

「そう思わなかった」と回答した者は、男子は32.3パーセント、女子は40.1パーセントであり、女子の比率がやや高い。また、女子について、男子よりも「そう思わなかった」とする者が有意に多い ($\chi^2(4)=10.22$, $p<.05$)。男女とも少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「そう思わなかった」とする者が有意に多く、「そう思った」、「どちらかといえばそう思った」とする者が有意に少ない (男子; $\chi^2(4)=119.58$, $p<.01$, 女子 $\chi^2(4)=25.76$, $p<.01$)。

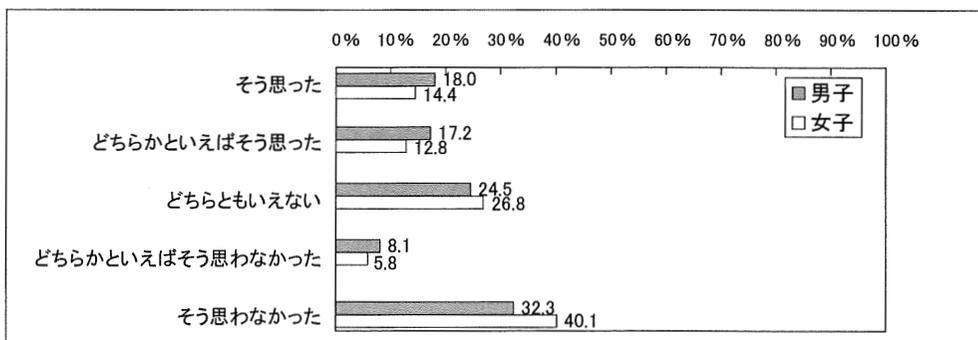


図10 先生を信頼していた

コ クラスの中では浮いていた (図11)

「そう思った」と回答した者は、男女とも3割以上である。

男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「そう思った」とする者が有意に多く、「どちらかといえばそう思わなかった」、「そう思わなかった」とする者が有意に少ない ($\chi^2(4)=85.89$, $p<.01$)。

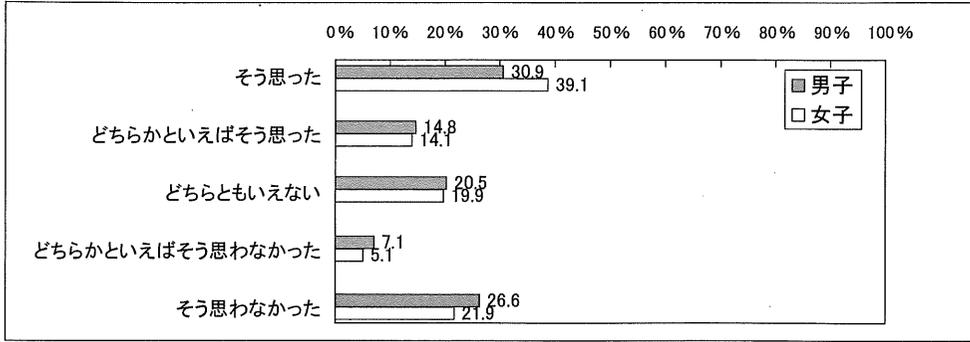


図11 クラスの中では浮いていた

(2) 勉学の意義について

勉学の意義についての調査項目は、平成12年3月に総務庁青少年対策本部（現 内閣府政策統括官（共生社会政策担当））から当中央研究所に調査の委託があった「青少年の暴力観と非行に関する研究調査」の調査項目を引用し、その一部を修正して設定した。それぞれの質問項目では、「進路に必要な勉強であり、興味がある」と「将来人並みの生活のためには学校の勉強は必要である」は、勉学の意義を肯定しているが、前者の質問項目は積極的に肯定しており、後者の質問項目は、前者よりも積極的な肯定はしていない。「将来学校の勉強が役に立つとは思わないが、仕方がないからやる」は、勉学の意義を否定しているが、全面否定はしておらず、両価的な表現となっている。「勉強は役に立たない。クラブ活動・部活動や友だちの付き合いは楽しい」と「学校生活で役に立つものはない」は勉学の意義を否定しているが、前者は、勉強以外のクラブ活動や友人との付き合いに意義を見出そうとしているものであり、後者は、学校生活の意義を全面否定しているものである。

図12は、この結果を示したものである。男女ともに約40パーセントの者は「将来人

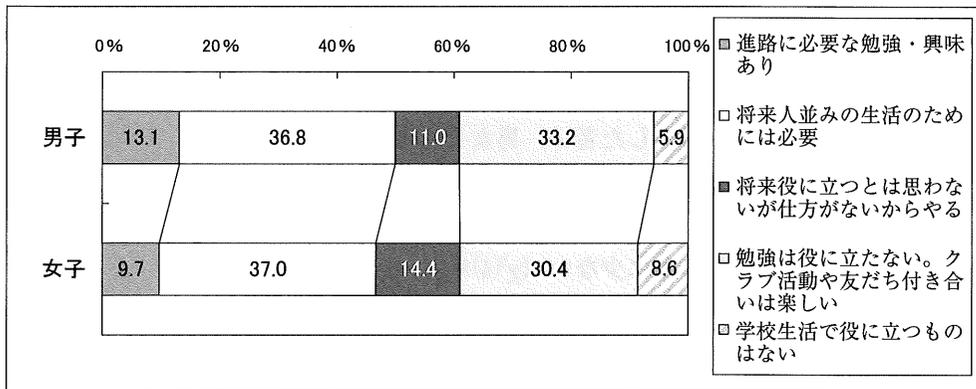


図12 勉学の意義について

並みの生活をずるためには、学校の勉強は必要だと思う」と勉学の意義を肯定した回答をしており、「学校の勉強は役に立たないが部活や友だちとの付き合いは楽しい」と回答した者は、約30パーセントである（資料4参照）。

男女別では、有意差は見られなかったが、少年院入院歴の有無別に見ると、男女とも有意な結果である。すなわち、男女ともに少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「学校生活で役に立つものはない」とする者が有意に多い。加えて、男子については、少年院入院歴のない者は「自分の進路に必要。興味あり」、「将来のために勉強は必要」とする者が有意に多く、「勉強は役に立たないが、クラブ活動は楽しい」が有意に少ない。また、女子については、少年院入院歴のない者は、将来のために勉強は必要とする者が少年院入院歴のある者よりも有意に多く、仕方がないから勉強するが有意に少ない（男子； $\chi^2(4)=97.97$, $p<.01$, 女子； $\chi^2(4)=24.91$, $p<.01$ ）。

(3) 学校生活の満足度

図13は、学校生活の満足を示したものである。男子については「まあ満足していた」が女子よりも有意に多く、「不満であった」が有意に少ない（ $\chi^2(4)=23.27$, $p<.01$ ）。男女とも少年院入院歴のある者は、少年院入院歴のない者よりも「不満であった」が有意に多く、「満足していた」、「まあ満足していた」が有意に少ない。加えて男子の少年院入院歴のある者は、「どちらともいえない」が少年院入院歴のない者よりも有意に多い（男子； $\chi^2(4)=106.52$, $p<.01$, 女子； $\chi^2(4)=31.62$, $p<.01$ ）。

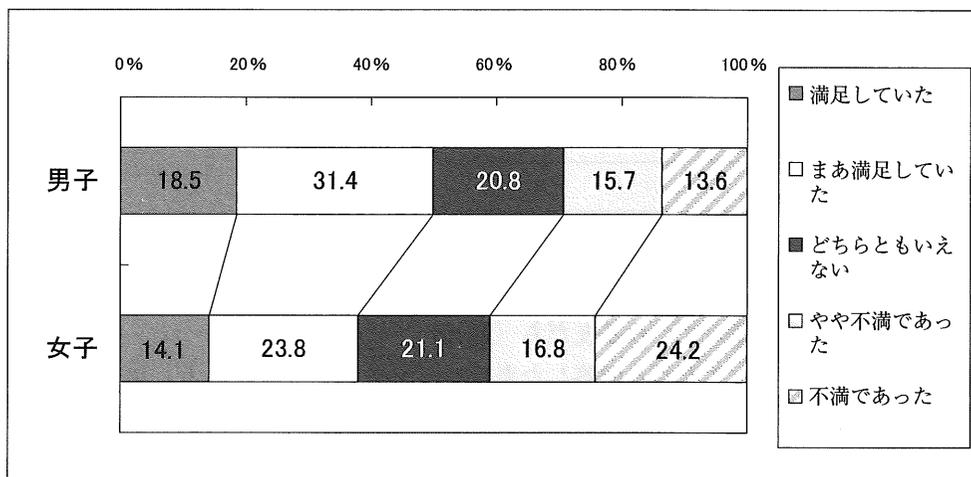


図13 学校生活の満足度

3 交友関係

(1) 友だちとの関係

少年は日ごろの交友関係の中で、友人との関係をどのように感じているのであろうかということについて調査した。全般的に「2～3人」と回答する傾向が見られる。気軽に話したり、一緒に遊ぶ友人については、少年鑑別所在所者、少年院在院者ともに人数の多い選択をしているが、少年院在院者は、少年鑑別所在所者よりも「いない」という否定的な回答をする者が多い傾向がある。少年鑑別所在所者と少年院在院者では、保護処分を受ける前後、矯正教育の有無など、それぞれの立場や内省の深まり等が友人関係に対する視点の違いに現れていると思われる（資料5参照）。

ア 困ったときに助けてくれる友だち（図14）

男女とも「2～3人」と回答した者が30パーセント以上であり最も多い。「いない」と回答した者は、男女とも10パーセント未満（男子5.6パーセント、女子7.0パーセント）である。男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「いない」とする者が有意に多い（ $\chi^2(5)=12.65, p<.05$ ）。

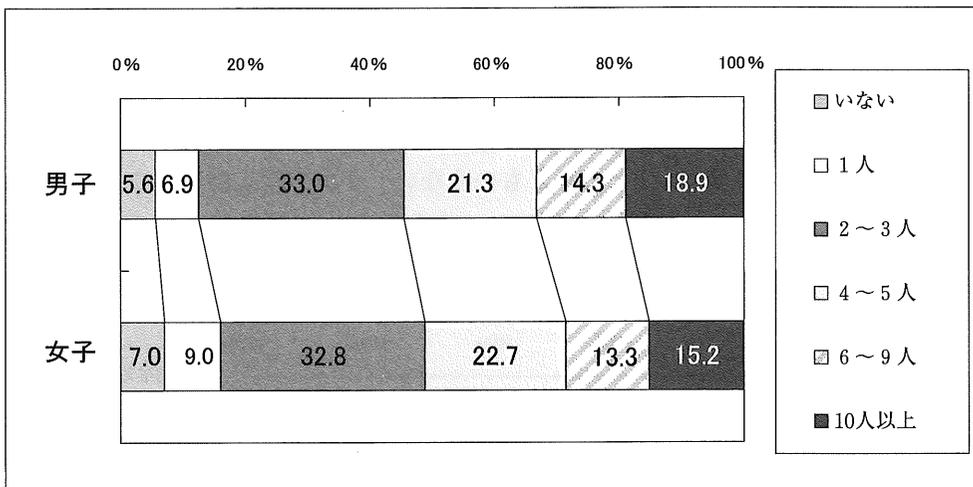


図14 困ったときに助けてくれる友だち

イ 悩みや不満を聞いてくれる友だち（図15）

男女とも「2～3人」と回答した者は40パーセント前後である。男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「いない」とする者が有意に多く、「4～5人」とする者が有意に少ない（ $\chi^2(5)=12.17, p<.05$ ）。

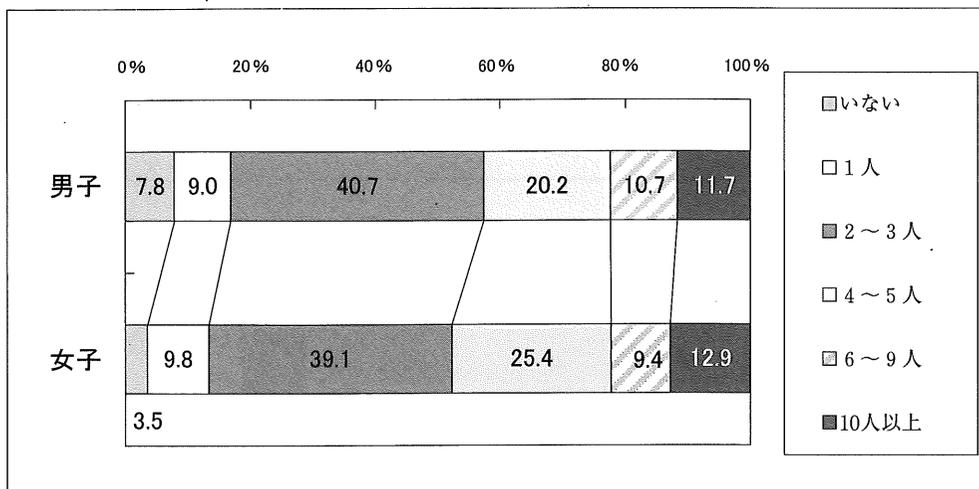


図15 悩みや不満を聞いてくれる友だち

ウ 自分を大切にしてくれる友だち（図16）

女子について「1人」とする者が男子よりも有意に多い ($\chi^2(5)=12.11, p<.05$)。男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「いない」, 「1人」とする者が有意に多く, 「6~9人」, 「10人以上」とする者が有意に少ない。女子は、男子よりも「いない」, 「2~3人」とする者が有意に少ない (男子; $\chi^2(5)=53.26, p<.01$, 女子; $\chi^2(5)=14.95, p<.01$)。

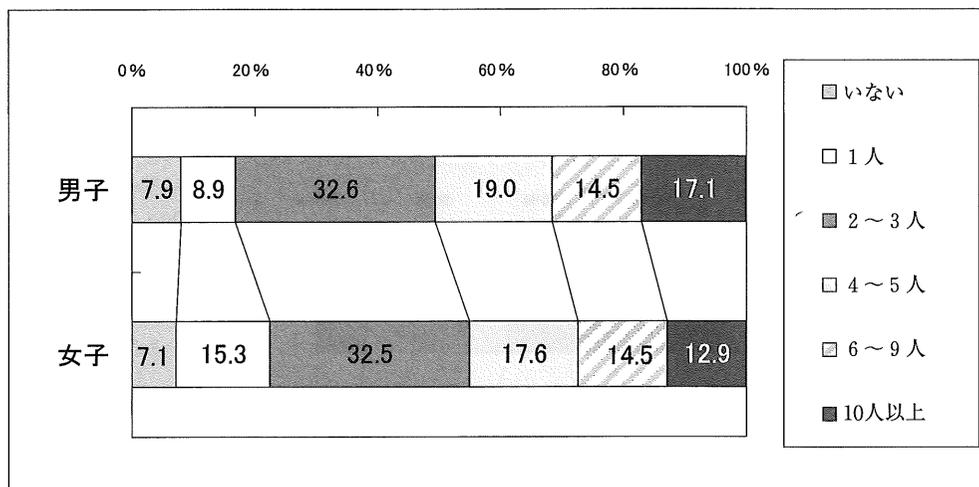


図16 自分を大切にしてくれる友だち

エ 自分を成長させてくれる友だち（図17）

女子について「1人」とする者が男子よりも有意に多い ($\chi^2(5)=14.25, p<.05$)。

男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「いない」、
「1人」とする者が有意に多く、4人以上の選択をする者が有意に少ない。女子は
「いない」とする者が有意に多く、「6～9人」とする者が有意に少ない（男子；
 $\chi^2(5)=77.48, p<.01$, 女子； $\chi^2(5)=17.65, p<.05$ ）。

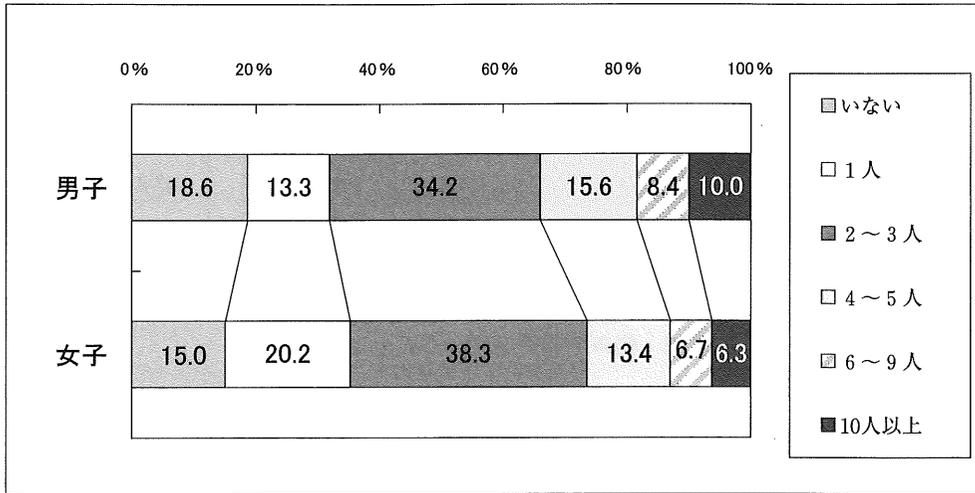


図17 自分を成長させてくれる友だち

オ 言いにくいことも言ってくれる友だち (図18)

女子について「1人」とする者が男子よりも有意に多く、「10人以上」とする者が有意に少ない ($\chi^2(5)=16.73, p<.01$)。男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「いない」とする者が有意に多く、「4～5人」、「6～9人」とする者が有意に少ない ($\chi^2(5)=32.33, p<.01$)。

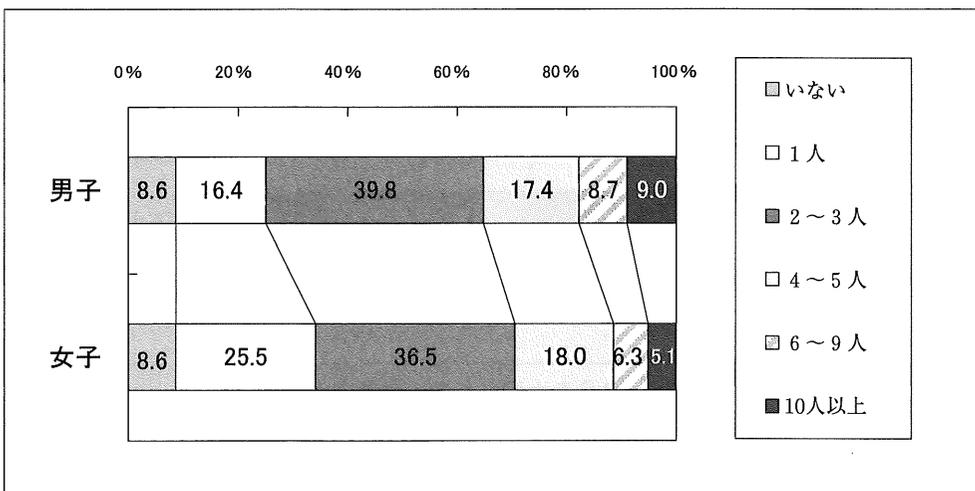


図18 言いにくいことも言ってくれる友だち

カ 親友と呼べる友だち（図19）

女子は男子よりも「いない」，「1人」とする者が有意に多く，「6～9人」，「10人以上」とする者が有意に少ない（男子 $\chi^2(5)=28.96$, $p<.01$ ）。男子について，少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「いない」，「1人」とする者が有意に多く，「6～9人」，「10人以上」とする者が有意に少ない（ $\chi^2(5)=47.85$, $p<.01$ ）。

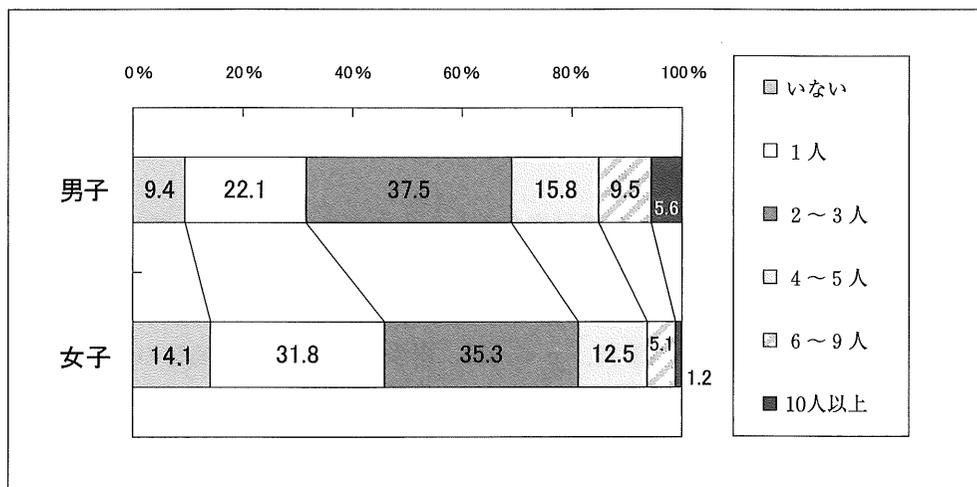


図19 親友と呼べる友だち

キ 気楽に話したり，一緒に遊ぶ友だち（図20）

女子について「1人」，「2～3人」とする者が男子に比べて有意に多い（ $\chi^2(5)=18.30$, $p<.01$ ）。男子について，少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「10人以上」とする者が有意に多く，「4～5人」，「6～9人」とする者は有意に少ない（ $\chi^2(5)=15.82$, $p<.05$ ）。

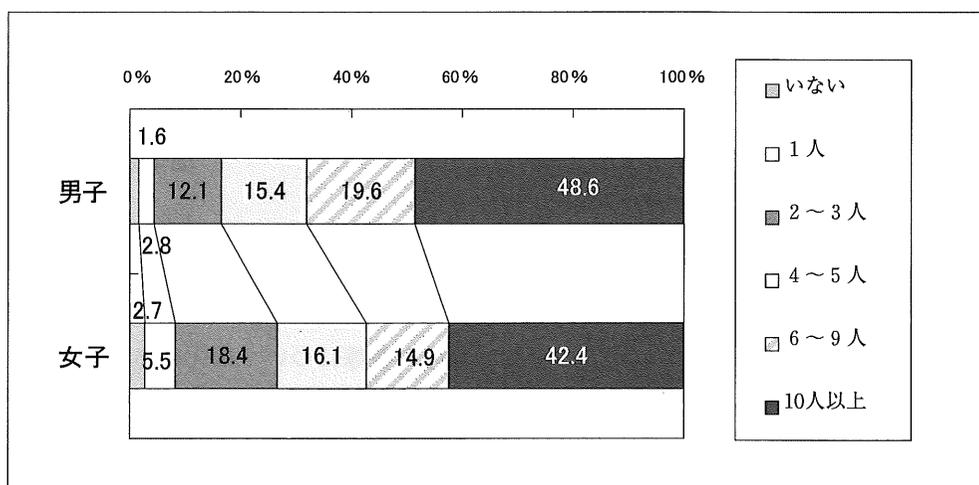


図20 気楽に話したり，一緒に遊ぶ友だち

(2) 友だちといた時間

土曜・日曜を含む休日に友だちと過ごした時間を聞いたところ、男女とも「3時間以上」と回答した者は約90パーセントと最も多い(男子90.3パーセント、女子89.5パーセント)。

(3) 友だちとの連絡方法

男女ともに携帯電話によって連絡する者が最も多く(男子63.5パーセント、女子42.8パーセント)、携帯電話と携帯電話のメールを合わせると80パーセント以上を占め、連絡手段としての携帯電話の利用度の高さが分かる。

なお、携帯電話のメールについては、男子よりも女子の比率が高い(男子19.1パーセント、女子43.2パーセント)。

(4) 友だちとの付き合いの満足度

図21は友だちとの付き合いの満足度を示したものである。「満足していた」者は51.0パーセント(回答総数1,944名)と過半数を超えている。男子は女子よりも「満足していた」とする者が有意に多く、「どちらともいえない」、「やや不満だった」とする者が有意に少ない($\chi^2(4)=13.26$, $p<.01$)。男女とも少年院入院歴のない者は少年院入院歴のある者よりも「満足していた」とする者が有意に多い($\chi^2(4)=84.88$, $p<.01$)。男子については、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「まあ満足していた」、「どちらともいえない」、「やや不満だった」が有意に多く、女子は「どちらともいえない」が有意に多い(男子; $\chi^2(4)=62.69$, $p<.01$, 女子; $\chi^2(4)=28.48$, $p<.01$) (資料6参照)。

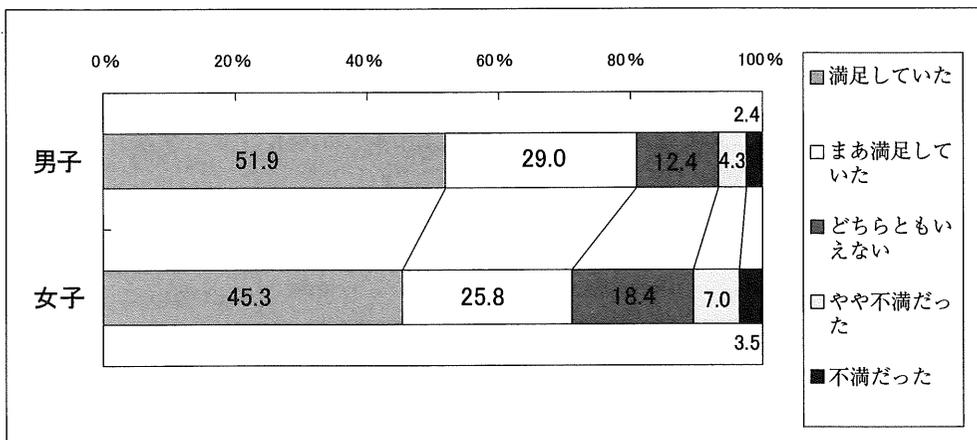


図21 友だちとの付き合いの満足度

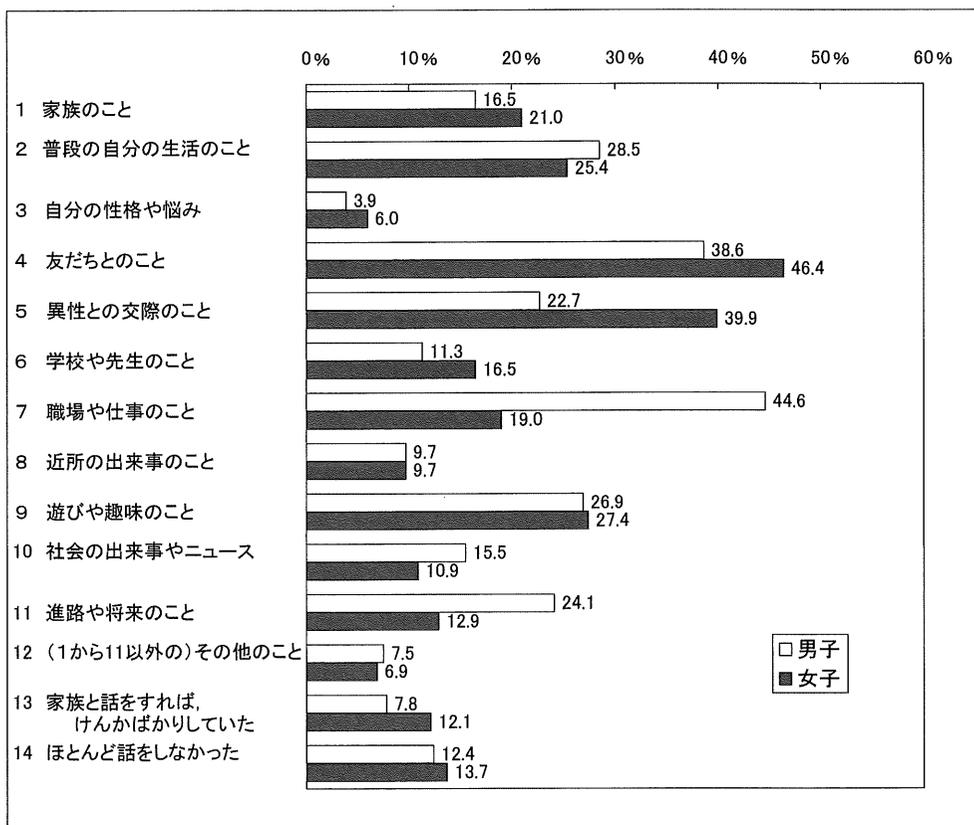
4 家族との生活

家庭生活について、同居していた人、兄弟姉妹の人数等については先に述べたが、ここでは、少年にとって最も身近な社会集団としての家族との話題、家族と過ごす時間、父母の養育態度に対する認識を通して、家庭の様子を調べたものである。

(1) 家族との話題

家族との話題について、自分を含めた家庭生活に関すること、学校、交友関係、進路、職場、社会などの14の選択肢から3つまでを多重選択させた。図22-1は、その結果を示したものである。家族とは「ほとんど話をしなかった」と回答した者（回答総数1,871名）は12.6パーセントである。選択項目の中から回答比率の多い順に挙げると、「職場や仕事のこと」が最も多く41.2パーセントであり、次に「友だちとのこと」が39.7パーセント、「普段の自分の生活のこと」が28.1パーセントである。「家族と話をすれば、けんかばかりしていた」を選択した者は、8.4パーセントである。

男女別で見ると、男子は「職場や仕事のこと」（44.6パーセント）が、女子は「友だちのこと」（46.4パーセント）が最も多い（資料7参照）。



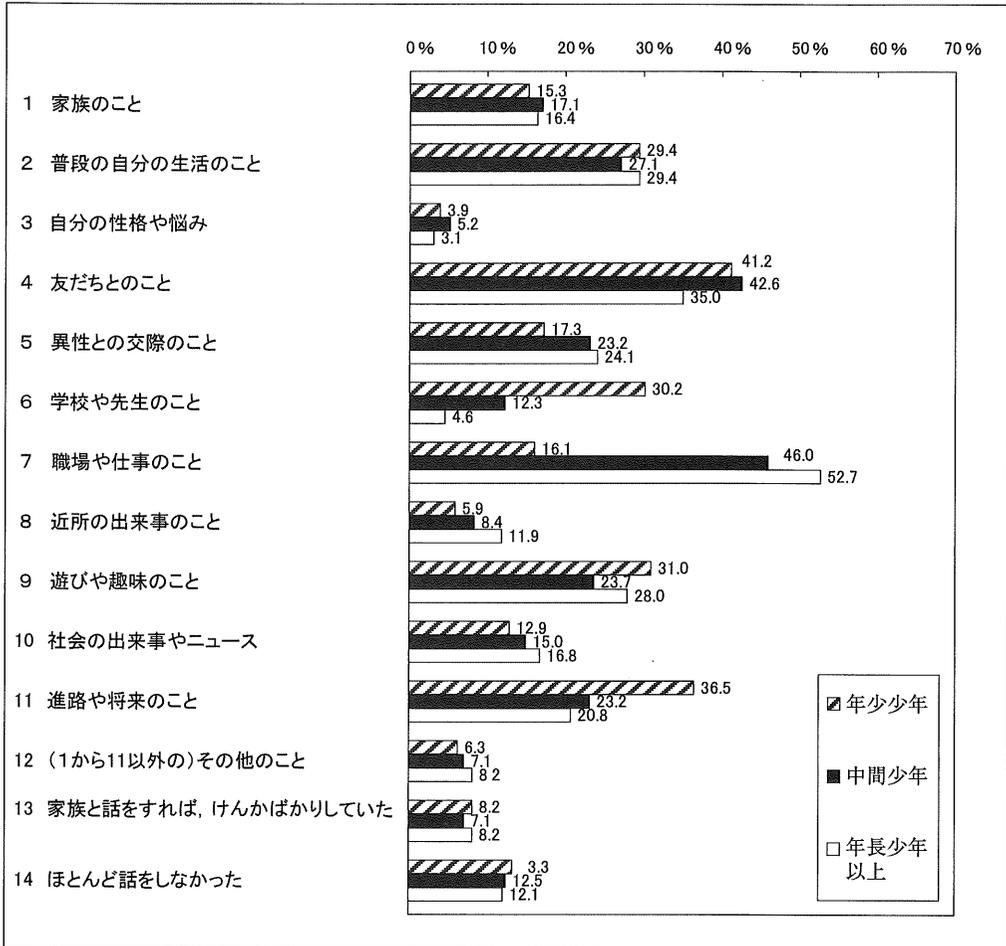
注 多重選択（3つまで）である。選択肢14を選んだ場合は、単独回答である。

図22-1 家族との話題（性別）

触法少年の4名を除く、「年少少年」（14・15歳）、「中間少年」（16・17歳）、「年長少年以上」（18歳以上）の3つの年齢層別・男女別に見たものが図22-2及び図22-3である。

男子については、年少少年は「友だちのこと」（41.2パーセント）が最も多く、次

に「進路や将来のこと」(36.5パーセント),「遊びや趣味のこと」(31.0パーセント)である。中間少年と年長少年以上は「職場や仕事のこと」が最も多く(中間少年46.0パーセント,年長少年以上52.7パーセント),次に「友だちのこと」(中間少年42.6パーセント,年長少年以上35.0パーセント),「自分の生活のこと」(中間少年27.1パーセント,年長少年以上29.4パーセント)の順である。

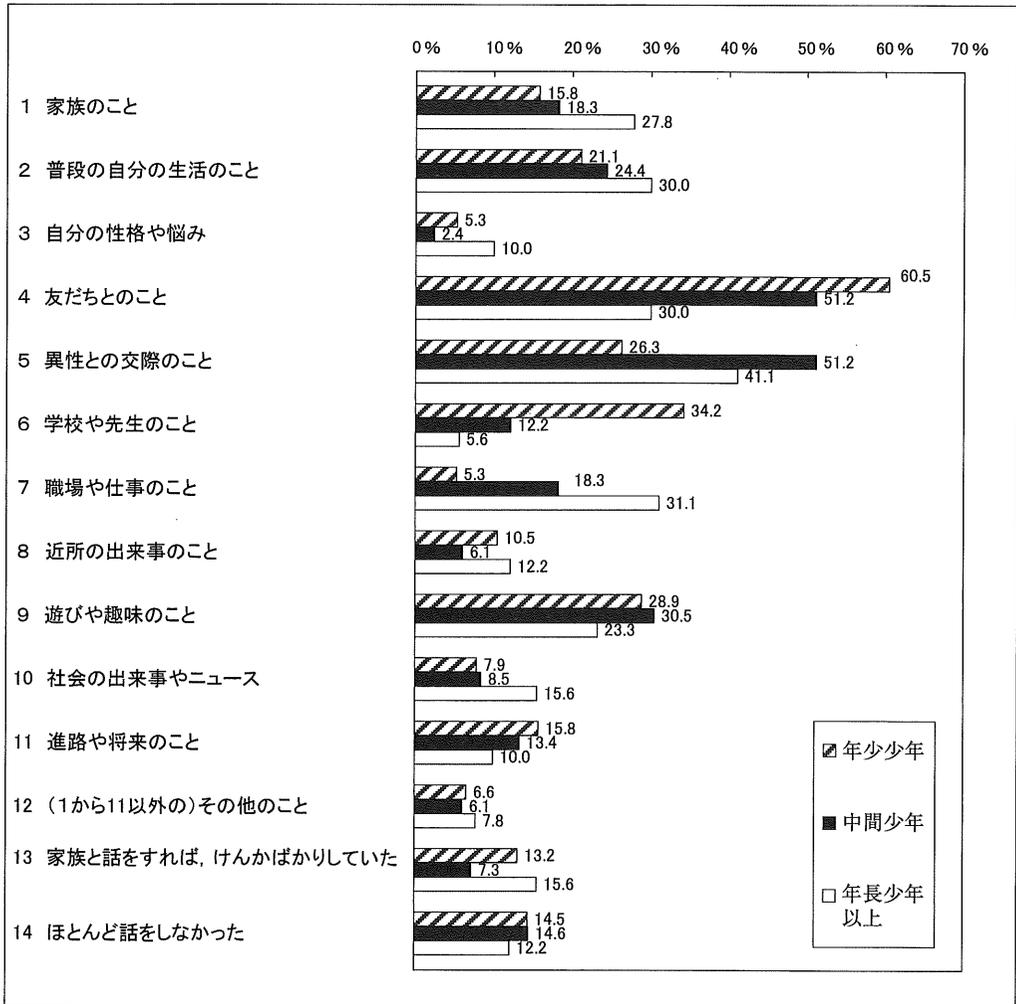


注 多重選択(3つまで)である。選択肢14を選んだ場合は、単独回答である。

図22-2 家族との話題(男子・年齢層別)

男女とも年齢層によって会話の話題が変化しているが、男子の場合は、「友だちのこと」、「職場や仕事のこと」の比率が高いが、年齢層が高くなるにつれて「職場や仕事のこと」が最も高い。少年鑑別所入所前・少年院入院前に働いていた者が男子は女子よりも多いことから、仕事に関する回答比率が高いように思われる。女子の場合も年齢層が高くなるにしたがって「職場や仕事のこと」の比率が高くなるが、男子よりも比較的自分に身近な話題や異性との交際に関する回答の比率が高くなっている。

女子の場合、中間少年は「友だちのこと」、「異性との交際」（各51.2パーセント）が最も高く、次に「遊びや趣味のこと」（30.5パーセント）であるが、年長少年以上では「異性との交際」（41.1パーセント）が最も高い比率を示すなど、男子よりも年齢層が高くなるにつれて「異性との交際」の話題の比率が高くなっていることが特徴的である。



注 多重選択（3つまで）である。選択肢14を選んだ場合は、単独回答である。

図22-3 家族との話題（女子・年齢層別）

(2) 家族とすごした時間

一日の生活の中で家族とすごした時間の平均的な時間を聞いたところ、「3時間以上」と回答した者が49.3パーセント（総数1,923名）であり、ほぼ過半数を占めている（男子48.9パーセント、女子51.8パーセント）。

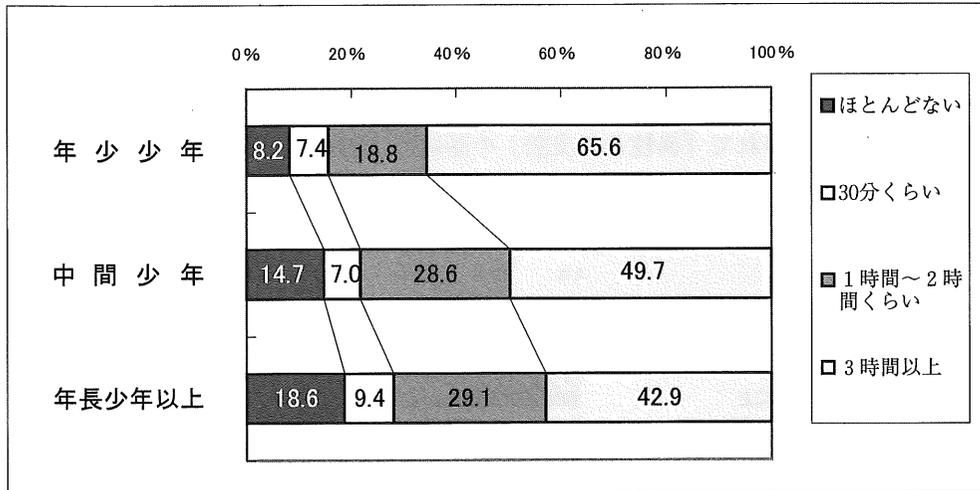


図23 家族とすごした時間（年齢層別）

図23は、触法少年を除く3つの年齢層別に家族とすごした時間を示したものである。「年長少年以上」については「年少少年」よりも家族とすごした時間は「ほとんどない」とする者が有意に多く、「3時間以上」とする者が有意に少ない（男子； $\chi^2(6)=56.88$, $p<.01$ ）（資料8参照）。

(3) 親の養育態度

少年の成長、あるいは非行に関しては、親の養育態度が重要な要因になっていると言われている。父と母（実の親、義理の親、親代わりの者を含む。）のそれぞれの養育態度について、鈴木ら（1985）の養育態度等の測定尺度、大川ら（1999）、末永ら（2001）の研究を参考にして、受容、拒否、放任、同一視、しつけ、肯定的な評価などを含む12項目について、「まったくそう思わない（1点）」、「あまりそう思わない（2点）」、「すこしそう思う（3点）」、「とてもそう思う（4点）」から択一で選択させたものを得点化して因子分析（主因子法・バリマックス回転）を行った。

表7-1, 2は、その結果を示したものであるが、固有値が1.00以上の基準によって因子数の決定を行った結果、父、母のいずれにも2因子が抽出された。因子負荷量0.40以上である項目を見ると、父については「父は自分のことを思ってくれる」、「父のようになりたい」などの「親和・信頼」と解釈されと思われる第1因子が抽出された。第2因子は、父が「言うようにさせたがる」、「何か起こるといけないから自分を外に行かせないようにしている」及び「うるさく言いすぎる」（いずれも逆転項目）であり、どちらかと言えば「しつけの緩やかさ」と解釈される因子が抽出されたことになる。

母についても、父と同様に2因子が抽出された。第1因子は「親和・信頼」と解釈

表7-1 父の養育態度の因子分析結果

番号	項目	親和・信頼	しつけの 緩やかさ	共通性
11	お父さんは、親切で思いやりのある人だと思う	.80	.15	.66
5	お父さんといると楽しい	.76	.10	.58
1	お父さんは、自分の悩みや心配ごとをよく理解してくれる	.75	.10	.58
6	お父さんのような人になりたい	.69	.08	.48
8	お父さんは、お父さんのことはがまんしても、自分のためにしてくれることがある	.67	.03	.45
②	お父さんは、自分を邪魔者扱いすることがある	.62	.30	.47
④	お父さんは、自分とはあまり話をしないほうだ	.61	.05	.38
⑫	お父さんは、自分との約束をよく破る	.50	.24	.31
7	お父さんは、自分に気を使ってくれる	.49	.10	.25
⑩	お父さんは、自分にうるさく言いすぎる	.19	.76	.62
③	お父さんは、お父さんの言うように子どもにさせたがる	.27	.60	.44
⑨	お父さんは、何か起こるといけないから、お父さんは自分を外に行かせないようにしている	-.05	.44	.20
	因子寄与	4.05	1.35	5.40
	累積寄与率	33.75	44.98	

注 項目番号が○で囲まれているのは逆転項目である。

表7-2 母の養育態度の因子分析結果

番号	項目	親和・信頼	しつけの 緩やかさ	共通性
11	お母さんは、親切で思いやりのある人だと思う	.75	.05	.57
1	お母さんは、自分の悩みや心配ごとをよく理解してくれる	.71	.17	.54
8	お母さんは、お母さんのことはがまんしても、自分のためにしてくれることがある	.68	.14	.45
5	お母さんといると楽しい	.67	-.06	.48
6	お母さんのような人になりたい	.66	.11	.45
④	お母さんは、自分とはあまり話をしないほうだ	.62	.25	.39
②	お母さんは、自分を邪魔者扱いすることがある	.61	.13	.45
⑫	お母さんは、自分との約束をよく破る	.50	.20	.29
7	お母さんは、自分に気を使ってくれる	.44	.00	.19
⑩	お母さんは、自分にうるさく言いすぎる	.20	.63	.44
⑨	お母さんは、何か起こるといけないから、お母さんは自分を外に行かせないようにしている	.23	.60	.32
③	お母さんは、お母さんの言うように子どもにさせたがる	-.10	.56	.41
	因子寄与	3.71	1.26	4.96
	累積寄与率	30.89	41.35	

注 項目番号が○で囲まれているのは逆転項目である。

表7-3 男子から見た父の養育態度

番号	項目	親和・信頼	しつけの 緩やかさ	共通性
11	お父さんは、親切で思いやりのある人だと思う	.80	.15	.66
5	お父さんといると楽しい	.76	.10	.59
1	お父さんは、自分の悩みや心配ごとをよく理解してくれる	.76	.10	.58
6	お父さんのような人になりたい	.70	.07	.49
8	お父さんは、お父さんのことはがまんしても、自分のためにしてくれることがある	.68	.02	.46
②	お父さんは、自分を邪魔者扱いすることがある	.62	.32	.49
④	お父さんは、自分とはあまり話をしないほうだ	.61	.06	.37
⑫	お父さんは、自分との約束をよく破る	.50	.26	.31
7	お父さんは、自分に気を使ってくれる	.49	.10	.25
⑩	お父さんは、自分にうるさく言いすぎる	.19	.74	.58
③	お父さんは、お父さんの言うように子どもにさせたがる	.27	.61	.45
⑨	お父さんは、何か起こるといけないから、お父さんは自分を外に行かせないようにしている	-.06	.44	.19
因子寄与		4.08	1.34	5.42
累積寄与率		33.99	45.19	

注 項目番号が○で囲まれているのは逆転項目である。

表7-4 男子から見た母の養育態度

番号	項目	親和・信頼	しつけの 緩やかさ	共通性
11	お母さんは、親切で思いやりのある人だと思う	.74	.06	.55
1	お母さんは、自分の悩みや心配ごとをよく理解してくれる	.71	.15	.53
5	お母さんといると楽しい	.69	.13	.50
8	お母さんは、お母さんのことはがまんしても、自分のためにしてくれることがある	.66	.10	.43
6	お母さんのような人になりたい	.65	-.06	.45
②	お母さんは、自分を邪魔者扱いすることがある	.63	.25	.47
④	お母さんは、自分とはあまり話をしないほうだ	.60	.12	.38
⑫	お母さんは、自分との約束をよく破る	.48	.20	.27
7	お母さんは、自分に気を使ってくれる	.45	.02	.20
⑩	お母さんは、自分にうるさく言いすぎる	.19	.64	.44
⑨	お母さんは、何か起こるといけないから、お母さんは自分を外に行かせないようにしている	.22	.59	.33
③	お母さんは、お母さんの言うように子どもにさせたがる	-.09	.57	.40
因子寄与		3.69	1.25	4.94
累積寄与率		30.76	41.19	

注 項目番号が○で囲まれているのは逆転項目である。

される因子が抽出され，第2因子では「しつけの緩やかさ」と解釈される因子が抽出された。

なお，父と母の少年に対する態度は，対象となる少年の性別によっても異なることが想定されることから，次に男女別に父と母の養育態度について，それぞれに因子分析（主因子法・バリマックス回転）を行った。

まず，男子から見た父の養育態度について見たものが表7-3であり，固有値が1.00以上の基準によって因子数の決定を行った結果，2因子が抽出された。因子負荷量0.40以上である項目を見ると，第1因子は「父のようになりたい」，「父は自分のことを思ってくれる」などの「親和・信頼」と解釈される因子が抽出され，第2因子は「お父さんは，自分にうるさく言いすぎる」（逆転項目），「お父さんは，お父さんの言うように子どもにさせたがる」（逆転項目）などの「しつけの緩やかさ」と解釈される因子が抽出された。

母の養育態度について見たものが表7-4であり，固有値が1.00以上の基準によって因子数の決定を行った結果，父と同様に2因子が抽出された。第1因子は，「親和・信頼」と解釈される因子が抽出され，第2因子は「しつけの緩やかさ」と解釈される因子が抽出された。

次に，女子から見た父母の養育態度の結果を示したものが表7-5及び表7-6である。固有値が1.00以上の基準によって因子数の決定を行った結果，父母ともに3因子

表7-5 女子から見た父の養育態度

番号	項目	親和	しつけの 緩やかさ	信頼	共通性
5	お父さんといると楽しい	.77	.14	.17	.65
④	お父さんは，自分とはあまり話をしないほうだ	.74	.06	.06	.56
1	お父さんは，自分の悩みや心配ごとをよく理解してくれる	.69	.08	.36	.61
6	お父さんのような人になりたい	.54	.12	.42	.48
②	お父さんは，自分を邪魔者扱いすることがある	.48	.16	.28	.34
⑩	お父さんは，自分にうるさく言いすぎる	.06	.88	.27	.85
③	お父さんは，お父さんの言うように子どもにさせたがる	.23	.59	.12	.42
⑨	お父さんは，何か起こるといけないから，お父さんは自分を外に行かせないようにしている	.03	.51	-.05	.27
7	お父さんは，自分に気を使ってくれる	.14	.05	.64	.43
⑫	お父さんは，自分との約束をよく破る	.30	.11	.53	.38
	因子寄与	2.31	1.47	1.19	4.97
	累積寄与率	23.10	37.83	49.71	

注1 項目番号が○で囲まれているのは逆転項目である。

2 項目8，11を除く。

が得られた。

その結果を見ると、女子から見た父の養育態度について、第1因子は「お父さんといると楽しい」、「お父さんのような人になりたい」などの「親和」と解釈される因子が、第2因子は「お父さんは、自分にうるさく言いすぎる」(逆転項目)、「お父さんは、お父さんの言うように子どもにさせたがる」(逆転項目)などの「しつけの緩やかさ」と解釈される因子が、第3因子は、「お父さんは、自分に気を使ってくれる」、「お父さんは、自分との約束をよく破る」(逆転項目)などの「信頼」と解釈される因子がそれぞれ抽出された。

母の養育態度については、第1因子は「親和」と解釈される因子が、第2因子は「信頼」と解釈される因子が、第3因子は「しつけの緩やかさ」と解釈される因子が抽出された。女子から見た父の養育態度に関する因子分析では、しつけに関する因子が第2因子であったが、女子から見た母の養育態度に関する因子分析では第3因子であり、女子にとって、母よりも父は、しつけが緩やかであると受け止められていることが推察される。

表7-6 女子から見た母の養育態度

番号	項目	親和	信頼	しつけの 緩やかさ	共通性
5	お母さんといると楽しい	.88	.17	.15	.83
6	お母さんのような人になりたい	.65	.32	.14	.54
1	お母さんは、自分の悩みや心配ごとをよく理解してくれる	.60	.38	.35	.63
④	お母さんは、自分とはあまり話をしないほうだ	.55	.37	.19	.47
11	お母さんは、親切で思いやりのある人だと思う	.47	.68	.02	.68
8	お母さんは、お母さんのことはがまんしても、自分のためにしてくれることがある	.39	.65	-.03	.58
⑫	お母さんは、自分との約束をよく破る	.20	.62	.23	.48
②	お母さんは、自分を邪魔者扱いすることがある	.21	.58	.31	.48
7	お母さんは、自分に気を使ってくれる	.11	.47	-.10	.25
③	お母さんは、お母さんの言うように子どもにさせたがる	.17	.17	.67	.51
⑩	お母さんは、自分にうるさく言いすぎる	.15	.17	.63	.44
⑨	お母さんは、何か起こるといけなから、お母さんは自分を外に行かせないようにしている	.04	-.16	.43	.21
	因子寄与	2.38	2.33	1.38	6.09
	累積寄与率	19.84	39.22	50.74	

注 項目番号が○で囲まれているのは逆転項目である。

なお、女子については男子よりも1因子多い3因子が抽出された。男子で抽出された因子と異なる因子ではなく、「親和・信頼」と解釈された因子が2つに分かれたものである。2つに分かれた理由として考えられるのは、男子に比べて女子のほうが共感性など人の気持ちを推し量ることを期待され育てられていることや、感受性の高さによるものではないかと思われる。

(4) 育った家庭に対する満足度

図24は育った家庭に対する満足度を示したものである。「満足している」者は、総数では47.2パーセント（回答総数1,945名）である。男女別に見ると有意差はない。少年院入院歴の有無別（回答総数1,927名）で見ると、男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「どちらともいえない」、「やや不満である」、「不満である」が有意に多く、「満足している」が有意に少ない ($\chi^2(4)=81.19, p < .01$)（資料9-3参照）。

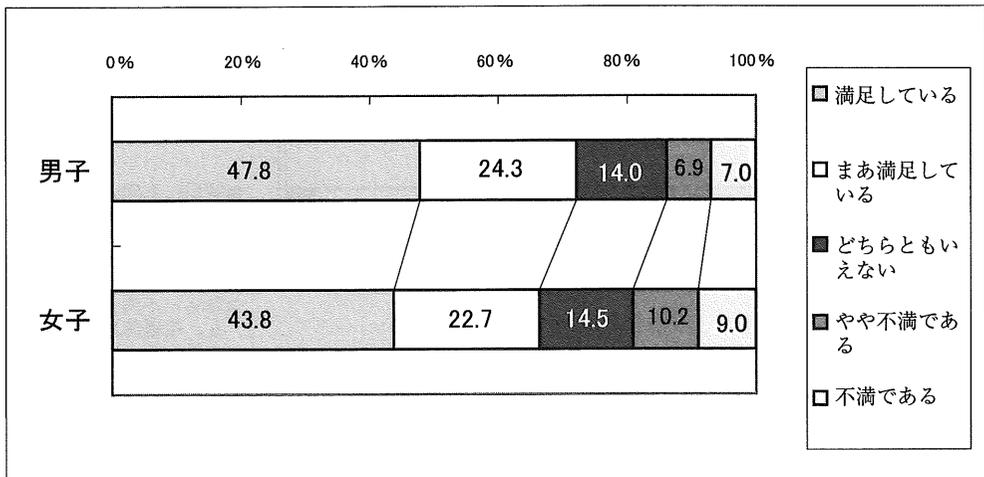


図24 育った家庭に対する満足度

5 仕事

近年は、フリーターやニートと呼ばれる若者の就労形態が変化している。そこで、本問では、少年たちが就職に対してどのような意識を持っているかを調べたものである。

(1) 転職について

図25は転職に対する考え方を示したものである。大川ら（1999）の調査項目を参考にして、職場の不満の有無に関連させ、転職に対する考え方を4つの選択肢から回答させた。その結果、「職場に不満があっても、できるだけ一つの職場で働き続けるべきだ」は65.5パーセント（回答総数1,920名）と最も多く、次に「職場に不満があれば、転職しても仕方がない」は28.1パーセントである。これを男女別、少年鑑別所入所前・少年院入院前の仕事の有無別にその差異があるかを調べたが、有意差は見られなかった。

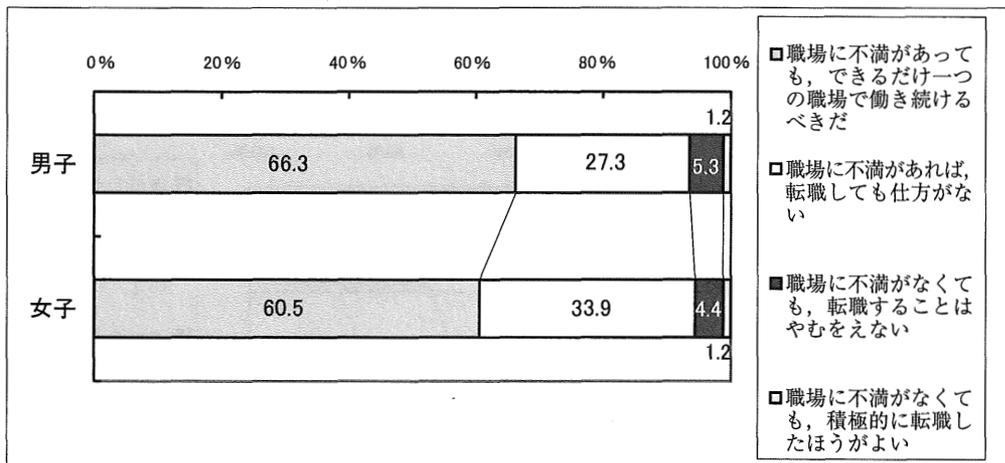


図25 転職に対する考え方

(2) 仕事を選ぶときに大切なこと

職業の選択に当たって重視することについて、大川ら（1999）の調査項目を参考にして、9つの選択肢から、一番大切だと思うものを択一選択させた。その結果を示したものが図26である。「仕事の内容が自分に合っていること」が33.1パーセント（回答総数1,937名）と最も多い。

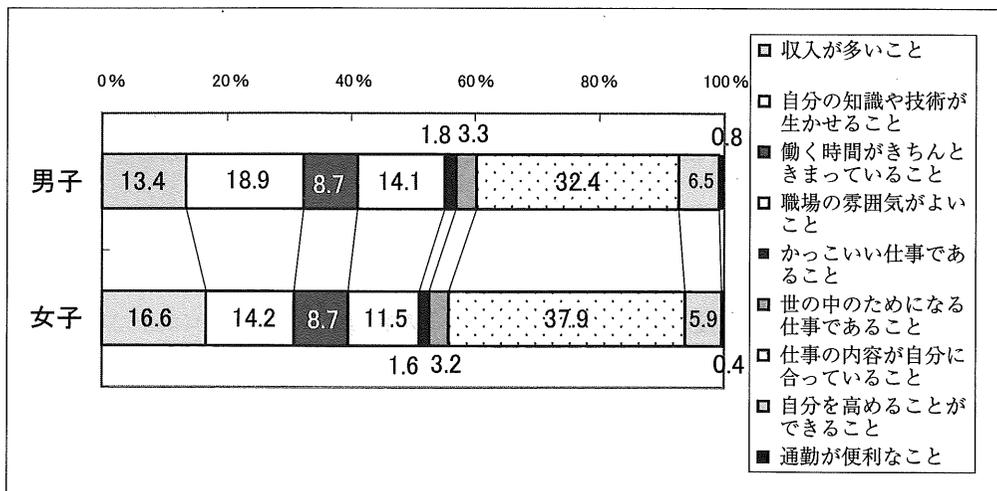


図26 仕事を選ぶときに大切なこと

(3) 仕事を探すときに気になること

図27は、仕事を探すときに気になることを「年齢」，「学歴」，「今までに非行があったこと」，「専門的な資格や技術」及び「仕事に関する知識や経験」の5つの選択肢から択一で回答を求めたものを示したものである。

「学歴」は30.1パーセント（回答総数1,933名）と最も高く、次に「仕事に関する知識や経験」が24.3パーセントである。

少年院入院前、少年鑑別所入所前の仕事の有無別（回答総数1,915名）から見ると、男子について、仕事をしてきた者は仕事をしていなかった者よりも「仕事に関する知識や経験」が有意に多く、「今までに非行があったこと」について有意に少ない ($\chi^2(4) = 29.76, p < .01$)。

少年院入院歴の有無別に見ると、男子について、入院歴のある者は入院歴のない者よりも「仕事に関する知識や経験」が有意に多く、「年齢」が有意に少ない ($\chi^2(4) = 13.69, p < .01$)（資料10参照）。

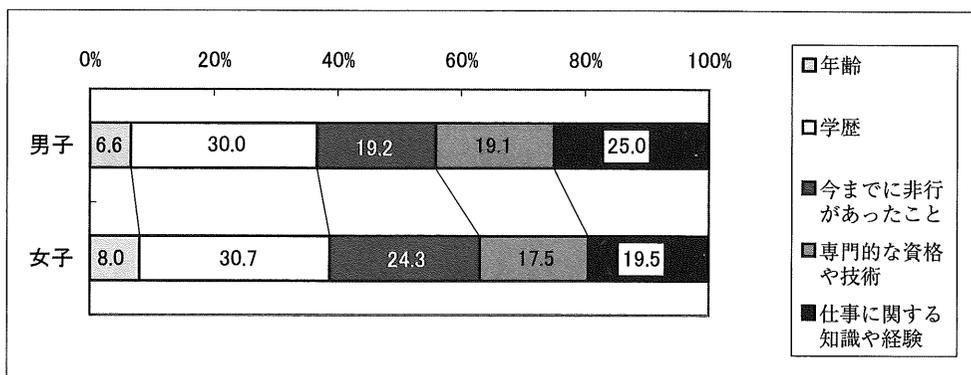


図27 仕事を探すときに気になること

(4) 職業補導は出院後の生活に役に立つか（少年院在院者のみ回答）

本問は、少年院在院者のみを対象にして設問したものであり、図28-1は、職業補導は出院後の生活に役に立つかという設問の回答を示している。47.8パーセントの者（回答総数975名）は「役に立つ」と回答している。これをさらに男女別で見たが、有意差はなかった。

処遇課程のうち、職業訓練等を重点的に行う職業能力開発課程に在籍している者（回答総数は、V1及びV2の合計460名）の回答結果を示したものが図28-2である。「役に立つ」と「まあ役に立つ」を合わると、V1（総数53名）では81.2パーセント、V2（総数407名）では78.4パーセントの回答があり、職業能力開発課程に在籍者の約80パーセントは職業補導は役に立っていると回答している。

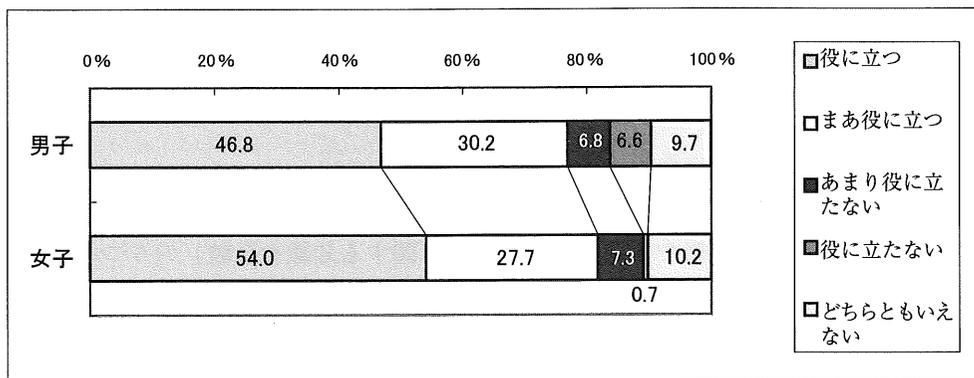


図28-1 職業補導は役に立つか（少年院在院者・性別）

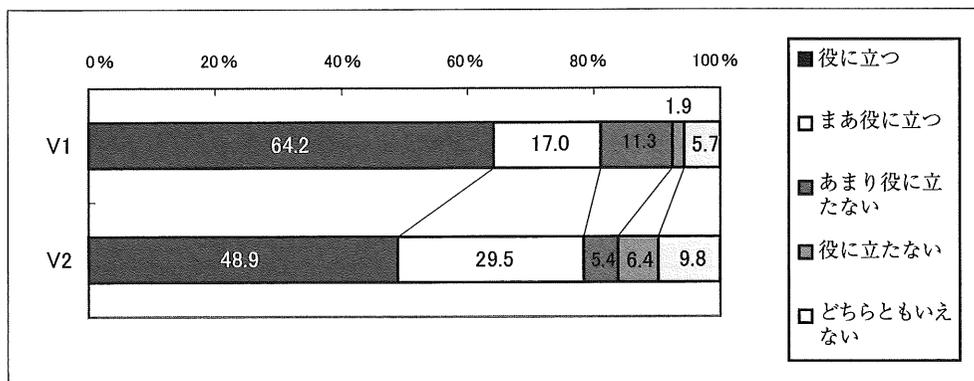


図28-2 職業補導は役に立つか（少年院在院者・職業能力開発課程在籍者）

(参考) 職業能力開発課程（V）の細分

V1；職業能力開発促進法等に定める職業訓練（10か月以上）の履修を必要とする者

V2；職業能力開発促進法等に定める職業訓練（10か月未満）の履修を必要とする者又は職業上の意識、知識、技能等を高める職業指導を必要とする者

図28-3は、「年少少年」，「中間少年」，「年長少年以上」の年齢層別に見た結果を示したものである。

「年少少年」，「中間少年」ともに「役に立つ」とする者は過半数を超えている。「中間少年」は「役に立つ」とする者が有意に多く，「年長少年以上」は，「あまり役に立たない」，「役に立たない」とする者が有意に多く，「役に立つ」とする者が有意に少ない ($\chi^2(8)=25.93, p<.01$)。「年少少年」の場合は，有意差は見られないが，義務教育履修年齢に当たるので，職業補導を受講したことをきっかけとして今後，将来の進路を考えようとする少年が含まれているであろう。「年長少年以上」では，ある程度は社会経験を積んだ者もいるであろうし，少年自身が自分の職業適性が分かってくるとともに，これにともなって希望職種について考えを固める時期でもある。働く意欲や態度を身に付けることを目標にする者もいれば，出院後の就職に直結する資格取得という目的を掲げる者もいるであろう。

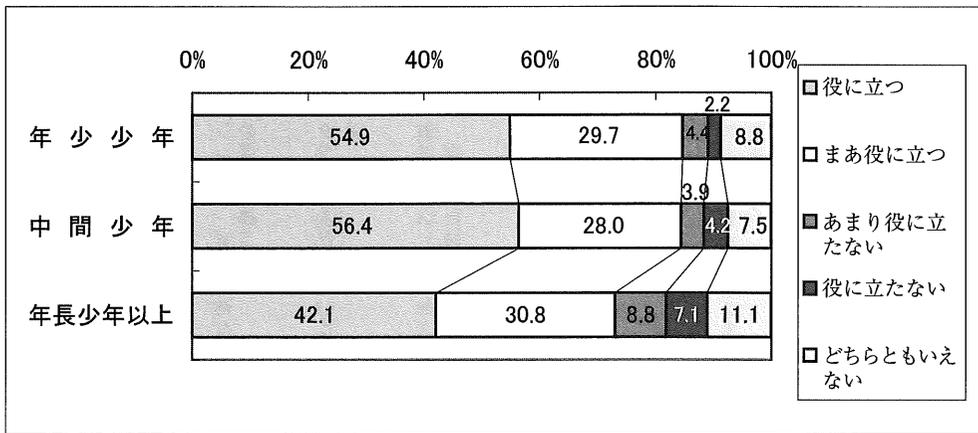


図28-3 職業補導は役に立つか（少年院在院者・年齢層別）

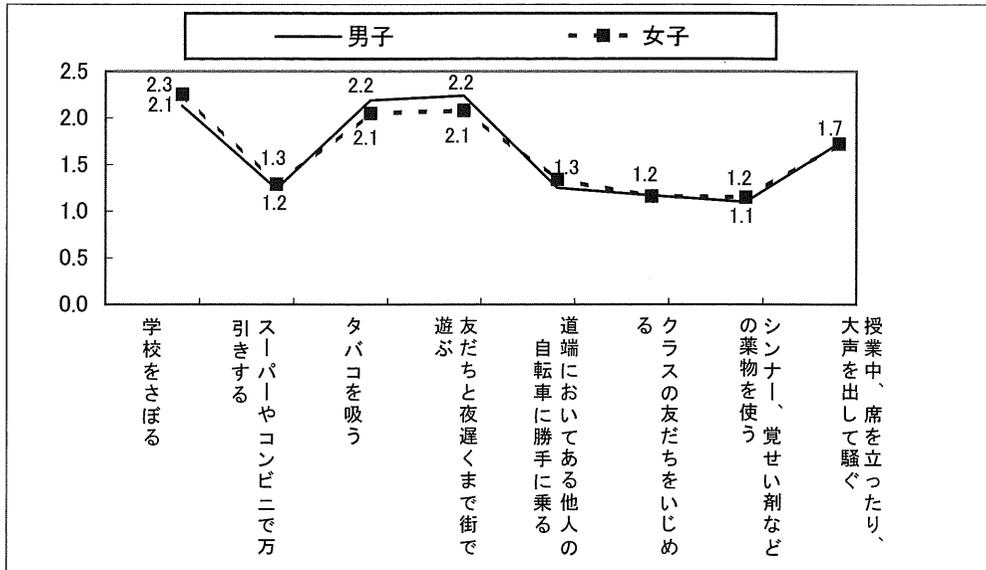
6 規範意識と非行の原因

少年が善悪の判断を身に付けていくには，日常生活の言動や行動に対して家庭での生活体験，家族とのかかわり，学校や社会での体験のみならず，多くの人たちとのかかわりを通してなされると考える。総務庁（2000）青少年対策本部の調査の逸脱行動の経験に関する質問項目を参考に，学校内での規範意識，学校外の一般社会での不良行為，犯罪行為の3種類の選択肢から選択させた。また，併せて現在の少年の規範意識についても回答を求めた。

(1) 中学生の規範意識

学校内の逸脱行動に関する選択肢は，「学校をさぼる」，「クラスの友だちいじめる」，「授業中，席を立ったり，大声を出して騒ぐ」の3項目である。学校内外の一般社会

での不良行動としては、「友だちと夜遅くまで街で遊ぶ（深夜徘徊）」、「タバコを吸う（喫煙）」の2項目であり、犯罪に関する行動は「スーパーやコンビニで万引きする（窃盗）」、「道端においてある他人の自転車に勝手に乗る（自転車盗）」、「シンナー、覚せい剤などの薬物を使う（毒物及び劇物取締法違反・覚せい剤取締法違反）」の3項目である。それぞれの項目について「悪い（1点）」、「少し悪い（2点）」、「あまり悪くない（3点）」、「悪くない（4点）」の4段階で回答を求め、各項目を得点化して、男女別にその平均値を求めた。その結果を示したものが図29-1である。



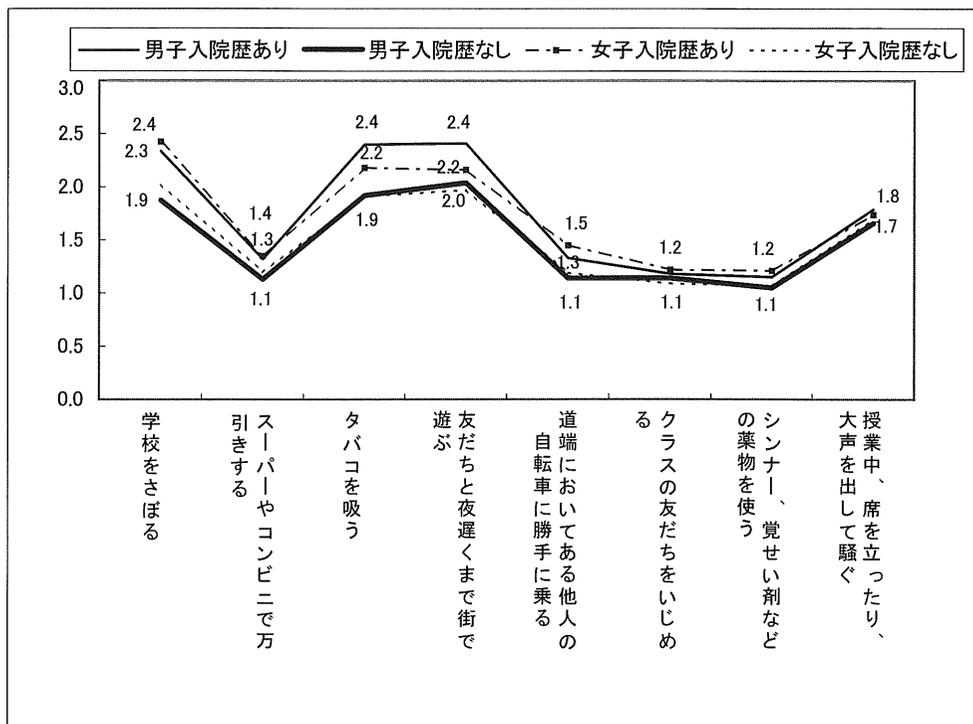
	男子	女子
学校をさぼる	2.1	2.3
スーパーやコンビニで万引きする	1.2	1.3
タバコを吸う	2.2	2.1
友だちと夜遅くまで街で遊ぶ	2.2	2.1
道端においてある他人の自転車に勝手に乗る	1.3	1.3
クラスの友だちをいじめる	1.2	1.2
シンナー、覚せい剤などの薬物を使う	1.1	1.2
授業中、席を立ったり、大声を出して騒ぐ	1.7	1.7

注1 実数は、平均値である。

2 悪い（1点），少し悪い（2点），あまり悪くない（3点），悪くない（4点）

図29-1 「中学生」の規範意識（性別）

回答結果を見ると，平均値が2点以上の得点となっている項目は，男子，女子ともに「学校をさぼる」，「タバコを吸う」，「友だちと夜遅くまで街で遊ぶ」であり，また，男子は「タバコを吸う」，「友だちと夜遅くまで街で遊ぶ」について，女子は「学校をさぼる」の平均値が最も高く，あまり悪くないと考える傾向にあることが分かる。平均値が1点台の項目を低い順から見ると，「シンナー，覚せい剤などの薬物を使う」，



	男子		女子	
	入院歴あり	入院歴なし	入院歴あり	入院歴なし
学校をさぼる	2.3	1.9	2.4	2.0
スーパーやコンビニで万引きする	1.3	1.1	1.4	1.2
タバコを吸う	2.4	1.9	2.2	1.9
友だちと夜遅くまで街で遊ぶ	2.4	2.0	2.2	2.0
道端においてある他人の自転車に勝手に乗る	1.3	1.1	1.5	1.2
クラスの友だちをいじめる	1.2	1.1	1.2	1.1
シンナー，覚せい剤などの薬物を使う	1.2	1.1	1.2	1.1
授業中，席を立ったり，大声を出して騒ぐ	1.8	1.7	1.7	1.7

注1 実数は，平均値である。

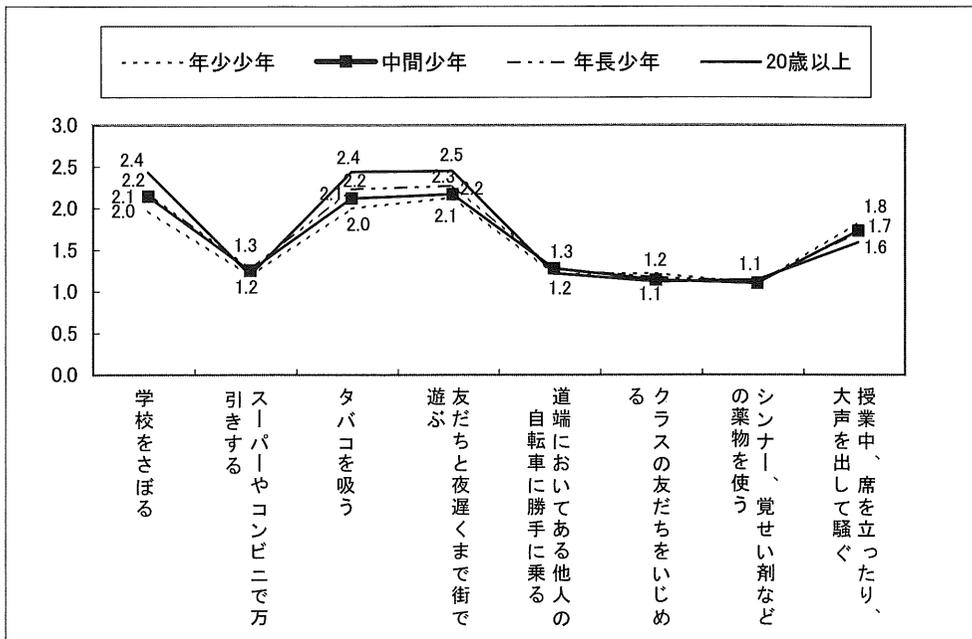
2 悪い（1点），少し悪い（2点），あまり悪くない（3点），悪くない（4点）

図29-2 「中学生」の規範意識

「クラスの友だちをいじめる」、「スーパーやコンビニで万引きする」であり、これらの項目については悪いと考える傾向にあることがうかがえる。

非行性の進捗という観点から、先に行ったように少年院入院歴の有無別に「中学生」の規範意識について見たものが図29-2である。

男女ともに少年院入院歴のある者の平均値は入院歴のない者の平均値よりも高い。少年院入院歴のある者について、平均値の最も高い項目は、男子では、「タバコを吸う」、「友だちと夜遅くまで街で遊ぶ」（各平均値2.4）が最も高く、女子では、「学校をさぼる」（平均値2.4）である。少年院入院歴のない者の最も平均値の高い項目は、男子は、「友だちと夜遅くまで街で遊ぶ」（平均値2.0）、女子は「友だちと夜遅くまで



	年少少年	中間少年	年長少年	20歳以上
学校をさぼる	2.0	2.1	2.2	2.4
スーパーやコンビニで万引きする	1.2	1.3	1.3	1.2
タバコを吸う	2.0	2.1	2.2	2.4
友だちと夜遅くまで街で遊ぶ	2.1	2.2	2.3	2.5
道端においてある他人の自転車に勝手に乗る	1.2	1.3	1.3	1.2
クラスの友だちをいじめる	1.2	1.1	1.2	1.1
シンナー、覚せい剤などの薬物を使う	1.1	1.1	1.1	1.1
授業中、席を立ったり、大声を出して騒ぐ	1.8	1.7	1.7	1.6

注1 実数は、平均値である。

2 悪い（1点）、少し悪い（2点）、あまり悪くない（3点）、悪くない（4点）

図29-3 年齢別「中学生」の規範意識

街で遊ぶ」,「学校をさぼる」(平均値2.0)である。平均値が1点台と低い項目を見ると,「シンナー,覚せい剤などの薬物を使う」,「クラスの友だちをいじめる」,「スーパーやコンビニで万引きする」であるが,少年院入院歴のある者は,少年院入院歴のない者よりも平均値がやや高い。

なお,規範意識を各年齢層別に見たものが図29-3である。ここでは先に使用した3つの年齢層のうち,「年長少年以上」を「年長少年」と「20歳以上」に分け,全体を4つの年齢層に分けた。

平均値が1点に近い項目を見ると,「シンナー,覚せい剤などの薬物を使う」はすべての年齢層で「悪い」に近い平均値(1.1)であり,薬物に関連する犯罪や非行に関する規範意識の項目については,他の項目よりも悪いという認識にあることが分かる。次に平均値の低い項目は「クラスの友だちをいじめる」(年少少年・年長少年の平均値は各1.2,中間少年,20歳以上は各1.1)である。

すべての年齢層について平均値が2点以上の項目を見ると,「学校をさぼる」,「タバコを吸う」,「友だちと夜遅くまで街で遊ぶ」の3項目であり,いずれの項目も年齢層が高くなるほど平均値も高くなり,「あまり悪くない」と認識している傾向にあることが分かる(資料11参照)。

(2) 規範意識

先の質問項目では,「中学生」の規範意識について調べたが,この質問項目では,調査対象者自身が自分の生き方において,規範意識をどのように考えているかについて回答を求めたものである。規範意識には,社会のきまりとして日常生活を送る上で必要なきまり,道徳的なきまり,不良行為,犯罪及び非行など法律で禁止されているきまりなどすべてが含まれる。また,規範意識とは,規範(きまり)を知っていることが前提であり,それぞれの規範(きまり)が少年たちに内面化されて,善悪の判断をした行動を取る意識となっていることを前提としている。設問では,少年たちの規範意識は,どのような志向により規定されているのかを調べてみようとしたものである。

選択肢は全部で5つあり,「どんなことがあっても,きまりは守らなくてはいけないと思う」という遵法尊重的なものから,「きまりを守る必要はない」というきまり無視のものの中に,きまりを守らないことに対して自分なりの理由付けをしたり,条件を付けたりして,きまりを守らないことを合理化・正当化している,「つかまらないなら,きまりは守らなくてもよい」(外からの規制条件付き自分の利益優先),「自分のやりたいことがあれば,きまりは守らなくても,しかたがない」(自分の利益優先),「人に迷惑をかけていなければ,きまりは守らなくてもよい」(罪悪感の中和)の3つがある。図30は,その結果を男女別に見たものであり,有意差は見られないが,最も高い項目は「どんなことがあっても,きまりは守らなくてはいけないと思う」で

あり、男子は73.6パーセント、女子は67.5パーセントと、男子の比率が女子よりもやや高い。

少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「どんなことがあっても、きまりは守らなくてははいけないと思う」とする者が有意に少なく、「人に迷惑をかけていなければ、きまりは守らなくても、しかたがない」、「きまりを守る必要はない」とする者が有意に多い ($\chi^2(4)=16.38, p<.01$)。

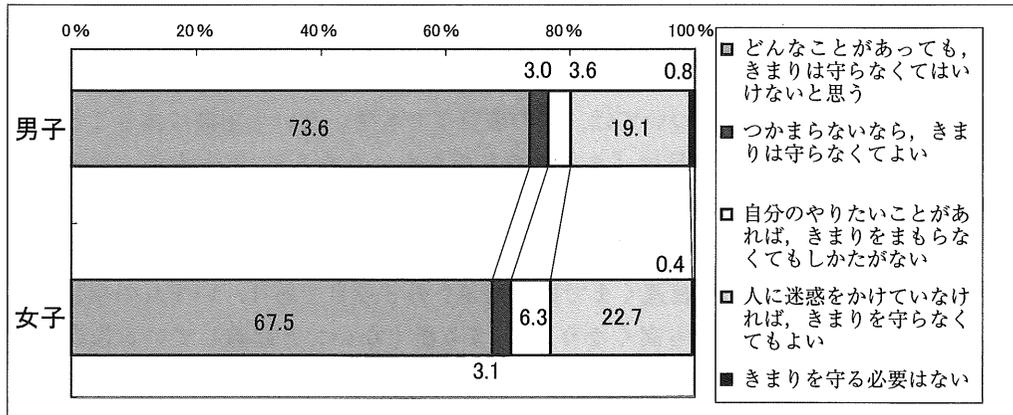


図30 規範意識

(3) 少年鑑別所入所・少年院入院を納得しているか

少年鑑別所に入所することになったこと、少年院に入院することになったことに対する納得度と処分に関する意見を「運が悪かった」、「納得していないし、処分が重いと思う」、「納得していないが、自分のしたことだから仕方がない」、「自分のしたことなので、納得している」、「よくわからない」の5件法により質問したものである。結果を示したものが図31である。

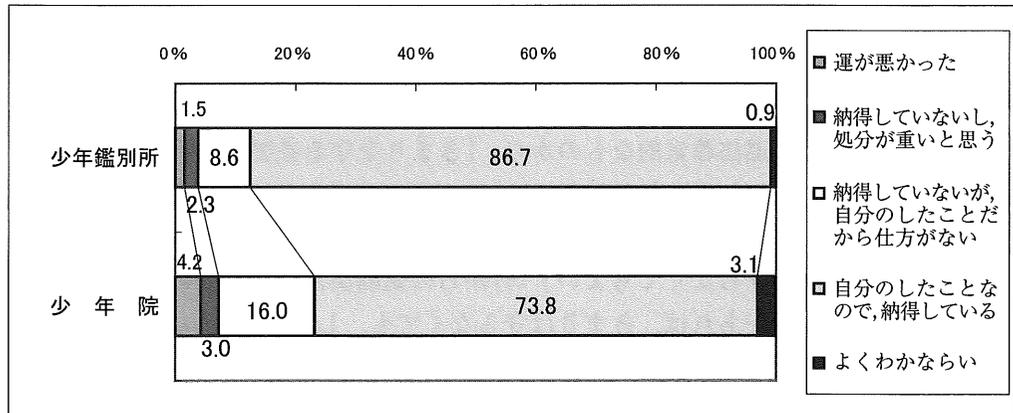


図31 少年鑑別所入所・少年院入院の納得度

納得している者は80パーセント（回答総数1,936名）を超えている。組織別に見ると，少年院在院者（総数976名）は，少年鑑別所在所者（総数960名）よりも「運が悪かった」，「納得していないが，自分のしたことだから仕方がない」，「よくわからない」とする者が有意に多く，少年鑑別所在所者よりも「自分のしたことなので，納得している」とする者が有意に少ない（ $\chi^2(4)=55.77$ ， $p<.01$ ）。これをさらに男女別に見たが，有意差は見られなかった。

なお，特修短期処遇の者（1名）を除いた少年院在院者（回答総数975名）について見ると，一般短期処遇の者（総数204名）は，長期処遇の者（総数771名）よりも「納得している」とする者が有意に多く，「納得していないし，処分が重いと思う」とする者が有意に少ない（ $\chi^2(4)=17.38$ ， $p<.01$ ）（資料12参照）。

(4) 非行の原因

自分の非行の原因について，「学校・先生」，「親・家族」，「付き合っている友だち・仲間・先輩」，「自分自身」，「自分を取り巻く地域や社会の環境」の5つの原因について，1番から5番まで順番を付けて回答するように求め，その結果を示したものが表8である。1番目の中では「自分自身」が最も多く，次に2番目では「付き合っている友だち・仲間・先輩」，3番目では「自分を取り巻く地域や社会の環境」，4番目，5番目では「学校・先生」の順である。

表8 非行の原因

	合 計	学校・先生	親・家族	付き合っている友だち・仲間・先輩	自分自身	自分を取り巻く地域や社会の環境
1 番	100.0 (1,930)	2.8	5.9	17.4	70.3	3.6
2 番	100.0 (1,912)	6.1	8.8	47.6	19.2	18.1
3 番	100.0 (1,901)	14	15.9	18.9	6.5	44.7
4 番	100.0 (1,894)	36.2	29.7	10.9	2.6	20.6
5 番	100.0 (1,887)	40.9	39.6	4.8	1.7	13.1

注（ ）内は，実数である。

(5) 非行の抑止になる人

少年の周囲の人たちの中で、大切にしていきたい人がいるか、いないかということが非行を回避する傾向に強く影響するとも考えられるので、非行の抑止になる人を10の選択肢から回答させたものを示したのが図32-1である。

「恋人」が25.6パーセント（回答総数1,926名）と最も多く、次に「友だち・仲間」が21.9パーセント、「誰が止めても事件を起こした」が16.8パーセントである。男女別に見ると、男子については、女子よりも「先輩」とする者が有意に多く、「誰が止めても事件を起こした」が有意に少ない ($\chi^2(9)=18.53, p<.05$)。

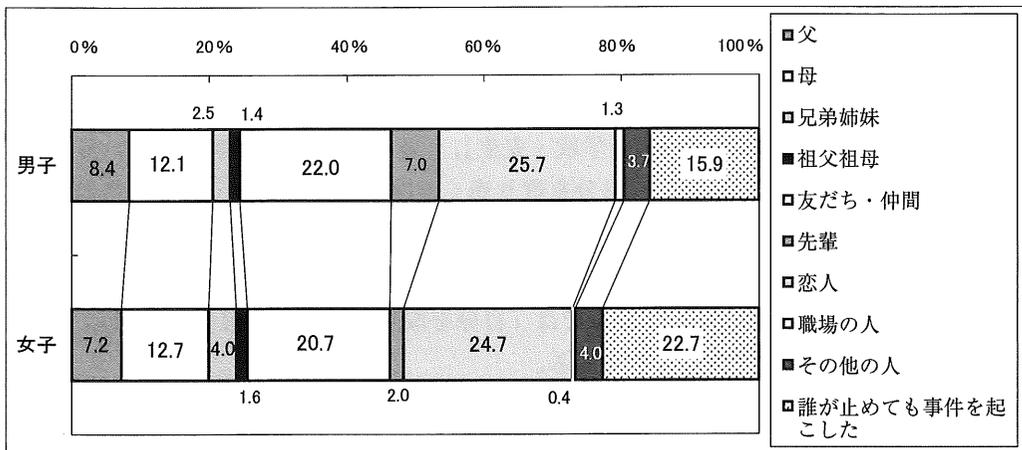


図32-1 非行を止めてくれる人（性別）

また、これを少年院入院歴の有無別（回答総数1,910名）に見たものが図32-2である。少年院入院歴のない者は少年院入院歴のある者よりも、「友だち・仲間」、「恋人」が非行の抑止になる人と考えている者の比率が高いが、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも非行の抑止になる人はおらず、「誰が止めても事件を起こした」とする者が有意に多く、「母」、「友だち・仲間」とする者が少年院入院歴のない者よりも有意に少ない ($\chi^2(9)=189.18, p<.01$)（資料12参照）。

「非行少年の生活意識と価値観」（法務総合研究所研究部報告4, 1999）によれば、非行性の深度が進むに従い非行に走る原因を「少年自身」と回答する比率が高くなる一方、友だちや仲間を選択する比率は低下しており、非行性の深度が進むに従い自省的な傾向が強まっていると分析している。

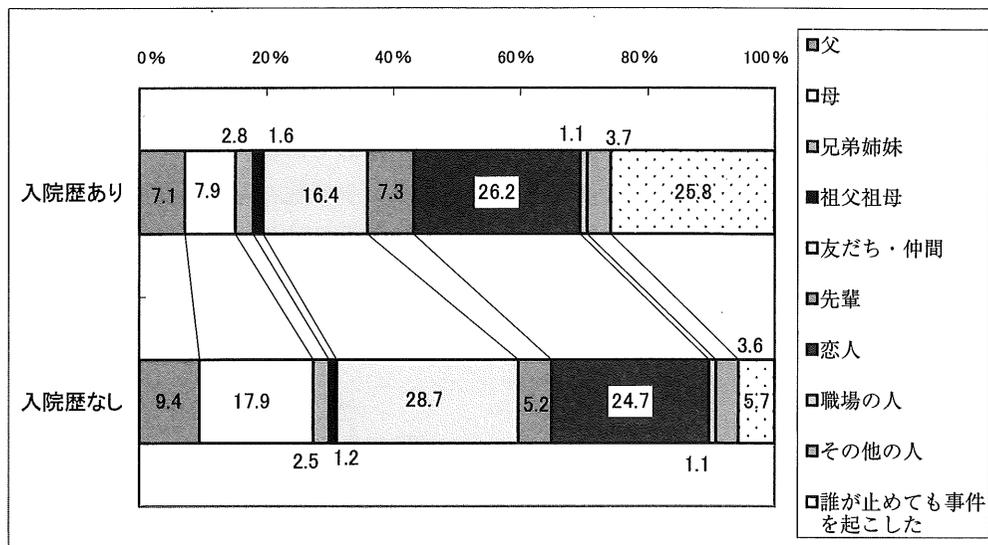


図32-2 非行を止めてくれる人

7 被害者・少年院の生活

(1) 被害者の有無

非行事件の被害者の有無を尋ねた結果は、先に職員調査票の記載内容を示した（V1(2)イ）が、ここに示すものは少年本人からの回答結果によるものである。被害者がいると回答した者は85.4パーセント（回答総数1,941名）であり、被害者がいないと回答した者は9.5パーセント、被害者の有無が分からないと回答した者は5.0パーセントである。

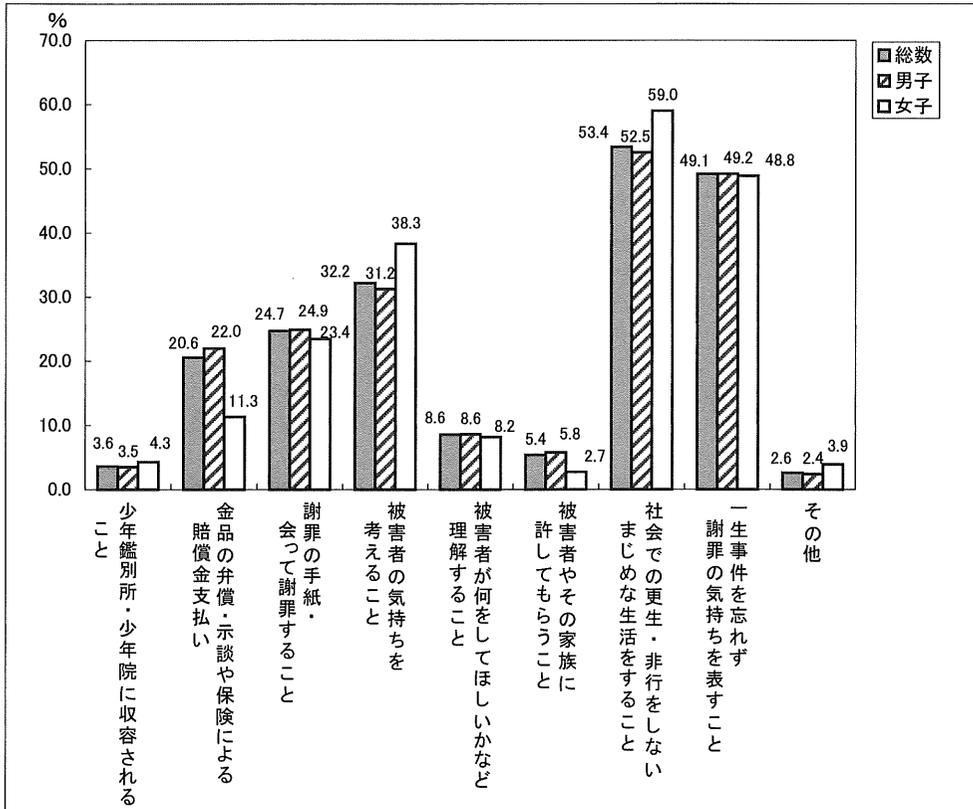
(2) 被害者に責任を果たすこと

被害者に責任を果たすことについては、非行事件にかかる被害者の有無にかかわらず全員に回答を求め、9つの選択肢の中から2つを選択させた。

なお、施設収容に関する選択肢と施設退所・出院に関する2つの選択肢は、少年鑑別所所在者用調査票と少年院在院者用調査票とでは、被収容施設と身分がそれぞれ異なるため、各調査票での文言は異なっているが、集計上は「少年鑑別所に収容されること（少年鑑別所所在者用質問項目）・少年院に収容されること（少年院在院者用質問項目）」、社会で更生すること（少年院在院者用質問項目）・非行を二度としないでまじめに生活すること（少年鑑別所所在者用質問項目）」と一つの選択肢にまとめて集計している。

図33は、結果を男女別に見たものである。「社会で更生すること（少年院在院者用質問項目）・非行を二度としないできじめに生活すること（少年鑑別所所在者用質問項目）」と「一生、事件を忘れず、被害者に謝罪の気持ちを表すこと」が50パーセント前後（回答総数1,940名）とそれぞれ上位2位を占めている。

これを非行名別に見ると、「社会で更生すること（少年院在院者用質問項目）・非行を二度としないできじめに生活すること（少年鑑別所所在者用質問項目）」及び「一



	合 計		男 子		女 子	
少年鑑別所・少年院に收容されること	70	(3.6)	59	(3.5)	11	(4.3)
金品の弁償・示談や保険による賠償金支払い	399	(20.6)	370	(22.0)	29	(11.3)
謝罪の手紙・会って謝罪すること	479	(24.7)	419	(24.9)	60	(23.4)
被害者の気持ちを考えること	624	(32.2)	526	(31.2)	98	(38.3)
被害者が何をしてほしいかなど理解すること	166	(8.6)	145	(8.6)	21	(8.2)
被害者やその家族に許してもらうこと	104	(5.4)	97	(5.8)	7	(2.7)
社会での更生・非行をしないきじめな生活すること	1,035	(53.4)	884	(52.5)	151	(59.0)
一生事件を忘れず謝罪の気持ちを表すこと	953	(49.1)	828	(49.2)	125	(48.8)
その他	50	(2.6)	40	(2.4)	10	(3.9)
合計		1,940		1,684		256

注 () 内は、比率である。

図33 被害者に責任を果たすこと（性別）

生、事件を忘れず、被害者に謝罪の気持ちを表すこと」が上位を占め、男女別の結果と同様である。ただし、殺人（回答総数11名）については、「一生、事件を忘れず、被害者に謝罪の気持ちを表すこと」が上位2位以内に入っており、このことは他の非行名と同様の結果であるが、事件の重大性を反映した「被害者の気持ちを考えること」が上位に挙げられていることが特徴的である（資料13参照）。

(3) 少年鑑別所・少年院の職員への信頼

「信頼できる」と回答した者は50.0パーセント（回答総数1,933名）、「まあ信頼できる」と回答した者は34.8パーセントであり、この2つを合わせると80パーセント以上の者が職員を信頼できると回答している。

少年鑑別所所在者（総数964名）、少年院在院者（総数969名）の別に見たものが図34である。「信頼できる」と回答した者は、少年鑑別所所在者は少年院在院者よりも有意に多い。「あまり信頼できない」、「信頼できない」と回答した者は、少年鑑別所所在者よりも少年院在院者が有意に多い（ $\chi^2(3)=54.27, p<.01$ ）。

なお、これを男女別で見たが、有意差は見られなかった。

少年院入院歴の有無別に見ると、男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも「あまり信頼できない」、「信頼できない」とするものが有意に多く、「信頼できる」とする者が有意に少ない（ $\chi^2(3)=45.50, p<.01$ ）。

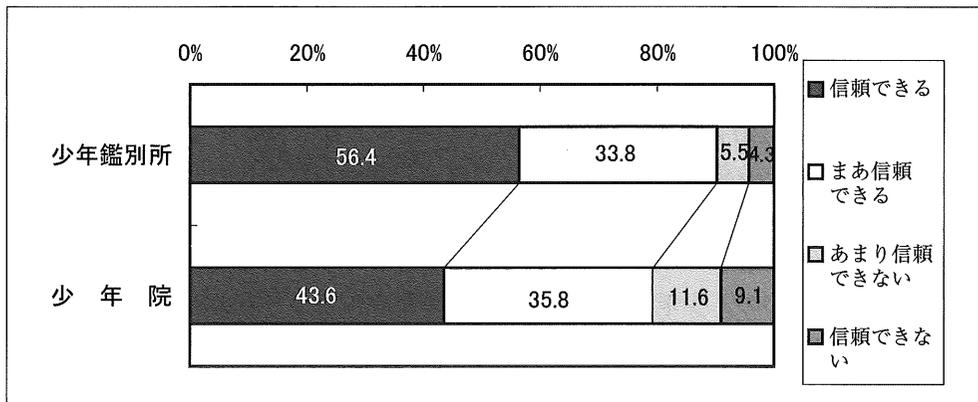


図34 少年鑑別所・少年院職員への信頼

(4) 少年鑑別所又は少年院の生活

少年鑑別所又は少年院の生活は再び非行を起こさないようにするために役に立つと思うかという設問について、「役に立つ」と回答した者は70.2パーセント（回答総数1,933名）であり、「まあ役に立つ」と回答した者は14.6パーセントである。この両者を合わせた約85パーセントの者は、少年鑑別所又は少年院の生活が再非行防止に役に

立つと回答している。一方、役に立たないと回答した者は10パーセントに満たない（「あまり役に立たない」3.3パーセント、「役に立たない」4.2パーセント）。

これを少年鑑別所在者・少年院在院者別に示したものが図35である。少年鑑別所
在者とは少年院在院者よりも「役に立つ」とする者が有意に多く、「まあ役に立つ」、
「あまり役に立たない」、「役に立たない」、「どちらともいえない」が有意に少ない（ χ^2
(4)=168.35, $p < .01$ ）。

なお、これをさらに男女別により調べたが、有意差は見られなかった。

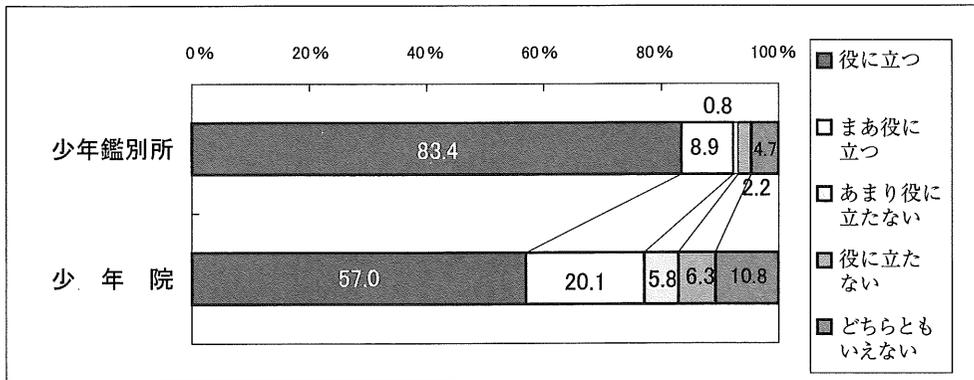


図35 少年鑑別所・少年院は再非行防止に役に立つか

(5) 少年鑑別所退所後・少年院出院後の生活設計

少年鑑別所退所後、あるいは少年院出院後の生活設計に関する設問である。62.2パーセントの者（回答総数1,939名）は「はっきりとした目標をもっている」と回答している。これを少年鑑別所在者・少年院在院者別に見たものが図36である。少年鑑別所在者（総数966名）は79.7パーセントの者が、少年院在院者（総数973名）は44.9パーセントの者が「はっきりとした目標をもっている」と回答している。有意差は見られないものの、少年鑑別所在者は少年院在院者よりも約35パーセントの高い比率を示している（資料13参照）。

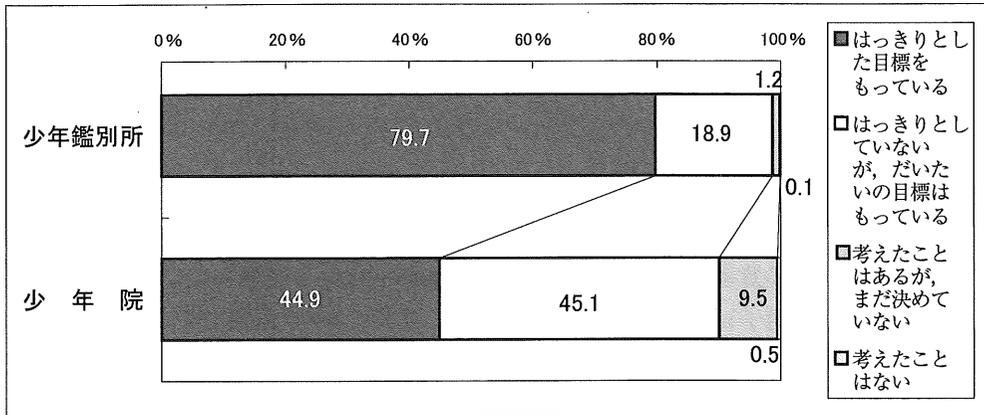


図36 少年鑑別所退所後・少年院出院後の生活設計

(6) 将来の希望 (表9)

将来の希望を聞いた結果を示したものが表9である。男女ともに「家族と幸せに暮らしたい」が60パーセント以上と最も多く（男子63.9パーセント，女子65.9パーセント），次に「趣味を生かした生活をしたい」が10パーセント台である。

表9 将来の希望

	合計	男子	女子
お金持ちになりたい	127 (6.6)	109 (6.5)	18 (7.1)
有名な人になりたい	105 (5.4)	98 (5.8)	7 (2.7)
高い地位につきたい	30 (1.6)	28 (1.7)	2 (0.8)
社会のために尽くしたい	92 (4.8)	78 (4.6)	14 (5.5)
趣味を生かした生活をしたい	235 (12.1)	208 (12.4)	27 (10.6)
家族と幸せに暮らしたい	1,241 (64.1)	1,073 (63.9)	168 (65.9)
のんきに暮らしたい	68 (3.5)	55 (3.3)	13 (5.1)
どうでもいい	10 (0.5)	9 (0.5)	1 (0.4)
わからない	27 (1.4)	22 (1.3)	5 (2.0)
合計	1,935 (100.0)	1,680 (100.0)	255 (100.0)

注 () 内は，構成比である。

VI 考察

1 学校関係

学校生活について、少年鑑別所在者、少年院在院者ともに約40パーセントの者は将来人並みの生活をするために勉強は必要であると認識しており、勉強以外のクラブ活動や友人との付き合いにその意義を見出している者は約30パーセントであった。学校生活に対する総合的な満足度は男子は女子よりも有意に多い。また、学校生活に関して、授業内容の理解、クラブ活動の感想、校則の厳しさ、学校内外の友人について、学校に対する感想（楽しかったか、やめたいと思ったか）、先生に対する感想（公平さ、信頼）、クラスでの感想（いじめられた体験の有無、クラスでの居心地）など10項目の選択肢から質問した。その結果を男女別に見ると次の3点にまとめることができる。

- (1) 男子は女子よりもクラブ活動や部活動を楽しみ、学校を楽しいと感じ、友人は学校外よりも学校内に多いことが有意に多かった。
- (2) 一方、女子について見ると、男子に比べて、友人は学校内よりも学校外に多く、できることなら学校をやめたいと考えており、先生を信頼していないと回答する者が有意に多かった。
- (3) 男女ともにクラスではいじめられていないが、クラス内では浮いていると回答した者は30パーセント程度であった。

少年院入院歴の有無別で見ると、少年院入院歴のある者は「学校で役に立つものはない」と学校生活の意義を否定しており、学校生活に関する感想10項目の回答結果から見ると、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者に比べて否定的な選択肢を選ぶ者が有意に多く、肯定的な選択肢において有意に少ないことが分かった。

2 交友関係

各質問項目の調査結果から見ると、選択肢では「2～3人」という回答が多く、気楽な友だちについては、人数の多い選択をするなど学校内外での身近な関係における交友関係の広がりが見られる。

その一方で、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも、気楽な友だち以外は、助けてくれる友だち、大切な友だち、成長させる友だち、親友と呼べる友だちなどの回答結果は人数の少ない選択をしている。個々の友人関係の総合評価に当たる友だちとの付き合いの満足度に関する回答結果では、少年院入院歴のある者は、少年院入院歴のない者よりも「満足していた」と回答している者が有意に少ないことから、交友関係に満足していない者が多いことが分かった。これは、先行研究（「非行少年の友人関係に関する研究調査」総務庁青少年対策本部（財団法人矯正協会附属中央研究所「少年非行問題研究会」委託研究）、1991年）の結果で述べられている「友人との信頼関係について、非行群は一

一般群よりも信頼できる友人を持つ比率が低い。信頼できる友人が全くいないと答えた者は、非行群の場合、一般群の倍以上いる。非行群の対人関係の浅さが目立つ結果である。」という分析結果と同様に、友人関係の広がりはあるながら、深い付き合いはない傾向があることを示されている。

3 家族との関係

家族との会話では、「職場や仕事のこと」、「友だちのこと」、「普段の自分の生活のこと」などが多いことが分かった。家族と過ごす時間については、年齢層が高くなるほど家族と過ごす時間が少なくなる傾向が見られることが分かった。

家族との会話について、男女別、年齢層別に見ると、男子については、年少少年では友だちのことが最も多いが、中間少年、年長少年以上と年齢層が高くなるにしたがって職場や仕事の話が多い。女子については、年少少年では男子の回答と同様に友だちのことが多く、男子との違いは、中間少年以上の年齢層において、「異性との交際のこと」が高い比率を占めていることである。家族との会話の多さには、少年を取り巻く人間関係の一端が現れていると想像されるが、非行の抑止になる人に関する設問との関連を見ると、抑止になる人として、「恋人」、「友だち・仲間」という回答が多く、男子については「先輩」と回答した者が有意に多い。少年院入院歴のある者は、少年院入院歴のない者よりも「誰が止めても事件を起こした」と回答をしているが、少年院入院歴のない者は「友だち・仲間」、「恋人」が非行抑止と関連していると回答している。また、少年院入院歴のない者で非行の抑止になる人として父と母を回答した者は約27パーセントであるが、少年院入院歴のある者は15パーセント程度であった。

少年院入院歴ありと回答した者の家庭に対する満足度は、男子については、少年院入院歴がある者は少年院入院歴のない者よりも満足度が低い。

4 仕事関係

職場の不満と転職との関係を聞いたところ、職場に不満があってもできるだけ一つの職場で働き続けるべきだと回答したものが60パーセント以上である。仕事を選ぶときに大切なこととしては、「仕事の内容が自分に合っていること」が最も多く、次に「自分の知識や技術がいかにすること」、「収入が多いこと」となっている。

仕事を選ぶときに気になることは、「学歴」、「仕事に関する知識や経験」が挙げられているが、少年鑑別所入所前、又は少年院入院前の仕事の有無別に見ると、男子について、仕事をしていた者は、仕事をしていなかった者よりも知識や経験を挙げる者が有意に多く、非行歴を挙げる者は有意に少ない。また、少年院入院歴の有無別に見ると、男子について、少年院入院歴のある者は少年院入院歴のない者よりも知識や経験を挙げる者が有意に多く、年齢を挙げる者は有意に少ない。

さらに職業補導について質問したところ、男女別、職業能力開発課程在籍者別に見ても、

約80パーセントの者が職業補導は出院後の生活に役に立つ（「役に立つ」と「まあ役に立つ」を合計した者）と回答しており、職業教育に関しては、一定の評価をしていることが分かる。しかしながら、この結果を年齢層別に見ると、「年長少年以上」は「役に立つ」と回答する者が「年少少年」や「中間少年」よりも有意に少ない。

5 規範意識

少年の規範意識を質問したものである。規範意識を質問するに当たっては、「中学生」の問題行動と思われる選択項目を8つ設定して、それぞれ4件法で選択させた。その結果を見ると、総じて男子は女子よりも平均値は高く、逸脱を容認する傾向がある。女子が男子よりも平均値が高い項目は、シンナー、覚せい剤などの薬物使用、道端に置いてある自転車を勝手に乗ること、学校をさぼることに關する項目である。

規範意識を年齢層別に見ると、年齢層が高くなるにしたがって平均値は高くなり、規範意識の低下傾向が見られる。また、少年院入院歴のある者と少年院入院歴のない者との比較では、男女とも少年院入院歴のある者は平均値が高く推移していることが本調査の結果となっている。

6 被害者との関係

非行事件と被害者との関係は、少年の社会復帰に向けた少年院での矯正教育のみならず、社会内での処遇においても重要な課題である。本調査では、調査対象者の本件非行の被害者の有無と被害者に責任を果たすことについて設問し、被害者の有無に関わらず全員から回答を求めた。その回答結果を見ると、社会での更生とともに、事件を忘れず被害者に謝罪の気持ちを表すことが上位を占めている。

7 少年鑑別所又は少年院の生活

少年鑑別所又は少年院の生活は再非行を起こさないようにするために役に立つかという、矯正施設の有効性と少年鑑別所職員及び少年院職員に対する信頼について質問したところ、それぞれ80パーセント以上の者が肯定的な回答をしている。しかし、少年院入院歴の有無別に見ると、男子について、少年院入院歴のある者は入院歴のない者よりも、職員に対して「あまり信頼できない」、「信頼できない」と回答する者が有意に多く、少年鑑別所在者よりも少年院在院者は矯正施設での生活が再非行防止に役に立つとする者が有意に少ない。

VII まとめ

少年鑑別所在者及び少年院在院者を対象として行った本調査は、矯正施設に収容されている少年たちの意識や価値観の変化の方向を累積的データとして整理していくためのものであり、調査内容は、家庭、学校、社会、交友関係等など調査対象少年の身近な基本的

な生活に関するものから規範意識、自己意識、生活意識、価値観等に関するものなどにわたっている。その結果を、現在施設に収容されている少年の全体として、また、男女別に、あるいは、少年鑑別所所在者・少年院在院者の別に、さらに少年院入院歴の有無などの別に整理した。

今回の調査における非行少年像の一面には、学校生活には満足しておらず、友人関係は狭く、しかもその満足度は低いこと、また、育った家庭に対する満足度や矯正施設職員に対する信頼なども少年院入院歴のある者は入院歴がない者よりも置かれた環境に対して不満があるという傾向が見られた。また、規範意識については、少年院入院歴の有無別に見たところ、少年院入院歴ありの者は、少年院入院歴なしの者よりも規範意識の許容範囲が広まっていることが分かった。これらの結果は、総じてこれまでの先行研究によるものと、ほぼ同様の結果が得られたと言える。

効果的な教育や処遇の実施に必要な情報とされるものを、今後もこの種の調査の回数を重ねてデータを蓄積し、その変化を追跡することによって、矯正施設に収容されている少年たちの意識や価値観の全体像を把握又は知悉することができるものと思われる。そのこと自体が本研究の課題とするところであり、施設に収容される少年たちの意識や価値観等の特質を、長期的・継続的に追跡する起点をここに設定した理由である。

本研究の継続によって、目的とする矯正処遇に資する資料を提供していきたい。

最後に、本調査の実施に当たり、調査に御協力を賜った法務省矯正局をはじめ、少年鑑別所及び少年院の各位に、心からの謝意を表します。

引用文献

- 鈴木真雄・松田惺・永田忠夫・植村勝彦 1985 子どものパーソナリティ発達に影響を及ぼす養育態度・家族環境・社会的ストレスに関する測定尺度構成 愛知教育大学研究報告34, 愛知教育大学, 143-145
- 総務庁青少年対策本部（現 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）） 1991 非行少年の友人関係に関する研究調査 —非行少年の家族的特性を中心として—, 8
- 総務庁青少年対策本部（現 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）） 2000 青少年の暴力観と非行に関する研究調査, 188
- 総務庁青少年対策本部（現 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）） 2000 低年齢少年の価値観等に関する調査, 11-13
- 非行少年の生活意識と価値観 1999 法務総合研究所研究部報告4, 128-129
- 大川 力・湖上康幸・門本 泉 1999 非行少年の生活意識に関する研究（その1）中央研究所紀要第9号, 79-81
- 末永清・長谷川宜志・田島秀紀・浅野千晶・嶋谷宗泰・濱井郁子 2001 在院少年の家族関係に関する研究（その1）中央研究所紀要第11号, 123-124

資料1-1 表 保護者

	合計	男子	女子
実父母	935 (48.0)	844 (49.9)	91 (35.5)
実父	199 (10.2)	166 (9.8)	33 (12.9)
実母	580 (29.8)	484 (28.6)	96 (37.5)
実父義母	42 (2.2)	37 (2.2)	5 (2.0)
義父実母	118 (6.1)	101 (6.0)	17 (6.6)
養父母	19 (1.0)	17 (1.0)	2 (0.8)
その他親族	44 (2.3)	34 (2.0)	10 (3.9)
不詳・なし	9 (0.5)	7 (0.4)	2 (0.8)
合計	1,946 (100.0)	1,690 (100.0)	256 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

資料1-2 表 兄弟姉妹の有無

	兄弟姉妹数 (人)	男子	女子	合計
兄弟姉妹なし		160 (100.0)	27 (100.0)	187 (100.0)
兄弟姉妹あり	1	658 (43.0)	105 (45.7)	763 (43.3)
	2	565 (36.9)	89 (38.7)	654 (37.1)
	3	199 (13.0)	26 (11.3)	225 (12.8)
	4	68 (4.4)	6 (2.6)	74 (4.2)
	5	20 (1.3)	3 (1.3)	23 (1.3)
	6	9 (0.6)	1 (0.4)	10 (0.6)
	7	4 (0.3)	0 (0.0)	4 (0.2)
	8	4 (0.3)	0 (0.0)	4 (0.2)
	9	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)
	10	2 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.1)
	11	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)
合計		1,531 (100.0)	230 (100.0)	1,761 (100.0)

注1 兄弟姉妹が1人でもいると回答した者
(1,761名)

2 () 内は、構成比である。

資料1-3 表 兄弟姉妹の保護処分歴の有無

	処分歴	合計	男子	女子
兄	なし	1,625 (92.3)	1,418 (92.6)	207 (90.0)
	あり	136 (7.7)	113 (7.4)	23 (10.0)
姉	なし	1,733 (98.4)	1,510 (98.6)	223 (97.0)
	あり	28 (1.6)	21 (1.4)	7 (3.0)
弟	なし	1,721 (97.7)	1,498 (97.8)	223 (97.0)
	あり	40 (2.3)	33 (2.2)	7 (3.0)
妹	なし	1,747 (99.2)	1,521 (99.3)	226 (98.3)
	あり	14 (0.8)	10 (0.7)	4 (1.7)
合計		1,761 (100.0)	1,531 (100.0)	230 (100.0)

資料1-4 表 兄弟姉妹の不良集団加入歴の有無

	加入歴	合計	男子	女子
兄	なし	1,676 (95.2)	1,456 (95.1)	220 (95.7)
	あり	85 (4.8)	75 (4.9)	10 (4.3)
姉	なし	1,746 (99.1)	1,520 (99.3)	226 (98.3)
	あり	15 (0.9)	11 (0.7)	4 (1.7)
弟	なし	1,746 (99.1)	1,517 (99.1)	229 (99.6)
	あり	15 (0.9)	14 (0.9)	1 (0.4)
妹	なし	1,757 (99.8)	1,529 (99.9)	228 (99.1)
	あり	4 (0.2)	2 (0.1)	2 (0.9)
合計		1,761 (100.0)	1,531 (100.0)	230 (100.0)

資料1-5 表 兄弟姉妹の薬物使用歴の有無

	使用歴	合計	男子	女子
兄	なし	1,717 (97.5)	1,493 (97.5)	224 (97.4)
	あり	44 (2.5)	38 (2.5)	6 (2.6)
姉	なし	1,744 (99.0)	1,517 (99.1)	227 (98.7)
	あり	17 (1.0)	14 (0.9)	3 (1.3)
弟	なし	1,754 (99.6)	1,525 (99.6)	229 (99.6)
	あり	7 (0.4)	6 (0.4)	1 (0.4)
妹	なし	1,757 (99.8)	1,529 (99.9)	228 (99.1)
	あり	4 (0.2)	2 (0.1)	2 (0.9)
合計		1,761 (100.0)	1,531 (100.0)	230 (100.0)

注1 兄弟姉妹が1人でもいると回答した者
(1,761名)

2 ()内は、構成比である。

資料2 表 種別・処遇課程等

種別	処遇区分	処遇課程	処遇課程の細分	合計	男子	女子
初等	一般短期処遇	S1 (教科教育)		11	6	5
		S3 (進路指導)		6	5	1
	長期処遇	V (職業能力開発)	V2 (職業能力開発)	19	11	8
		E (教科教育)	E1 (教科教育)	58	42	16
		H (特殊教育)	H1 (特殊教育)	2	1	1
	H (特殊教育)	H2 (特殊教育)	8	6	2	
中等	一般短期処遇	S1 (教科教育)		3	3	0
		S2 (職業指導)		3	3	0
		S3 (進路指導)		181	167	14
	特修短期処遇	O (特修短期)		1	1	0
	長期処遇	G (生活訓練)	G1 (生活訓練)	141	127	14
		V (職業能力開発)	V1 (職業能力開発)	53	53	0
		V (職業能力開発)	V2 (職業能力開発)	386	325	61
		E (教科教育)	E2 (教科教育)	3	3	0
		H (特殊教育)	H1 (特殊教育)	23	19	4
		H (特殊教育)	H2 (特殊教育)	17	13	4
特別	長期処遇	G (生活訓練)	G1 (生活訓練)	35	33	2
		G (生活訓練)	G3 (生活訓練)	4	4	0
		V (職業能力開発)	V2 (職業能力開発)	3	3	0
		H (特殊教育)	H2 (特殊教育)	1	1	0
医療	長期処遇	M (医療措置)	M1 (医療措置)	13	8	5
		P (医療措置)	P1 (医療措置)	7	6	1
合計				978	840	138

注 処遇課程(細分)の対象者は、次のとおりである。

- S1 義務教育課程の履修を必要とする者、高等学校教育を必要とし、それを受ける意欲が認められる者及び補修教育を必要とする者
- S2 職業上の進路に応じた意識、知識、技能等を高めるための職業指導を必要とする者
- S3 明確な生活設計を立てさせるための進路指導を必要とする者
- O 一般短期処遇の対象者より非行の傾向が進んでおらず、開放処遇に適する者
- G1 著しい性格の偏りがあり、反社会的な行動傾向が顕著であるため、治療的な指導及び心身の訓練を特に必要とする者
- G2 外国人で、日本人と異なる処遇を必要とする者
- G3 非行の重大性等により、少年の持つ問題性が極めて複雑、深刻であるため、その矯正と社会復帰を図る上で特別の処遇を必要とする者
- V1 職業能力開発促進法等に定める職業訓練(10か月以上)の履修を必要とする者
- V2 職業能力開発促進法等に定める職業訓練(10か月以上)の履修を必要とする者又は職業上の意識、知識、技能等を高める職業指導を必要とする者
- E1 義務教育課程の履修を必要とする者
- E2 高等学校教育を必要とし、それを受ける意欲が認められる者
- H1 知的障害者であって専門的医療措置を必要とする心身に著しい故障のないもの及び知的障害者に対する処遇に準じた処遇を必要とする者
- H2 情緒的未成熟等により非社会的な形の社会的不適応が著しいため専門的な治療教育を必要とする者
- P1 身体疾患者
- P2 肢体不自由等の身体障害のある者
- M1 精神病患者及び精神病の疑いのある者
- M2 精神病質者及び精神病質の疑いのある者

資料3-1 表 学校生活

1 授業の内容はよくわかった

	男子	女子	合計
そう思った	165 (9.8)	21 (8.2)	186 (9.6)
どちらかといえば そう思った	323 (19.2)	50 (19.5)	373 (19.2)
どちらともいえない	393 (23.3)	59 (23.0)	452 (23.3)
どちらかといえば そう思わなかった	254 (15.1)	38 (14.8)	292 (15.0)
そう思わなかった	550 (32.6)	89 (34.6)	639 (32.9)
合計	1,685 (100.0)	257 (100.0)	1,942 (100.0)

2 クラブ活動や部活動は楽しかった

	男子	女子	合計
そう思った	729 (43.5)	84 (33.3)	813 (42.1)
どちらかといえば そう思った	224 (13.4)	23 (9.1)	247 (12.8)
どちらともいえない	260 (15.5)	67 (26.6)	327 (17.0)
どちらかといえば そう思わなかった	88 (5.2)	15 (6.0)	103 (5.3)
そう思わなかった	376 (22.4)	63 (25.0)	439 (22.8)
合計	1,677 (100.0)	252 (100.0)	1,929 (100.0)

3 学校の校則は厳しかった

	男子	女子	合計
そう思った	303 (18.0)	54 (21.2)	357 (18.4)
どちらかといえば そう思った	227 (13.5)	29 (11.4)	256 (13.2)
どちらともいえない	262 (15.6)	44 (17.3)	306 (15.8)
どちらかといえば そう思わなかった	225 (13.4)	29 (11.4)	254 (13.1)
そう思わなかった	667 (39.6)	99 (38.8)	766 (39.5)
合計	1,684 (100.0)	255 (100.0)	1,939 (100.0)

4 友だちは学校以外の友だちとすごすほうが楽しかった

	男子	女子	合計
そう思った	457 (27.1)	100 (38.9)	557 (28.7)
どちらかといえば そう思った	161 (9.5)	27 (10.5)	188 (9.7)
どちらともいえない	460 (27.3)	77 (30.0)	537 (27.6)
どちらかといえば そう思わなかった	139 (8.2)	12 (4.7)	151 (7.8)
そう思わなかった	469 (27.8)	41 (16.0)	510 (26.2)
合計	1,686 (100.0)	257 (100.0)	1,943 (100.0)

5 学校は楽しかった

	男子	女子	合計
そう思った	733 (43.5)	85 (33.1)	818 (42.1)
どちらかといえば そう思った	311 (18.4)	42 (16.3)	353 (18.2)
どちらともいえない	268 (15.9)	51 (19.8)	319 (16.4)
どちらかといえば そう思わなかった	121 (7.2)	28 (10.9)	149 (7.7)
そう思わなかった	253 (15.0)	51 (19.8)	304 (15.6)
合計	1,686 (100.0)	257 (100.0)	1,943 (100.0)

6 できることなら学校をやめたいと思っていた

	男子	女子	合計
そう思った	279 (16.6)	74 (28.8)	353 (18.2)
どちらかといえば そう思った	135 (8.0)	23 (8.9)	158 (8.1)
どちらともいえない	256 (15.2)	37 (14.4)	293 (15.1)
どちらかといえば そう思わなかった	156 (9.3)	20 (7.8)	176 (9.1)
そう思わなかった	859 (51.0)	103 (40.1)	962 (49.5)
合計	1,685 (100.0)	257 (100.0)	1,942 (100.0)

7 先生は生徒のことを公平に取り扱っていた

	男子	女子	合計
そう思った	404 (24.0)	55 (21.6)	459 (23.6)
どちらかといえば そう思った	241 (14.3)	30 (11.8)	271 (14.0)
どちらともいえない	338 (20.0)	58 (22.7)	396 (20.4)
どちらかといえば そう思わなかった	148 (8.8)	27 (10.6)	175 (9.0)
そう思わなかった	555 (32.9)	85 (33.3)	640 (33.0)
合計	1,686 (100.0)	255 (100.0)	1,941 (100.0)

8 クラスではいじめられていた

	男子	女子	合計
そう思った	5 (0.3)	17 (6.7)	22 (1.1)
どちらかといえば そう思った	40 (2.4)	7 (2.8)	47 (2.4)
どちらともいえない	69 (4.1)	13 (5.1)	82 (4.2)
どちらかといえば そう思わなかった	48 (2.9)	15 (5.9)	63 (3.3)
そう思わなかった	1477 (87.7)	202 (79.5)	1,679 (86.6)
合計	1,684 (100.0)	254 (100.0)	1,938 (100.0)

9 先生を信頼していた

	男子	女子	合計
そう思った	303 (18.0)	37 (14.4)	340 (17.5)
どちらかといえば そう思った	289 (17.2)	33 (12.8)	322 (16.6)
どちらともいえない	412 (24.5)	69 (26.8)	481 (24.8)
どちらかといえば そう思わなかった	137 (8.1)	15 (5.8)	152 (7.8)
そう思わなかった	544 (32.3)	103 (40.1)	647 (33.3)
合計	1,685 (100.0)	257 (100.0)	1,942 (100.0)

10 クラスの中では浮いていた

	男子	女子	合計
そう思った	520 (30.9)	100 (39.1)	620 (32.0)
どちらかといえば そう思った	250 (14.8)	36 (14.1)	286 (14.7)
どちらともいえない	346 (20.5)	51 (19.9)	397 (20.5)
どちらかといえば そう思わなかった	120 (7.1)	13 (5.1)	133 (6.9)
そう思わなかった	448 (26.6)	56 (21.9)	504 (26.0)
合計	1,684 (100.0)	256 (100.0)	1,940 (100.0)

注 () 内は，構成比である。

資料3-2 表 学校生活（少年院入院歴の有無別）

1 授業の内容はよくわかった

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
そう思った	185 (9.6)	164 (9.8)	72 (7.8)	92 (12.4)	21 (8.2)	11 (7.5)	10 (9.3)
どちらかといえば そう思った	366 (19.0)	317 (19.0)	128 (13.8)	189 (25.5)	49 (19.2)	27 (18.4)	22 (20.4)
どちらともいえない	450 (23.4)	391 (23.4)	223 (24.0)	168 (22.7)	59 (23.1)	32 (21.8)	27 (25.0)
どちらかといえば そう思わなかった	291 (15.1)	253 (15.2)	118 (12.7)	135 (18.2)	38 (14.9)	20 (13.6)	18 (16.7)
そう思わなかった	632 (32.8)	544 (32.6)	387 (41.7)	157 (21.2)	88 (34.5)	57 (38.8)	31 (28.7)
合計	1,924 (100.0)	1,669 (100.0)	928 (100.0)	741 (100.0)	255 (100.0)	147 (100.0)	108 (100.0)

2 クラブ活動や部活動は楽しかった

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
そう思った	805 (42.1)	722 (43.5)	366 (39.4)	356 (48.6)	83 (33.2)	46 (31.7)	37 (35.2)
どちらかといえば そう思った	245 (12.8)	222 (13.4)	123 (13.3)	99 (13.5)	23 (9.2)	15 (10.3)	8 (7.6)
どちらともいえない	324 (17.0)	258 (15.5)	157 (16.9)	101 (13.8)	66 (26.4)	32 (22.1)	34 (32.4)
どちらかといえば そう思わなかった	102 (5.3)	87 (5.2)	42 (4.5)	45 (6.1)	15 (6.0)	7 (4.8)	8 (7.6)
そう思わなかった	435 (22.8)	372 (22.4)	240 (25.9)	132 (18.0)	63 (25.2)	45 (31.0)	18 (17.1)
合計	1,911 (100.0)	1,661 (100.0)	928 (100.0)	733 (100.0)	250 (100.0)	145 (100.0)	105 (100.0)

3 学校の校則は厳しかった

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
そう思った	350 (18.2)	297 (17.8)	134 (14.4)	163 (22.1)	53 (20.9)	25 (17.2)	28 (25.9)
どちらかといえば そう思った	252 (13.1)	223 (13.4)	103 (11.1)	120 (16.2)	29 (11.5)	14 (9.7)	15 (13.9)
どちらともいえない	306 (15.9)	262 (15.7)	142 (15.3)	120 (16.2)	44 (17.4)	32 (22.1)	12 (11.1)
どちらかといえば そう思わなかった	254 (13.2)	225 (13.5)	99 (10.7)	126 (17.1)	29 (11.5)	15 (10.3)	14 (13.0)
そう思わなかった	759 (39.5)	661 (39.6)	451 (48.5)	210 (28.4)	98 (38.7)	59 (40.7)	39 (36.1)
合計	1,921 (100.0)	1,668 (100.0)	929 (100.0)	739 (100.0)	253 (100.0)	145 (100.0)	108 (100.0)

4 友だちは学校以外の友だちとすごすほうが楽しかった

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
そう思った	555 (28.8)	456 (27.3)	295 (31.8)	161 (21.7)	99 (38.8)	69 (46.9)	30 (27.8)
どちらかといえば そう思った	186 (9.7)	159 (9.5)	94 (10.1)	65 (8.8)	27 (10.6)	15 (10.2)	12 (11.1)
どちらともいえない	533 (27.7)	457 (27.4)	234 (25.2)	223 (30.1)	76 (29.8)	43 (29.3)	33 (30.6)
どちらかといえば そう思わなかった	151 (7.8)	139 (8.3)	64 (6.9)	75 (10.1)	12 (4.7)	6 (4.1)	6 (5.6)
そう思わなかった	500 (26.0)	459 (27.5)	242 (26.0)	217 (29.3)	41 (16.1)	14 (9.5)	27 (25.0)
合計	1,925 (100.0)	1,670 (100.0)	929 (100.0)	741 (100.0)	255 (100.0)	147 (100.0)	108 (100.0)

5 学校は楽しかった

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
そう思った	808 (42.0)	723 (43.3)	350 (37.6)	373 (50.4)	85 (33.3)	35 (23.8)	50 (46.3)
どちらかといえば そう思った	351 (18.2)	309 (18.5)	165 (17.7)	144 (19.5)	42 (16.5)	25 (17.0)	17 (15.7)
どちらともいえない	318 (16.5)	268 (16.0)	163 (17.5)	105 (14.2)	50 (19.6)	34 (23.1)	16 (14.8)
どちらかといえば そう思わなかった	148 (7.7)	120 (7.2)	68 (7.3)	52 (7.0)	28 (11.0)	16 (10.9)	12 (11.1)
そう思わなかった	300 (15.6)	250 (15.0)	184 (19.8)	66 (8.9)	50 (19.6)	37 (25.2)	13 (12.0)
合計	1,925 (100.0)	1,670 (100.0)	930 (100.0)	740 (100.0)	255 (100.0)	147 (100.0)	108 (100.0)

6 できることなら学校をやめたいと思っていた

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
そう思った	350 (18.2)	276 (16.5)	197 (21.2)	79 (10.7)	74 (29.0)	50 (34.0)	24 (22.2)
どちらかといえば そう思った	157 (8.2)	134 (8.0)	65 (7.0)	69 (9.3)	23 (9.0)	13 (8.8)	10 (9.3)
どちらともいえない	291 (15.1)	254 (15.2)	160 (17.2)	94 (12.7)	37 (14.5)	28 (19.0)	9 (8.3)
どちらかといえば そう思わなかった	175 (9.1)	155 (9.3)	86 (9.2)	69 (9.3)	20 (7.8)	11 (7.5)	9 (8.3)
そう思わなかった	951 (49.4)	850 (50.9)	422 (45.4)	428 (57.9)	101 (39.6)	45 (30.6)	56 (51.9)
合計	1,924 (100.0)	1,669 (100.0)	930 (100.0)	739 (100.0)	255 (100.0)	147 (100.0)	108 (100.0)

7 先生は生徒のことを公平に取り扱っていた

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
そう思った	455 (23.7)	401 (24.0)	166 (17.9)	235 (31.7)	54 (21.3)	31 (21.2)	23 (21.5)
どちらかといえば そう思った	269 (14.0)	239 (14.3)	101 (10.9)	138 (18.6)	30 (11.9)	14 (9.6)	16 (15.0)
どちらともいえない	392 (20.4)	335 (20.1)	212 (22.8)	123 (16.6)	57 (22.5)	31 (21.2)	26 (24.3)
どちらかといえば そう思わなかった	174 (9.0)	147 (8.8)	71 (7.6)	76 (10.3)	27 (10.7)	11 (7.5)	16 (15.0)
そう思わなかった	633 (32.9)	548 (32.8)	379 (40.8)	169 (22.8)	85 (33.6)	59 (40.4)	26 (24.3)
合計	1,923 (100.0)	1,670 (100.0)	929 (100.0)	741 (100.0)	253 (100.0)	146 (100.0)	107 (100.0)

8 クラスではいじめられていた

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
そう思った	67 (3.5)	50 (3.0)	37 (4.0)	13 (1.8)	17 (6.7)	12 (8.2)	5 (4.6)
どちらかといえば そう思った	46 (2.4)	39 (2.3)	22 (2.4)	17 (2.3)	7 (2.7)	7 (4.8)	0 (0.0)
どちらともいえない	81 (4.2)	68 (4.1)	45 (4.8)	23 (3.1)	13 (5.1)	9 (6.1)	4 (3.7)
どちらかといえば そう思わなかった	63 (3.3)	48 (2.9)	31 (3.3)	17 (2.3)	15 (5.9)	7 (4.8)	8 (7.4)
そう思わなかった	1,663 (86.4)	1,463 (87.7)	793 (85.5)	670 (90.4)	200 (78.4)	111 (75.5)	89 (82.4)
合計	1,920 (100.0)	1,668 (100.0)	928 (100.0)	740 (100.0)	252 (100.0)	146 (100.0)	106 (100.0)

9 先生を信頼していた

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
そう思った	333 (17.3)	296 (17.7)	111 (12.0)	185 (25.0)	37 (14.5)	13 (8.8)	24 (22.2)
どちらかといえば そう思った	319 (16.6)	287 (17.2)	131 (14.1)	156 (21.1)	32 (12.5)	12 (8.2)	20 (18.5)
どちらともいえない	478 (24.8)	410 (24.6)	221 (23.8)	189 (25.5)	68 (26.7)	37 (25.2)	31 (28.7)
どちらかといえば そう思わなかった	151 (7.8)	136 (8.1)	70 (7.5)	66 (8.9)	15 (5.9)	8 (5.4)	7 (6.5)
そう思わなかった	643 (33.4)	540 (32.4)	395 (42.6)	145 (19.6)	103 (40.4)	77 (52.4)	26 (24.1)
合計	1,924 (100.0)	1,669 (100.0)	928 (100.0)	741 (100.0)	255 (100.0)	147 (100.0)	108 (100.0)

10 クラスの中では浮いていた

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
そう思った	615 (32.0)	515 (30.9)	366 (39.5)	149 (20.1)	100 (39.4)	68 (46.3)	32 (29.9)
どちらかといえば そう思った	284 (14.8)	248 (14.9)	134 (14.5)	114 (15.4)	36 (14.2)	22 (15.0)	14 (13.1)
どちらともいえない	393 (20.4)	343 (20.6)	176 (19.0)	167 (22.5)	50 (19.7)	23 (15.6)	27 (25.2)
どちらかといえば そう思わなかった	131 (6.8)	118 (7.1)	41 (4.4)	77 (10.4)	13 (5.1)	6 (4.1)	7 (6.5)
そう思わなかった	499 (26.0)	444 (26.6)	210 (22.7)	234 (31.6)	55 (21.7)	28 (19.0)	27 (25.2)
合計	1,922 (100.0)	1,668 (100.0)	927 (100.0)	741 (100.0)	254 (100.0)	147 (100.0)	107 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 「入院あり」とは、少年院入院が1度でもある者を、「入院なし」とは、少年院入院歴のない者を指す。

資料4-1 表 学校生活について

	合計	男子	女子
自分で決めた進路に進むために必要な勉強であり、興味がある	347 (17.9)	220 (13.1)	25 (9.7)
将来人並みの生活をするためには、学校の勉強は必要だと思う	590 (30.4)	620 (36.8)	95 (37.0)
学校の勉強が将来役に立つとは思わないが、仕方がないから勉強する	405 (20.9)	185 (11.0)	37 (14.4)
勉強は役に立たないし、やりたくないが、クラブ活動や友だちとの付き合いは楽しい	307 (15.8)	558 (33.2)	78 (30.4)
学校生活で役に立つものはない	292 (15.1)	100 (5.9)	22 (8.6)
合計	1,940 (100.0)	1,683 (100.0)	257 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

資料4-2 表 学校生活の満足度

	合計	男子	女子
満足していた	347 (17.9)	311 (31.9)	36 (4.3)
まあ満足していた	590 (30.4)	529 (54.2)	61 (7.3)
どちらともいえない	405 (20.9)	351 (36.0)	54 (6.4)
やや不満であった	307 (15.8)	264 (27.0)	43 (5.1)
不満であった	292 (15.0)	230 (23.6)	62 (7.4)
合計	1,941 (100.0)	1,685 (100.0)	256 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

資料4-3 表 学校での勉強

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
自分で決めた進路に進むために必要な勉強であり、興味がある	244 (12.7)	219 (13.1)	83 (8.9)	136 (18.4)	25 (9.8)	10 (6.8)	15 (13.9)
将来人並みの生活をするためには、学校の勉強は必要だと思う	710 (36.9)	616 (37.0)	291 (31.3)	325 (44.0)	94 (36.9)	41 (27.9)	53 (49.1)
学校の勉強が将来役に立つとは思わないが、仕方がないから勉強する	220 (11.4)	183 (11.0)	103 (11.1)	80 (10.8)	37 (14.5)	29 (19.7)	8 (7.4)
勉強は役に立たないし、やりたくないが、クラブ活動や友だちとの付き合いは楽しい	628 (32.7)	550 (33.0)	379 (40.8)	171 (23.2)	78 (30.6)	49 (33.3)	29 (26.9)
学校生活で役に立つものはない	120 (6.2)	99 (5.9)	73 (7.9)	26 (3.5)	21 (8.2)	18 (12.2)	3 (2.8)
合計	1,922 (100.0)	1,667 (100.0)	929 (100.0)	738 (100.0)	255 (100.0)	147 (100.0)	108 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

2 「入院あり」とは、少年院入院が1度でもある者を、「入院なし」とは、少年院入院歴のない者を指す。

資料4-4 表 学校生活への満足度

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
満足していた	343 (17.8)	307 (18.4)	110 (11.8)	197 (26.6)	36 (14.2)	11 (7.5)	25 (23.4)
まあ満足していた	583 (30.3)	522 (31.3)	270 (29.1)	252 (34.1)	61 (24.0)	25 (17.0)	36 (33.6)
どちらともいえない	402 (20.9)	349 (20.9)	224 (24.1)	125 (16.9)	53 (20.9)	36 (24.5)	17 (15.9)
やや不満であった	304 (15.8)	261 (15.6)	147 (15.8)	114 (15.4)	43 (16.9)	27 (18.4)	16 (15.0)
不満であった	291 (15.1)	230 (13.8)	178 (19.2)	52 (7.0)	61 (24.0)	48 (32.7)	13 (12.1)
合計	1,923 (100.0)	1,669 (100.0)	929 (100.0)	740 (100.0)	254 (100.0)	147 (100.0)	107 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

資料5-1 表 友だちとの関係

1 困ったときに助けてくれる友だち

	男子	女子	合計
いない	94 (5.6)	18 (7.0)	112 (5.8)
1人	117 (6.9)	23 (9.0)	140 (7.2)
2～3人	557 (33.0)	84 (32.8)	641 (33.0)
4～5人	360 (21.3)	58 (22.7)	418 (21.5)
6～9人	241 (14.3)	34 (13.3)	275 (14.1)
10人以上	320 (18.9)	39 (15.2)	359 (18.5)
合計	1,689 (100.0)	256 (100.0)	1,945 (100.0)

2 悩みや不満を聞いてくれる友だち

	男子	女子	合計
いない	131 (7.8)	9 (3.5)	140 (7.2)
1人	152 (9.0)	25 (9.8)	177 (9.1)
2～3人	688 (40.7)	100 (39.1)	788 (40.5)
4～5人	341 (20.2)	65 (25.4)	406 (20.9)
6～9人	180 (10.7)	24 (9.4)	204 (10.5)
10人以上	197 (11.7)	33 (12.9)	230 (11.8)
合計	1,689 (100.0)	256 (100.0)	1,945 (100.0)

3 自分を大切にしてくれる友だち

	男子	女子	合計
いない	134 (7.9)	18 (7.1)	152 (7.8)
1人	150 (8.9)	39 (15.3)	189 (9.7)
2～3人	550 (32.6)	83 (32.5)	633 (32.6)
4～5人	320 (19.0)	45 (17.6)	365 (18.8)
6～9人	245 (14.5)	37 (14.5)	282 (14.5)
10人以上	289 (17.1)	33 (12.9)	322 (16.6)
合計	1,688 (100.0)	255 (100.0)	1,943 (100.0)

4 自分を成長させてくれる友だち

	男子	女子	合計
いない	313 (18.6)	38 (15.0)	351 (18.1)
1人	225 (13.3)	51 (20.2)	276 (14.2)
2～3人	577 (34.2)	97 (38.3)	674 (34.7)
4～5人	263 (15.6)	34 (13.4)	297 (15.3)
6～9人	141 (8.4)	17 (6.7)	158 (8.1)
10人以上	168 (10.0)	16 (6.3)	184 (9.5)
合計	1,687 (100.0)	253 (100.0)	1,940 (100.0)

5 言にくいことも言ってくれる友だち

	男子	女子	合計
いない	146 (8.6)	22 (8.6)	168 (8.6)
1人	277 (16.4)	65 (25.5)	342 (17.6)
2～3人	673 (39.8)	93 (36.5)	766 (39.4)
4～5人	295 (17.4)	46 (18.0)	341 (17.5)
6～9人	147 (8.7)	16 (6.3)	163 (8.4)
10人以上	153 (9.0)	13 (5.1)	166 (8.5)
合計	1,691 (100.0)	255 (100.0)	1,946 (100.0)

6 親友と呼べる友だち

	男子	女子	合計
いない	159 (9.4)	36 (14.1)	195 (10.0)
1人	373 (22.1)	81 (31.8)	454 (23.4)
2～3人	632 (37.5)	90 (35.3)	722 (37.2)
4～5人	267 (15.8)	32 (12.5)	299 (15.4)
6～9人	161 (9.5)	13 (5.1)	174 (9.0)
10人以上	94 (5.6)	3 (1.2)	97 (5.0)
合計	1,686 (100.0)	255 (100.0)	1,941 (100.0)

7 気楽に話したり、一緒に遊ぶ友だち

	男子	女子	合計
いない	27 (1.6)	7 (2.7)	34 (1.7)
1人	47 (2.8)	14 (5.5)	61 (3.1)
2～3人	204 (12.1)	47 (18.4)	251 (12.9)
4～5人	260 (15.4)	41 (16.1)	301 (15.5)
6～9人	332 (19.6)	38 (14.9)	370 (19.0)
10人以上	821 (48.6)	108 (42.4)	929 (47.7)
合計	1,691 (100.0)	255 (100.0)	1,946 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

資料5-2表 友だちとの関係

1 困ったときに助けてくれる友だち

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
いない	112 (5.8)	94 (5.6)	62 (6.7)	32 (4.3)	18 (7.1)	14 (9.6)	4 (3.7)
1人	140 (7.3)	117 (7.0)	75 (8.1)	42 (5.7)	23 (9.1)	14 (9.6)	9 (8.3)
2~3人	631 (32.7)	548 (32.8)	316 (33.9)	232 (31.3)	83 (32.7)	47 (32.2)	36 (33.3)
4~5人	417 (21.6)	359 (21.5)	186 (20.0)	173 (23.3)	58 (22.8)	31 (21.2)	27 (25.0)
6~9人	271 (14.1)	238 (14.2)	127 (13.6)	111 (15.0)	33 (13.0)	16 (11.0)	17 (15.7)
10人以上	356 (18.5)	317 (18.9)	165 (17.7)	152 (20.5)	39 (15.4)	24 (16.4)	15 (13.9)
合計	1,927 (100.0)	1,673 (100.0)	931 (100.0)	742 (100.0)	254 (100.0)	146 (100.0)	108 (100.0)

2 悩みや不満を聞いてくれる友だち

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
いない	140 (7.3)	131 (7.8)	87 (9.4)	44 (5.9)	9 (3.5)	7 (4.8)	2 (1.9)
1人	176 (9.1)	151 (9.0)	87 (9.4)	64 (8.6)	25 (9.8)	15 (10.3)	10 (9.3)
2~3人	778 (40.4)	679 (40.6)	381 (41.0)	298 (40.1)	99 (39.0)	58 (39.7)	41 (38.0)
4~5人	403 (20.9)	338 (20.2)	169 (18.2)	169 (22.7)	65 (25.6)	40 (27.4)	25 (23.1)
6~9人	201 (10.4)	177 (10.6)	92 (9.9)	85 (11.4)	24 (9.4)	9 (6.2)	15 (13.9)
10人以上	229 (11.9)	197 (11.8)	114 (12.3)	83 (11.2)	32 (12.6)	17 (11.6)	15 (13.9)
合計	1,927 (100.0)	1,673 (100.0)	930 (100.0)	743 (100.0)	254 (100.0)	146 (100.0)	108 (100.0)

3 自分を大切にしてくれる友だち

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
いない	152 (7.9)	134 (8.0)	100 (10.8)	34 (4.6)	18 (7.1)	15 (10.3)	3 (2.8)
1人	187 (9.7)	148 (8.9)	105 (11.3)	43 (5.8)	39 (15.4)	21 (14.4)	18 (16.8)
2~3人	625 (32.5)	543 (32.5)	299 (32.2)	244 (32.8)	82 (32.4)	56 (38.4)	26 (24.3)
4~5人	364 (18.9)	319 (19.1)	181 (19.5)	138 (18.6)	45 (17.8)	24 (16.4)	21 (19.6)
6~9人	279 (14.5)	243 (14.5)	116 (12.5)	127 (17.1)	36 (14.2)	16 (11.0)	20 (18.7)
10人以上	318 (16.5)	285 (17.0)	128 (13.8)	157 (21.1)	33 (13.0)	14 (9.6)	19 (17.8)
合計	1,925 (100.0)	1,672 (100.0)	929 (100.0)	743 (100.0)	253 (100.0)	146 (100.0)	107 (100.0)

4 自分を成長させてくれる友だち

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
いない	350 (18.2)	312 (18.7)	231 (24.8)	81 (10.9)	38 (15.1)	32 (22.1)	6 (5.7)
1人	274 (14.3)	223 (13.3)	139 (14.9)	84 (11.4)	51 (20.3)	29 (20.0)	22 (20.8)
2~3人	666 (34.7)	570 (34.1)	311 (33.4)	259 (35.0)	96 (38.2)	51 (35.2)	45 (42.5)
4~5人	294 (15.3)	261 (15.6)	114 (12.2)	147 (19.9)	33 (13.1)	18 (12.4)	15 (14.2)
6~9人	157 (8.2)	140 (8.4)	64 (6.9)	76 (10.3)	17 (6.8)	5 (3.4)	12 (11.3)
10人以上	181 (9.4)	165 (9.9)	72 (7.7)	93 (12.6)	16 (6.4)	10 (6.9)	6 (5.7)
合計	1,922 (100.0)	1,671 (100.0)	931 (100.0)	740 (100.0)	251 (100.0)	145 (100.0)	106 (100.0)

5 言いにくいことも言ってくれる友だち

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
いない	168 (8.7)	146 (8.7)	104 (11.2)	42 (5.7)	22 (8.7)	18 (12.4)	4 (3.7)
1人	338 (17.5)	273 (16.3)	166 (17.8)	107 (14.4)	65 (25.7)	42 (29.0)	23 (21.3)
2~3人	759 (39.4)	666 (39.8)	377 (40.5)	289 (38.9)	93 (36.8)	47 (32.4)	46 (42.6)
4~5人	338 (17.5)	293 (17.5)	140 (15.0)	153 (20.6)	45 (17.8)	24 (16.6)	21 (19.4)
6~9人	163 (8.5)	147 (8.8)	66 (7.1)	81 (10.9)	16 (6.3)	8 (5.5)	8 (7.4)
10人以上	162 (8.4)	150 (9.0)	79 (8.5)	71 (9.6)	12 (4.7)	6 (4.1)	6 (5.6)
合計	1,928 (100.0)	1,675 (100.0)	932 (100.0)	743 (100.0)	253 (100.0)	145 (100.0)	108 (100.0)

6 親友と呼べる友だち

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
いない	193 (10.0)	158 (9.5)	120 (12.9)	38 (5.1)	35 (13.8)	28 (19.2)	7 (6.5)
1人	453 (23.6)	372 (22.3)	228 (24.5)	144 (19.5)	81 (32.0)	47 (32.2)	34 (31.8)
2~3人	715 (37.2)	625 (37.4)	336 (36.1)	289 (39.1)	90 (35.6)	51 (34.9)	39 (36.4)
4~5人	296 (15.4)	265 (15.9)	135 (14.5)	130 (17.6)	31 (12.3)	15 (10.3)	16 (15.0)
6~9人	171 (8.9)	158 (9.5)	73 (7.8)	85 (11.5)	13 (5.1)	5 (3.4)	8 (7.5)
10人以上	95 (4.9)	92 (5.5)	38 (4.1)	54 (7.3)	3 (1.2)	0 (0.0)	3 (2.8)
合計	1,923 (100.0)	1,670 (100.0)	930 (100.0)	740 (100.0)	253 (100.0)	146 (100.0)	107 (100.0)

7 気楽に話したり、一緒に遊ぶ友だち

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
いない	34 (1.8)	27 (1.6)	20 (2.1)	7 (0.9)	7 (2.8)	5 (3.4)	2 (1.9)
1人	61 (3.2)	47 (2.8)	27 (2.9)	20 (2.7)	14 (5.5)	10 (6.8)	4 (3.7)
2~3人	246 (12.8)	199 (11.9)	117 (12.6)	82 (11.1)	47 (18.5)	29 (19.9)	18 (16.7)
4~5人	296 (15.4)	256 (15.3)	125 (13.4)	131 (17.7)	40 (15.7)	22 (15.1)	18 (16.7)
6~9人	368 (19.1)	330 (19.7)	166 (17.8)	164 (22.1)	38 (15.0)	15 (10.3)	23 (21.3)
10人以上	923 (47.9)	816 (48.8)	477 (51.2)	339 (45.7)	107 (42.1)	64 (43.8)	43 (39.8)
合計	1,928 (100.0)	1,675 (100.0)	932 (100.0)	743 (100.0)	253 (100.0)	145 (100.0)	108 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 「入院あり」とは、少年院入院が1度でもある者を、「入院なし」とは、少年院入院歴のない者を指す。

資料6-1 表 友だちといた時間

	合計	男子	女子
ほとんどない	83 (4.3)	368 (4.0)	15 (5.9)
30分くらい	6 (0.3)	6 (0.4)	0 (0.0)
1時間～2時間くらい	102 (5.2)	90 (5.3)	12 (4.7)
3時間以上	1,755 (90.2)	1,526 (90.3)	229 (89.5)
合計	1,946 (100.0)	1,690 (100.0)	256 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

資料6-2 表 友だちとの連絡方法

	合計	男子	女子
携帯電話	1,180 (60.8)	1,070 (63.5)	110 (42.8)
携帯電話のメール	432 (22.2)	321 (19.1)	111 (43.2)
直接会う	237 (12.2)	210 (12.5)	27 (10.5)
家の電話	91 (4.7)	82 (4.9)	9 (3.5)
家のパソコンメール	2 (0.1)	2 (0.1)	0 (0.0)
合計	1,942 (100.0)	1,685 (100.0)	257 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

資料6-3 表 友だちとの付き合いの満足度

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
満足していた	980 (50.9)	865 (51.7)	409 (43.9)	456 (61.5)	115 (45.3)	49 (33.3)	66 (61.7)
まあ満足していた	549 (28.5)	484 (28.9)	290 (31.1)	194 (26.2)	65 (25.6)	41 (27.9)	24 (22.4)
どちらともいえない	257 (13.3)	210 (12.6)	153 (16.4)	57 (7.7)	47 (18.5)	38 (25.9)	9 (8.4)
やや不満だった	90 (4.7)	72 (4.3)	51 (5.5)	21 (2.8)	18 (7.1)	10 (6.8)	8 (7.5)
不満だった	50 (2.6)	41 (2.5)	28 (3.0)	13 (1.8)	9 (3.5)	9 (6.1)	0 (0.00)
合計	1,926 (100.0)	1,672 (100.0)	931 (100.0)	741 (100.0)	254 (100.0)	147 (100.0)	107 (100.0)

注1 () 内は、構成比である。

2 「入院あり」とは、少年院入院が1度でもある者を、「入院なし」とは、少年院入院歴のない者を指す。

資料7-1 表 家族との話題

	合計	男子	女子
1 家族のこと	319 (17.0)	267 (16.5)	52 (21.0)
2 普段の自分の生活のこと	526 (28.1)	463 (28.5)	63 (25.4)
3 自分の性格や悩み	79 (4.2)	64 (3.9)	15 (6.0)
4 友だちとのこと	742 (39.7)	627 (38.6)	115 (46.4)
5 異性との交際のこと	467 (25.0)	368 (22.7)	99 (39.9)
6 学校や先生のこと	225 (12.0)	184 (11.3)	41 (16.5)
7 職場や仕事のこと	771 (41.2)	724 (44.6)	47 (19.0)
8 近所の出来事のこと	182 (9.7)	158 (9.7)	24 (9.7)
9 遊びや趣味のこと	505 (27.0)	437 (26.9)	68 (27.4)
10 社会の出来事やニュース	279 (14.9)	252 (15.5)	27 (10.9)
11 進路や将来のこと	423 (22.6)	391 (24.1)	32 (12.9)
12（1から11以外の）その他のこと	139 (7.4)	122 (7.5)	17 (6.9)
13 家族と話をすれば，けんかばかりしていた	157 (8.4)	127 (7.8)	30 (12.1)
14 ほとんど話をしなかった	1,755 (93.8)	1,526 (94.0)	229 (92.3)
合計	1,871	1,623	248

注1 ()内は，比率である。

2 多重回答（3つまで）である。

資料7-2 表 家族との会話（年齢層別）

	合計	男子					女子				
		計	触法少年	年少少年	中間少年	年長少年以上	計	触法少年	年少少年	中間少年	年長少年以上
1 家族のこと	319 (17.0)	267 (16.5)	0 (0.0)	39 (15.3)	96 (17.1)	132 (16.4)	52 (21.0)	0	12 (15.8)	15 (18.3)	25 (27.8)
2 普段の自分の生活のこと	526 (28.1)	463 (28.5)	0 (0.0)	75 (29.4)	152 (27.1)	236 (29.4)	63 (25.4)	0	16 (21.1)	20 (24.4)	27 (30.0)
3 自分の性格や悩み	79 (4.2)	64 (3.9)	0 (0.0)	10 (3.9)	29 (5.2)	25 (3.1)	15 (6.0)	0	4 (5.3)	2 (2.4)	9 (10.0)
4 友だちとのこと	742 (39.7)	627 (38.6)	2 (66.7)	105 (41.2)	239 (42.6)	281 (35.0)	115 (46.4)	0	46 (60.5)	42 (51.2)	27 (30.0)
5 異性との交際とのこと	467 (25.0)	368 (22.7)	0 (0.0)	44 (17.3)	130 (23.2)	194 (24.1)	99 (39.9)	0	20 (26.3)	42 (51.2)	37 (41.1)
6 学校や先生のこと	225 (12.0)	184 (11.3)	1 (33.3)	77 (30.2)	69 (12.3)	37 (4.6)	41 (16.5)	0	26 (34.2)	10 (12.2)	5 (5.6)
7 職場や仕事のこと	771 (41.2)	724 (44.6)	1 (33.3)	41 (16.1)	258 (46.0)	424 (52.7)	47 (19.0)	0	4 (5.3)	15 (18.3)	28 (31.1)
8 近所の出来事のこと	182 (9.7)	158 (9.7)	0 (0.0)	15 (5.9)	47 (8.4)	96 (11.9)	24 (9.7)	0	8 (10.5)	5 (6.1)	11 (12.2)
9 遊びや仕事のこと	505 (27.0)	437 (26.9)	0 (0.0)	79 (31.0)	133 (23.7)	225 (28.0)	68 (27.4)	0	22 (28.9)	25 (30.5)	21 (23.3)
10 社会の出来事やニュース	279 (14.9)	252 (15.5)	0 (0.0)	33 (12.9)	84 (15.0)	135 (16.8)	27 (10.9)	0	6 (7.9)	7 (8.5)	14 (15.6)
11 進路や将来のこと	423 (22.6)	391 (24.1)	1 (33.3)	93 (36.5)	130 (23.2)	167 (20.8)	32 (12.9)	0	12 (15.8)	11 (13.4)	9 (10.0)
12 (1から11以外の)その他のこと	139 (7.4)	122 (7.5)	0 (0.0)	16 (6.3)	40 (7.1)	66 (8.2)	17 (6.9)	0	5 (6.6)	5 (6.1)	7 (7.8)
13 家族と話をすれば、けんかばかりしていた	157 (8.4)	127 (7.89)	0 (0.0)	21 (8.2)	40 (7.1)	66 (8.2)	30 (12.1)	0	10 (13.2)	6 (7.3)	14 (15.6)
14 ほとんど話をしなかった	235 (12.6)	201 (12.4)	0 (0.0)	34 (13.3)	70 (12.5)	97 (12.1)	34 (13.7)	0	11 (14.5)	12 (14.6)	11 (12.2)
合計	1,871	1,623	3	255	561	804	248	0	76	82	90

注1 ()内は、比率である。

2 多重回答(3つまで)である。

3 年齢層の内訳は、次のとおりである。

「触法少年」：14歳未満, 「年少少年」：14・15歳, 「中間少年」：16・17歳, 「年長少年以上」：18歳以上

資料8-1 表 家族とすごした時間

	合計	男子	女子
ほとんどない	295 (15.3)	252 (15.1)	43 (16.9)
30分くらい	159 (8.3)	139 (8.3)	20 (7.8)
1時間～ 2時間くらい	521 (27.1)	461 (27.6)	60 (23.5)
3時間以上	948 (49.3)	816 (48.9)	132 (51.8)
合計	1,923 (100.0)	1,668 (100.0)	255 (100.0)

注（ ）内は，構成比である。

資料8-2 表 家族とすごした時間（年齢層別）

	合計	触法少年	年少少年	中間少年	年長少年 以上
ほとんどない	295 (15.3)	0 (0.0)	28 (8.2)	98 (14.7)	169 (18.6)
30分くらい	159 (8.3)	1 (25.0)	25 (7.4)	47 (7.0)	86 (9.4)
1時間～2時 間くらい	521 (27.1)	1 (25.0)	64 (18.8)	191 (28.6)	265 (29.1)
3時間以上	948 (49.3)	2 (50.0)	223 (65.6)	332 (49.7)	391 (42.9)
合計	1,923 (100.0)	4 (100.0)	340 (100.0)	668 (100.0)	911 (100.0)

注1（ ）内は，構成比である。

2 年齢層の内訳は，次のとおりである。

「触法少年」：14歳未満，「年少少年」：14・15歳，「中間少年」：16・17歳，「年長少年以上」：18歳以上

資料9-1 表 父の養育態度について

1 お父さんは、自分の悩みや心配ごとをよく理解してくれる

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	194 (14.1)	35 (17.3)	229 (14.5)
あまりそう思わない	290 (21.0)	45 (22.3)	335 (21.2)
すこしそう思う	547 (39.6)	68 (33.7)	615 (38.9)
とてもそう思う	349 (25.3)	54 (26.7)	403 (25.5)
合計	1,380 (100.0)	202 (100.0)	1,582 (100.0)

2 お父さんは、自分を邪魔者扱いすることがある

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	800 (57.9)	112 (55.4)	912 (57.6)
あまりそう思わない	336 (24.3)	48 (23.8)	384 (24.2)
すこしそう思う	177 (12.8)	30 (14.9)	207 (13.1)
とてもそう思う	69 (5.0)	12 (5.9)	81 (5.1)
合計	1,382 (100.0)	202 (100.0)	1,584 (100.0)

3 お父さんは、お父さんの言うように子どもにさせたがる

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	425 (30.8)	70 (35.0)	495 (31.3)
あまりそう思わない	452 (32.8)	67 (33.5)	519 (32.8)
すこしそう思う	314 (22.8)	41 (20.5)	355 (22.5)
とてもそう思う	189 (13.7)	22 (11.0)	211 (13.4)
合計	1,380 (100.0)	200 (100.0)	1,580 (100.0)

4 お父さんは、自分とはあまり話をしないほうだ

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	413 (30.0)	79 (39.1)	492 (31.1)
あまりそう思わない	407 (29.5)	55 (27.2)	462 (29.2)
すこしそう思う	343 (24.9)	39 (19.3)	382 (24.2)
とてもそう思う	215 (15.6)	29 (14.4)	244 (15.4)
合計	1,378 (100.0)	202 (100.0)	1,580 (100.0)

5 お父さんといると楽しい

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	174 (12.6)	21 (10.4)	195 (12.3)
あまりそう思わない	413 (30.0)	44 (21.8)	457 (28.9)
すこしそう思う	498 (36.1)	70 (34.7)	568 (35.9)
とてもそう思う	297 (21.6)	66 (32.7)	363 (23.0)
合計	1,382 (100.0)	201 (100.0)	1,583 (100.0)

6 お父さんのような人になりたい

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	252 (18.2)	45 (22.7)	297 (18.8)
あまりそう思わない	338 (24.4)	63 (31.8)	401 (25.4)
すこしそう思う	458 (33.1)	66 (33.3)	524 (33.1)
とてもそう思う	335 (24.2)	24 (12.1)	359 (22.7)
合計	1,383 (100.0)	198 (100.0)	1,581 (100.0)

7 お父さんは、自分に気を使ってくれる

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	242 (17.5)	36 (18.0)	278 (17.6)
あまりそう思わない	307 (22.2)	38 (19.0)	345 (21.8)
すこしそう思う	541 (39.2)	84 (42.0)	625 (39.5)
とてもそう思う	291 (21.1)	42 (21.0)	333 (21.1)
合計	1,381 (100.0)	200 (100.0)	1,581 (100.0)

8 お父さんは、お父さんのことはがまんしても、自分のためにしてくれることがある

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	152 (11.0)	19 (9.5)	171 (10.8)
あまりそう思わない	247 (17.9)	34 (17.1)	281 (17.8)
すこしそう思う	505 (36.6)	65 (32.7)	570 (36.1)
とてもそう思う	476 (34.5)	81 (40.7)	557 (35.3)
合計	1,380 (100.0)	199 (100.0)	1,579 (100.0)

9 お父さんは、何か起こるといけないから、お父さんは、自分を外に任せないようになっている

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	719 (52.2)	93 (46.0)	812 (51.4)
あまりそう思わない	380 (27.6)	51 (25.2)	431 (27.3)
すこしそう思う	196 (14.2)	44 (21.8)	240 (15.2)
とてもそう思う	83 (6.0)	14 (6.9)	97 (6.1)
合計	1,378 (100.0)	202 (100.0)	1,580 (100.0)

10 お父さんは、自分にうるさく言いすぎる

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	363 (26.3)	64 (31.5)	427 (27.0)
あまりそう思わない	561 (40.6)	70 (34.5)	631 (39.8)
すこしそう思う	272 (19.7)	44 (21.7)	316 (19.9)
とてもそう思う	185 (13.4)	25 (12.3)	210 (13.3)
合計	1,381 (100.0)	203 (100.0)	1,584 (100.0)

11 お父さんは、親切で思いやりのある人だと思う

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	117 (8.5)	15 (7.4)	132 (8.3)
あまりそう思わない	240 (17.4)	36 (17.7)	276 (17.5)
すこしそう思う	514 (37.3)	68 (33.5)	582 (36.8)
とてもそう思う	507 (36.8)	84 (41.4)	591 (37.4)
合計	1,378 (100.0)	203 (100.0)	1,581 (100.0)

12 お父さんは、自分との約束をよく破る

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	623 (45.2)	93 (46.0)	716 (45.3)
あまりそう思わない	470 (34.1)	61 (30.2)	531 (33.6)
すこしそう思う	176 (12.8)	33 (16.3)	209 (13.2)
とてもそう思う	108 (7.8)	15 (7.4)	123 (7.8)
合計	1,377 (100.0)	202 (100.0)	1,579 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

資料9-2 表 母の養育態度について

1 お母さんは、自分の悩みや心配ごとをよく理解してくれる

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	100 (6.3)	16 (6.7)	116 (6.4)
あまりそう思わない	237 (15.0)	44 (18.4)	281 (15.4)
すこしそう思う	596 (37.6)	75 (31.4)	671 (36.8)
とてもそう思う	652 (41.1)	104 (43.5)	756 (41.4)
合計	1,585 (100.0)	239 (100.0)	1,824 (100.0)

2 お母さんは、自分を邪魔者扱いすることがある

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	1,038 (65.6)	136 (49.0)	1,174 (64.4)
あまりそう思わない	346 (21.9)	49 (20.5)	395 (21.7)
すこしそう思う	150 (9.5)	44 (18.4)	194 (10.6)
とてもそう思う	49 (3.1)	10 (4.2)	59 (3.2)
合計	1,583 (100.0)	239 (100.0)	1,822 (100.0)

3 お母さんは、お母さんの言うように子どもにさせたがる

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	506 (32.0)	69 (29.4)	575 (31.6)
あまりそう思わない	553 (35.0)	88 (37.4)	641 (35.3)
すこしそう思う	375 (23.7)	54 (23.0)	429 (23.6)
とてもそう思う	148 (9.4)	24 (10.2)	172 (9.5)
合計	1,582 (100.0)	235 (100.0)	1,817 (100.0)

4 お母さんは、自分とはあまり話をしないほうだ

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	981 (62.0)	159 (66.5)	1,140 (62.6)
あまりそう思わない	399 (25.2)	45 (18.8)	444 (24.4)
すこしそう思う	135 (8.5)	18 (7.5)	153 (8.4)
とてもそう思う	68 (4.3)	17 (7.1)	85 (4.7)
合計	1,583 (100.0)	239 (100.0)	1,822 (100.0)

5 お母さんといると楽しい

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	95 (6.0)	15 (6.3)	110 (6.0)
あまりそう思わない	336 (21.2)	23 (9.6)	359 (19.7)
すこしそう思う	669 (42.3)	59 (24.7)	728 (40.0)
とてもそう思う	481 (30.4)	142 (59.4)	623 (34.2)
合計	1,581 (100.0)	239 (100.0)	1,820 (100.0)

6 お母さんのような人になりたい

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	232 (14.7)	33 (13.9)	265 (14.6)
あまりそう思わない	488 (30.9)	50 (21.0)	538 (29.6)
すこしそう思う	547 (34.6)	70 (29.4)	617 (33.9)
とてもそう思う	314 (19.9)	85 (35.7)	399 (21.9)
合計	1,581 (100.0)	238 (100.0)	1,819 (100.0)

7 お母さんは、自分に気を使ってくれる

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	171 (10.9)	37 (15.6)	208 (11.5)
あまりそう思わない	259 (16.1)	49 (20.7)	303 (16.7)
すこしそう思う	615 (39.0)	86 (36.3)	701 (38.7)
とてもそう思う	536 (34.0)	65 (27.4)	601 (33.1)
合計	1,576 (100.0)	237 (100.0)	1,813 (100.0)

8 お母さんは、お母さんのことはがまんしても、自分のためにしてくれることがある

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	74 (4.7)	15 (6.3)	89 (4.9)
あまりそう思わない	143 (9.0)	22 (9.2)	165 (9.1)
すこしそう思う	494 (31.2)	55 (23.1)	549 (30.2)
とてもそう思う	870 (55.0)	146 (61.3)	1,016 (55.9)
合計	1,581 (100.0)	238 (100.0)	1,819 (100.0)

9 お母さんは、何か起こるといけないから、お母さんは、自分を外に行かせないようにしている

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	640 (40.4)	90 (38.1)	730 (40.1)
あまりそう思わない	420 (26.5)	65 (27.5)	485 (26.6)
すこしそう思う	372 (23.5)	59 (25.0)	431 (23.7)
とてもそう思う	153 (9.7)	22 (9.3)	175 (9.6)
合計	1,585 (100.0)	236 (100.0)	1,821 (100.0)

10 お母さんは、自分にうるさく言いすぎる

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	316 (19.9)	51 (21.5)	367 (20.2)
あまりそう思わない	532 (33.6)	85 (35.9)	617 (33.9)
すこしそう思う	476 (30.1)	62 (26.2)	538 (29.5)
とてもそう思う	260 (16.4)	39 (16.5)	299 (16.4)
合計	1,584 (100.0)	237 (100.0)	1,821 (100.0)

11 お母さんは、親切で思いやりのある人だと思う

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	62 (3.9)	15 (6.3)	77 (4.2)
あまりそう思わない	136 (8.6)	25 (10.5)	161 (8.9)
すこしそう思う	522 (33.0)	72 (30.4)	594 (32.7)
とてもそう思う	861 (54.5)	125 (52.7)	986 (54.2)
合計	1,581 (100.0)	237 (100.0)	1,818 (100.0)

12 お母さんは、自分との約束をよく破る

	男子	女子	合計
まったくそう思わない	749 (47.3)	101 (42.6)	850 (46.7)
あまりそう思わない	538 (34.0)	78 (32.9)	616 (33.8)
すこしそう思う	218 (13.8)	41 (17.3)	259 (14.2)
とてもそう思う	78 (4.9)	17 (7.2)	95 (5.2)
合計	1,583 (100.0)	237 (100.0)	1,820 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

資料9-3 表 育った家庭に対する満足度

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
満足している	909 (47.2)	798 (47.7)	373 (40.1)	425 (57.2)	111 (43.7)	56 (38.1)	55 (51.4)
まあ満足している	461 (23.9)	403 (24.1)	217 (23.3)	186 (25.0)	58 (22.8)	36 (24.5)	22 (20.6)
どちらともいえない	273 (14.2)	237 (14.2)	174 (18.7)	63 (8.5)	36 (14.2)	21 (14.3)	15 (14.0)
やや不満である	142 (7.4)	116 (6.9)	75 (8.1)	41 (5.5)	26 (10.2)	15 (10.2)	11 (10.3)
不満である	142 (7.4)	119 (7.1)	91 (9.8)	28 (3.8)	23 (9.1)	19 (12.9)	4 (3.7)
合計	1,927 (100.0)	1,673 (100.0)	930 (100.0)	743 (100.0)	254 (100.0)	147 (100.0)	107 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

2 「入院あり」とは、少年院入院が1度でもある者を、「入院なし」とは、少年院入院歴のない者を指す。

資料10-1 表 転職に対する考え方

	合計	男子	女子
職場に不満があっても、できるだけ一つの職場で働き続けるべきだ	1,258 (65.5)	1,108 (66.3)	150 (60.5)
職場に不満があれば、転職しても仕方がない	540 (28.1)	456 (27.3)	84 (33.9)
職場に不満がなくても、転職することはやむをえない	99 (5.2)	88 (5.3)	11 (4.4)
職場に不満がなくても、積極的に転職したほうがよい	23 (1.2)	20 (1.2)	3 (1.2)
合計	1,920 (100.0)	1,672 (100.0)	248 (100.0)

注 ()内は、構成比である。

資料10-2 表 仕事を選ぶときに大切なこと

	合計	男子	女子
収入が多いこと	268 (13.8)	226 (13.4)	42 (16.6)
自分の知識や技術が生かせること	354 (18.3)	318 (18.9)	36 (14.2)
働く時間がきちんときまっていること	169 (8.7)	147 (8.7)	22 (8.7)
職場の雰囲気がよいこと	267 (13.8)	238 (14.1)	29 (11.5)
かっこいい仕事であること	34 (1.8)	30 (1.8)	4 (1.6)
世の中のためになる仕事であること	64 (3.3)	56 (3.3)	8 (3.2)
仕事の内容が自分に合っていること	642 (33.1)	546 (32.4)	96 (37.9)
自分を高めることができること	125 (6.5)	110 (6.5)	15 (5.9)
通勤が便利なこと	14 (0.7)	13 (0.8)	1 (0.4)
合計	1,937 (100.0)	1,684 (100.0)	253 (100.0)

注 () 内は，構成比である。

資料10-3 表 仕事を探すときに気になること

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
年齢	131 (6.8)	111 (6.7)	51 (5.5)	60 (8.1)	20 (8.0)	9 (6.3)	11 (10.5)
学歴	579 (30.2)	502 (30.1)	278 (30.1)	224 (30.2)	77 (30.9)	48 (33.3)	29 (27.6)
今までに非行があったこと	383 (20.0)	322 (19.3)	179 (19.4)	143 (19.3)	61 (24.5)	33 (22.9)	28 (26.7)
専門的な資格や技術	361 (18.9)	317 (19.0)	161 (17.4)	156 (21.1)	44 (17.7)	22 (15.3)	22 (21.0)
仕事に関する知識や経験	461 (24.1)	414 (24.8)	256 (27.7)	158 (21.3)	47 (18.9)	32 (22.2)	15 (14.3)
合計	1,915 (100.0)	1,666 (100.0)	925 (100.0)	741 (100.0)	249 (100.0)	144 (100.0)	105 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

2 「入院あり」とは、少年院入院が1度でもある者を、「入院なし」とは、少年院入院歴のない者を指す。

資料11-1 表 規範意識

		合計			男子			女子		
		合計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
学校をさぼる	度数	1,925	1,078	847	1,673	932	741	252	146	106
	平均値	2.1	2.3	1.9	2.1	2.3	1.9	2.3	2.4	2.0
	標準偏差	1.0	1.1	0.9	1.0	1.1	0.9	1.0	1.1	0.9
スーパーやコンビニで万引きをする	度数	1,927	1,079	848	1,673	932	741	254	147	107
	平均値	1.2	1.3	1.1	1.2	1.3	1.1	1.3	1.4	1.2
	標準偏差	0.6	0.6	0.4	0.6	0.6	0.4	0.6	0.7	0.5
タバコを吸う	度数	1,923	1,075	848	1,670	929	741	253	146	107
	平均値	2.2	2.4	1.9	2.2	2.4	1.9	2.1	2.2	1.9
	標準偏差	1.1	1.2	1.0	1.1	1.2	1.0	1.1	1.1	1.0
友だちと夜遅くまで街で遊ぶ	度数	1,924	1,077	847	1,671	931	740	253	146	107
	平均値	2.2	2.4	2.0	2.2	2.4	2.0	2.1	2.2	2.0
	標準偏差	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	0.9
道端においてある他人の自転車に勝手に乗る	度数	1,923	1,076	847	1,671	930	741	252	146	106
	平均値	1.3	1.4	1.2	1.3	1.3	1.1	1.3	1.5	1.2
	標準偏差	0.6	0.7	0.4	0.6	0.7	0.4	0.7	0.8	0.4
クラスの友だちをいじめめる	度数	1,926	1,078	848	1,673	931	742	253	147	106
	平均値	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2	1.1
	標準偏差	0.5	0.5	0.4	0.5	0.5	0.4	0.6	0.7	0.4
シンナー，覚せい剤などの薬物を使う	度数	1,926	1,078	848	1,674	932	742	252	146	106
	平均値	1.1	1.2	1.1	1.1	1.2	1.1	1.2	1.2	1.1
	標準偏差	0.5	0.6	0.3	0.4	0.5	0.3	0.5	0.6	0.3
授業中，席を立ったり，大声を出して騒ぐ	度数	1,925	1,077	848	1,672	931	741	253	146	107
	平均値	1.7	1.8	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7
	標準偏差	0.9	0.9	0.8	0.9	0.9	0.8	0.9	1.0	0.9

注 「入院あり」とは，少年院入院が1度でもある者を，「入院なし」とは，少年院入院歴のない者を指す。

資料11 - 2 表 規範意識

(年齢層別)

		合計	触法少年	年少少年	中間少年	年長少年	20歳以上
学校をさぼる	度数	1,943	4	343	678	788	130
	平均値	2.1	2.3	2.0	2.1	2.2	2.4
	標準偏差	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1
スーパーやコンビニで万引きをする	度数	1,945	4	344	678	789	130
	平均値	1.2	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2
	標準偏差	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	0.4
タバコを吸う	度数	1,941	4	344	675	788	130
	平均値	2.2	3.0	2.0	2.1	2.2	2.4
	標準偏差	1.1	0.8	1.1	1.1	1.1	1.2
友だちと夜遅くまで街で遊ぶ	度数	1,942	4	344	675	789	130
	平均値	2.2	2.5	2.1	2.2	2.3	2.5
	標準偏差	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1
道端においてある他人の自転車に勝手に乗る	度数	1,941	4	344	676	787	130
	平均値	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2
	標準偏差	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5
クラスの友だちをいじる	度数	1,944	4	345	678	787	130
	平均値	1.2	1.3	1.2	1.1	1.2	1.1
	標準偏差	0.5	0.5	0.6	0.4	0.5	0.4
シンナー、覚せい剤などの薬物を使う	度数	1,944	4	344	678	788	130
	平均値	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1
	標準偏差	0.5	0.0	0.4	0.4	0.5	0.5
授業中、席を立ったり、大声を出して騒ぐ	度数	1,942	4	345	676	787	130
	平均値	1.7	1.5	1.8	1.7	1.7	1.6
	標準偏差	0.9	0.6	0.9	0.9	0.9	0.9

注 年齢層の内訳は、次のとおりである。

「触法少年」14歳未満，「年少少年」：14・15歳，「中間少年」：16・17歳，

「年長少年」：18・19歳

資料12-1 表 規範意識

	合計	男子	女子
どんなことがあっても、きまりは守らなくてはいけない	1,415 (72.8)	1243 (73.6)	172 (67.5)
つまらないなら、きまりは守らなくてよい	58 (3.0)	50 (3.0)	8 (3.1)
自分のやりたいことがあれば、きまりを守らなくても仕方がない	77 (4.0)	61 (3.6)	16 (6.3)
人に迷惑をかけていなければ、きまりを守らなくても、しかたがない	381 (19.6)	323 (19.1)	58 (22.7)
きまりを守る必要はない	14 (0.7)	13 (0.8)	1 (0.4)
合計	1,945 (100.0)	1,690 (100.0)	255 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

資料12-2 表 少年鑑別所入所・少年院入院の納得度

	合計	少年院	少年鑑別所
運が悪かった	55 (2.8)	41 (4.2)	14 (1.5)
納得していないし、処分が重と思う	51 (2.6)	29 (3.0)	22 (2.3)
納得していないが、自分のしたことだから仕方がない	239 (12.3)	156 (16.0)	83 (8.6)
自分のしたことなので、納得している	1552 (80.2)	720 (73.8)	832 (86.7)
よくわからない	39 (2.0)	30 (3.1)	9 (0.9)
合計	1,936 (100.0)	976 (100.0)	960 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

資料12-3 表 少年院入院の納得度（少年院在院者）

	合計	特修短期 処 遇	短期処遇	長期処遇
運が悪かった	41 (4.2)	0 (0.0)	4 (2.0)	37 (4.8)
納得していないし、処分が重いと思う	29 (3.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	29 (3.8)
納得していないが、自分のしたことだから仕方 がない	156 (16.0)	0 (0.0)	27 (13.2)	129 (16.7)
自分のしたことなので、納得している	720 (73.8)	1 (0.5)	170 (83.3)	549 (71.2)
よくわからない	30 (3.1)	0 (0.0)	3 (1.5)	27 (3.5)
合計	976 (100.0)	1 (100.0)	204 (100.0)	771 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

資料12-4 表 非行を止めてくれる人

	合計	男子	女子
父	158 (8.2)	140 (8.4)	18 (7.2)
母	235 (12.2)	203 (12.1)	32 (12.7)
兄弟姉妹	52 (2.7)	42 (2.5)	10 (4.0)
祖父祖母	27 (1.4)	23 (1.4)	4 (1.6)
友だち・仲間	421 (21.9)	369 (22.0)	52 (20.7)
先輩	123 (6.4)	118 (7.0)	5 (2.0)
恋人	493 (25.6)	431 (25.7)	62 (24.7)
職場の人	21 (1.1)	20 (1.2)	1 (0.4)
その他の人	72 (3.7)	62 (3.7)	10 (4.0)
誰が止めても 事件を起こした	324 (16.8)	267 (15.9)	57 (22.7)
合計	1,926 (100.0)	1,675 (100.0)	251 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

資料12-5 表 非行を止めてくれる人

	合計	入院あり	入院なし
父	155 (8.1)	76 (7.1)	79 (9.4)
母	235 (12.3)	85 (7.9)	150 (17.9)
兄弟姉妹	51 (2.7)	30 (2.8)	21 (2.5)
祖父祖母	27 (1.4)	17 (1.6)	10 (1.2)
友だち・仲間	417 (21.8)	176 (16.4)	241 (28.7)
先輩	122 (6.4)	78 (7.3)	44 (5.2)
恋人	488 (25.5)	281 (26.2)	207 (24.7)
職場の人	21 (1.1)	12 (1.1)	9 (1.1)
その他の人	70 (3.7)	40 (3.7)	30 (3.6)
誰が止めても 事件を起こした	324 (17.0)	276 (25.8)	48 (5.7)
合計	1,910 (100.0)	1,071 (100.0)	839 (100.0)

注1（ ）内は、構成比である。

2 「入院あり」とは、少年院入院が1度でもある者を、
「入院なし」とは、少年院入院歴のない者を指す。

資料13-1 表 被害者に責任を果たすこと

	合計	殺人	強盗	傷害・暴行	恐喝	窃盗	強姦・強姦 わいせつ	覚せい剤取 締法違反	毒物及び劇物 取締法違反	道路交通法 違反	く 犯	その他
少年鑑別所・少年院に収容さ れること	70 (3.6)	0 (0.0)	2 (1.7)	17 (5.1)	4 (2.9)	26 (3.7)	1 (1.6)	6 (9.7)	2 (3.9)	2 (1.0)	3 (4.5)	7 (3.7)
金品の弁償・示談や保険に よる賠償金支払い	399 (20.6)	3 (27.3)	23 (19.0)	52 (15.5)	26 (19.1)	194 (27.6)	10 (15.9)	9 (14.5)	7 (13.7)	28 (13.9)	5 (7.6)	42 (22.1)
謝罪の手紙・ 会って謝罪すること	479 (24.7)	0 (0.0)	25 (20.7)	94 (28.0)	34 (25.0)	196 (27.9)	11 (17.5)	12 (19.4)	12 (23.5)	39 (19.4)	17 (25.8)	39 (20.5)
被害者の気持ち を考へること	624 (32.2)	4 (36.4)	33 (27.3)	115 (34.2)	43 (31.6)	196 (27.9)	19 (30.2)	20 (32.3)	20 (39.2)	84 (41.8)	20 (30.3)	70 (36.8)
被害者がして何をしてほし いかを理解すること	166 (8.6)	3 (27.3)	17 (14.0)	20 (6.0)	12 (8.8)	54 (7.7)	8 (12.7)	7 (11.3)	3 (5.9)	13 (6.5)	9 (13.6)	20 (10.5)
被害者やその家族に 許してもらふこと	104 (5.4)	2 (18.2)	9 (7.4)	23 (6.8)	12 (8.8)	24 (3.4)	4 (6.3)	0 (0.0)	2 (3.9)	11 (5.5)	2 (3.0)	15 (7.9)
社会での更生・非行を しないまじめな生活	1,035 (53.4)	1 (9.1)	48 (39.7)	172 (51.2)	68 (50.0)	405 (57.6)	32 (50.8)	29 (46.8)	30 (58.8)	112 (55.7)	40 (60.6)	98 (51.6)
一生事件を忘れず 謝罪の気持ちを表すこと	953 (49.1)	9 (81.8)	81 (66.9)	169 (50.3)	71 (52.2)	302 (43.0)	39 (61.9)	37 (59.7)	24 (47.1)	109 (54.2)	29 (43.9)	83 (43.7)
その他	50 (2.6)	0 (0.0)	4 (3.3)	10 (3.0)	2 (1.5)	9 (1.3)	2 (3.2)	4 (6.5)	2 (3.9)	4 (2.0)	7 (10.6)	6 (3.2)
合計	1,940	11	121	336	136	703	63	62	51	201	66	190

注1 () 内は、比率である。
注2 重複選択 (2つまで) である。

資料13-2 表 少年鑑別所・少年院職員への信頼

	合計	少年鑑別所	少年院
信頼できる	966 (50.0)	544 (56.4)	422 (43.6)
まあ信頼できる	673 (34.8)	326 (33.8)	347 (35.8)
あまり信頼できない	165 (8.5)	53 (5.5)	112 (11.6)
信頼できない	129 (6.7)	41 (4.3)	88 (9.1)
合計	1,933 (100.0)	964 (100.0)	969 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

資料13-3 表 少年鑑別所・少年院職員への信頼

	合計	男子			女子		
		計	入院あり	入院なし	計	入院あり	入院なし
信頼できる	960 (50.1)	846 (50.8)	414 (44.7)	432 (58.4)	114 (45.6)	61 (42.4)	53 (50.0)
まあ信頼できる	662 (34.6)	564 (33.9)	327 (35.3)	237 (32.0)	98 (39.2)	56 (38.9)	42 (39.6)
あまり信頼できない	165 (8.6)	138 (8.3)	98 (10.6)	40 (5.4)	27 (10.8)	20 (13.9)	7 (6.6)
信頼できない	129 (6.7)	118 (7.1)	87 (9.4)	31 (4.2)	11 (4.4)	7 (4.9)	4 (3.8)
合計	1,916 (100.0)	1,666 (100.0)	926 (100.0)	740 (100.0)	250 (100.0)	144 (100.0)	106 (100.0)

注1 () 内は、構成比である。

2 「入院あり」とは、少年院入院が1度でもある者を、「入院なし」とは、少年院入院歴のない者を指す。

資料13-4 表 少年鑑別所・少年院の生活は再非行防止に役に立つか

	合計	少年鑑別所	少年院
役に立つ	1,360 (70.2)	805 (83.4)	555 (57.0)
まあ役に立つ	282 (14.6)	86 (8.9)	196 (20.1)
あまり役に立たない	64 (3.3)	8 (0.8)	56 (5.8)
役に立たない	82 (4.2)	21 (2.2)	61 (6.3)
どちらともいえない	150 (7.7)	45 (4.7)	105 (10.8)
合計	1,938 (100.0)	965 (100.0)	973 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

資料13-5 表 少年鑑別所退所・少年院出院後の生活設計

	合計	少年鑑別所	少年院
はっきりとした目標をもっている	1,207 (62.2)	770 (79.7)	437 (44.9)
はっきりとしていないが、だいたいの目標はもっている	622 (32.1)	183 (18.9)	439 (45.1)
考えたことはあるが、まだ決めていない	104 (5.4)	12 (1.2)	92 (9.5)
考えたことはない	6 (0.3)	1 (0.1)	5 (0.5)
合計	1,939 (100.0)	966 (100.0)	973 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

04 II

04 II

CARIC調査 (職員用調査票)

CARIC調査 (少年院用調査票)

矯正協会附属中央研究所

記入方法

- ① 調査対象となった少年一人について一紙作成してください。
- ② 調査票は、少年院用調査票の処理番号と一致するようにしてください。
- ③ 記入に関しては、少年矯正生活指導課によって記入してください。

調査日：平成16年 月 日
 施設名： _____

問	項
1	保護者 (該当する番号に一つ印を付けてください) 1 実父 2 実父 3 実母 4 実父実母 5 養父実母 6 養父母 7 その他指定 8 不詳・なし
2	兄弟姉妹の人数 () 内に人数を数字で記入してください
3	1 兄 () 人 2 姉 () 人 3 弟 () 人 4 妹 () 人 (兄弟姉妹の保護者別 (実保護者・児童福祉施設・児童自立支援施設) 別) 既の有無 (該当する番号の番号す べてに印を付けてください)
4	1 兄 2 姉 3 弟 4 妹 (兄弟姉妹の不良集団 (暴力団・暴力団加入) の有無 (該当する者の番号すべてに印を付けてください))
5	1 兄 2 姉 3 弟 4 妹 (兄弟姉妹の薬物使用 (大麻・大麻・覚せい剤・有毒薬物)・痴人) 歴の有無 (該当する者の番号すべて に印を付けてください)
2	1 兄 2 姉 3 弟 4 妹 今回の非行名 (主たる非行名の番号に一つ印を付けてください)
非行	1 窃盗 2 横断・暴行 3 恐喝 4 強盗 5 強姦・強姦口挿 6 器物及び植物 (凶 器) 7 覚せい剤 8 道路交通法 9 くり 10 殺人 11 その他 今回の非行による被害者の死の有無 (該当する番号に一つ印を付けてください)
2	1 死んでいる 2 死していない 3 被害者ではない (少年院の拘留) 調査日現在の分類及び教育課程
3	1 分類 () (第一次分類のみ記入してください。例：AE1) 2 教育課程 (該当する番号に一つ印を付けてください) (1) 新人長期 (2) 中長期 (3) 出所準備

御協力ありがとうございます。

これは、みなさんが、学校、友人、家族などについてどのように考えているかを尋ねる調査です。考え方は滑うので、どの答えが正しいとか、間違っているということはありません。また、この結果は、全員の名をまとめますので、名前を書く必要はありません。みなさんの成績とも関係がありませんから、思ったままを答えてください。

この答え方

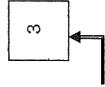
例1 あなたの考えにあてはまる番号を一つだけ選んで、○をつけてください。
 私は、サッカーをすることが好きである。

- 1 あてはまらない
- 2 あまりあてはまらない
- 3 すこしあてはまる
- 4 あてはまる

→ 「あてはまる」を選んだときは、4の番号に直接○をつけてください。

例2 あなたの考えにあてはまる番号を一つだけ選んで、その番号を口の半に書いてください。
 質問 好きな色を選んで、あてはまる番号を一つだけ書いてください。

- 1 赤
- 2 青
- 3 黄
- 4 緑
- 5 白



好きな色が「黄」の場合は、右側の口の画像に「3」と赤めます。

裏のページから裏面に記入します。裏のページに選んだ番号で裏面に答えてください。

(注) 少年院別所調査票は、少年院用調査票とはほぼ同内容であることから、少年院用調査票を掲載した。

Q7 少年院に入院したのは、今回を含めて何回ですか。あてはまる番号を書き込んでください。

- 1 はじめて（1回） 2 2回以上

Q8 あなたの学歴について、次の中から、あてはまる番号を一つだけ書いてください。

- 1 中学校卒業
 2 中学校卒業
 3 高校・専門学校在学中
 4 高校・専門学校中退
 5 高校・専門学校卒業
 6 その他

Q9 少年院に入院する前に通っていた学校の生活について質問します。次の1から10までの項目のそれぞれについて、あなたの考えに一番近い番号に一つだけ○をつけてください。

- 1 授業の内容はよくわかった 2 どちらかといえそう思った
 3 どちらともいえない 4 どちらかといえそう思わなかった
 5 そう思わなかった
 2 クラブ活動や部活動は楽しかった 2 どちらかといえそう思った
 3 そう思った 4 どちらかといえそう思わなかった
 5 そう思わなかった
 3 学校の校則は厳しかった 2 どちらかといえそう思った
 1 そう思った 4 どちらかといえそう思わなかった
 3 どちらともいえない 2 どちらかといえそう思わなかった
 5 そう思わなかった
 4 友だちは学校以外の友だちとすぐすまうが楽しかった 2 どちらかといえそう思った
 1 そう思った 4 どちらかといえそう思わなかった
 3 どちらともいえない 4 どちらかといえそう思わなかった
 5 そう思わなかった

Q1 あなたは、どちらの性別ですか。番号を書き込んでください。

- 1 男 2 女

Q2 あなたは、いま何歳ですか。年齢を書き込んでください。

Q3 今回の事件のときに一緒に暮らしていた人は誰ですか。次の中から、あてはまる番号のすべてに○をつけてください。父、母とは、実の父や母、養理の父や母、父親代わり、母親代わりの人のことです。兄弟姉妹とは、実の兄弟姉妹や養理の兄弟姉妹のことです。

- 1 一人暮らし 6 配偶者（夫・妻）（内縁関係を含みます。）
 2 父 7 友だち・同僚・先輩
 3 母 8 恋人
 4 兄弟姉妹 9 その他の人
 5 祖父祖母（養理の祖父祖母を含みます。）

Q4 あなたは、兄弟姉妹がいますか。あてはまる番号を一つだけ書いてください。

- 1 1人っ子（兄弟姉妹は、いない）
 2 きょうだいの中で、一番上
 3 きょうだいの中で、一番下
 4 きょうだいの中で、一番上でも、一番下でもない

Q5 あなたは、今回の事件で少年鑑別所に入所したとき、仕事をしましたか。あてはまる番号を書き込んでください。

- 1 仕事をしていた 2 仕事をしていた

Q6 少年鑑別所に入所したのは、今回を含めて何回ですか。あてはまる番号を書き込んでください。

- 1 はじめて（1回） 2 2回以上



- 5 学校生活で後に立つものはない
- Q11 あなたは学校生活に、どのくらい満足していましたか。学校に通っていた当時の気持ちを思い出して、あてはまる番号を一つだけ書いてください。
- 1 満足していた 2 まあ満足していた
- 3 どちちともいいえない 4 やや不満であった
- 5 不満であった



- Q12 あなたの友だちについて、次の1から7までの質問のそれぞれについて、あてはまる番号に、一つだけOをつけてください。

- 1 困ったときに助けてくれる友だち
 - 1 いない 2 1人 3 2~3人
 - 4 4~5人 5 6~9人 6 10人以上
- 2 悩みや不満を聞いてくれる友だち
 - 1 いない 2 1人 3 2~3人
 - 4 4~5人 5 6~9人 6 10人以上
- 3 自分を大切にしてくれる友だち
 - 1 いない 2 1人 3 2~3人
 - 4 4~5人 5 6~9人 6 10人以上
- 4 自分を成長させてくれる友だち
 - 1 いない 2 1人 3 2~3人
 - 4 4~5人 5 6~9人 6 10人以上
- 5 言にくいことも言ってくれる友だち
 - 1 いない 2 1人 3 2~3人
 - 4 4~5人 5 6~9人 6 10人以上
- 6 親友と呼べる友だち
 - 1 いない 2 1人 3 2~3人
 - 4 4~5人 5 6~9人 6 10人以上
- 7 気楽に話したり、一緒に遊ぶ友だち
 - 1 いない 2 1人 3 2~3人
 - 4 4~5人 5 6~9人 6 10人以上

- Q13 入居前にあなたが友だちと一緒にいた時間のことについて聞きます。あてはま

- 5 学校は楽しかった
 - 1 そう思った 2 どちちかといえはそう思った
 - 3 どちちともいいえない 4 どちちかといえはそう思わなかった
 - 5 そう思わなかった
- 6 できることなら学校をやめたいと思った
 - 1 そう思った 2 どちちかといえはそう思った
 - 3 どちちともいいえない 4 どちちかといえはそう思わなかった
 - 5 そう思わなかった
- 7 先生は生徒のことを公平に取り扱っていた
 - 1 そう思った 2 どちちかといえはそう思った
 - 3 どちちともいいえない 4 どちちかといえはそう思わなかった
 - 5 そう思わなかった
- 8 クラスでは、いじめられていた
 - 1 そう思った 2 どちちかといえはそう思った
 - 3 どちちともいいえない 4 どちちかといえはそう思わなかった
 - 5 そう思わなかった
- 9 先生を信頼していた
 - 1 そう思った 2 どちちかといえはそう思った
 - 3 どちちともいいえない 4 どちちかといえはそう思わなかった
 - 5 そう思わなかった
- 10 クラスの中では浮いていた
 - 1 そう思った 2 どちちかといえはそう思った
 - 3 どちちともいいえない 4 どちちかといえはそう思わなかった
 - 5 そう思わなかった

- Q10 入居前に通っていた学校での勉強について、あなたの考えに一番近い番号を一つだけ書いてください。
- 1 自分で決めた通学に連むために必要な勉強であり、興味がある
- 2 将来人並みの生活をするためには、学校の勉強は必要だと思う
- 3 学校の勉強が将来役に立つとは思われないが、仕方がないから勉強する
- 4 学校の勉強は役に立たないし、やりたくないが、クラブ活動や友だちとの付き合いは楽しい

番号をつけて書いてください。土曜・日曜日も含む休日に友だちと一緒に過ごす時間を平均すると、だいたいどれくらいでしたか。

- 1 ほとんどない
- 2 30分くらい
- 3 1時間から2時間くらい
- 4 3時間以上

Q14 あなたが友だちと話をしたり、連絡する方法について聞きます。次の中から一番使っていたものの番号を一つだけ書いてください。

- 1 携帯電話
- 2 携帯電話のメール
- 3 直接会う
- 4 家の電話
- 5 家のパソコンのメール

Q15 あなたは友だちとの付き合いに、どのくらい満足していますか。あてはまる番号を一つだけ書いてください。

- 1 満足していた
- 2 まあ満足していた
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満だった
- 5 不満だった

Q16 家族と一緒にいたとき、あなたは、どんな話をしていましたか。次の中から、あてはまるものを3つ選んで、その番号に○をつけてください。「1」を選んだ人は、そのほかの番号には○をつけなくてもいい。

- 1 結婚している人は、結婚前のことを思い出して、答えてください。
 1 家族のこと
 2 普段の自分の生活のこと
 3 自分の性格や悩み
 4 友だちのこと
 5 異性との交際のこと
 6 学校や学生のこと
 7 職場や仕事のこと
 8 近所の出来事のこと
 9 遊びや趣味のこと
 10 社会の出来事やニュース
 11 連絡や将来のこと
 12 (1から11以外の) その他のこと
 13 家族と話をすれば、けんかはかりしていた
 14 ほとんど話をしなかった

Q17 一日の生活の中で家族と一緒にすごしていた時間のことについて聞きます。家族と一緒にすごしていた時間を平均すると、だいたいどれくらいですか。あてはまる番号を一つだけ書いてください。

結婚している人は、結婚前のことを思い出して答えてください。

- 1 ほとんどない
- 2 30分くらい
- 3 1時間から2時間くらい
- 4 3時間以上

Q18 あなたのお父さんについて、次の1から12までの文章を読んで、それぞれ質問について、あなたの考えに一番近いと思う番号に、一つだけ○をつけてください。

「お父さん」というのは、実の父、養父、父親代わりの人のことです。家の都合などで「お父さん」のいない人は、答える必要はありません。

- 1 お父さんは、自分の悩みや心配ごとをよく理解してくれる
 1 まったくそう思わない
 2 あまりそう思わない
 3 すこしそう思う
 4 とてもそう思う
- 2 お父さんは、自分を邪魔者扱いすることがある
 1 まったくそう思わない
 2 あまりそう思わない
 3 すこしそう思う
 4 とてもそう思う
- 3 お父さんは、お父さんの言うように自分になさされたがる
 1 まったくそう思わない
 2 あまりそう思わない
 3 すこしそう思う
 4 とてもそう思う
- 4 お父さんは、自分とはあまり話さないほうだ
 1 まったくそう思わない
 2 あまりそう思わない
 3 すこしそう思う
 4 とてもそう思う
- 5 お父さんと一緒にいると楽しい
 1 まったくそう思わない
 2 あまりそう思わない
 3 すこしそう思う
 4 とてもそう思う
- 6 お父さんのような人になりたい
 1 まったくそう思わない
 2 あまりそう思わない
 3 すこしそう思う
 4 とてもそう思う
- 7 お父さんは、自分に気を使ってくれる
 1 まったくそう思わない
 2 あまりそう思わない
 3 すこしそう思う
 4 とてもそう思う
- 8 お父さんは、お父さんのことはがまんしても、自分のためにしてくれることがある
 1 まったくそう思わない
 2 あまりそう思わない

- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 6 お母さんのような人になりたい
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 7 お母さんは、自分に気を配ってくれる
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 8 お母さんは、お母さんのことはがまんしても、自分のためにしてくれることがある

- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 9 お母さんは、何か起こるといけないから、お母さんは、自分を外に行かせないよにしている
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 10 お母さんは、自分うるさく言いきる
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 11 お母さんは、親切で思いやりのある人だと思ふ

- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 12 お母さんは、自分の約束をよく破る
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う

- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 13 お母さんは、自分と約束をよく破る
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う

Q20 あなたは、自分の育った家庭について、どのくらい満足していますか。あてはまる番号を一つだけ書いてください。

1 満足している	2 まあ満足している
3 どちらともいえない	4 やや不満である
5 不満である	

Q21 結婚(仕事を変えること)について、どのように考えていますか。次の中から、

- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 9 お父さんは、何か起こるといけないから、お父さんは自分を外に行かせないよにしている
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 10 お父さんは、自分うるさく言いきる
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 11 お父さんは、親切で思いやりのある人だと思ふ

- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 12 お父さんは、自分の約束をよく破る
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う

Q19 あなたのお母さんについて、質問します。次の1から12までの文章を讀んで、それぞれの質問について、あなたの考えに一審近いと思ふ番号に、一つだけ○をつけてください。

「お母さん」というのは、実の母、養理の母、母親代わりの人のことです。家の都合などで「お母さん」のいない人は、答える必要はありません。

- 1 お母さんは、自分の悩みや心配ごとをよく理解してくれる
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 2 お母さんは、自分を邪魔者扱いすることがある
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 3 お母さんは、お母さんの言うように子どもにさせながら

- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 4 お母さんは、自分と話をしないほうだ
- 1 まったくそそう思わない 2 あまりそそう思わない
- 3 すこしそそう思う 4 とてもそそう思う
- 5 お母さんといると楽しい

- 1 学校をさぼる
- 1 悪い 2 少し悪い
 - 3 あまり悪くない 4 悪くない
- 2 スーパーやコンビニで万引きする
- 1 悪い 2 少し悪い
 - 3 あまり悪くない 4 悪くない
- 3 タバコを吸う
- 1 悪い 2 少し悪い
 - 3 あまり悪くない 4 悪くない
- 4 友だちと夜遅くまで街で遊ぶ
- 1 悪い 2 少し悪い
 - 3 あまり悪くない 4 悪くない
- 5 道端においてある他人の自転車に勝手に乗る
- 1 悪い 2 少し悪い
 - 3 あまり悪くない 4 悪くない
- 6 クラスの友だちをいじめる
- 1 悪い 2 少し悪い
 - 3 あまり悪くない 4 悪くない
- 7 シンナー、覚せい剤などの薬物を使う
- 1 悪い 2 少し悪い
 - 3 あまり悪くない 4 悪くない
- 8 授業中、席を立ったり、大声を出して騒ぐ
- 1 悪い 2 少し悪い
 - 3 あまり悪くない 4 悪くない

Q26. 社会のきまりについて、あなたはどのように考えていますか。あなたの考えに一番近い番号を一つだけ書いてください。

- 1 どんなことがあっても、きまりは守らなくてはいけないと思う
- 2 つかまらぬなら、きまりは守らなくてよい
- 3 自分のやりたいことがあれば、きまりを守らなくても、しかたがない
- 4 人に迷惑をかけるいけないければ、きまりは守らなくてよい
- 5 きまりを守る必要はない

あなたの考えに一番近い番号を一つだけ書いてください。
職場に不満があっても、できるだけ一つの職場で働き続けるべきだ
職場に不満があれば、転職しても仕方がない
職場に不満がなくても、転職することはやむをえない
職場に不満がなくても、積極的に転職したほうがよい

Q22. あなたが仕事を選ぶときには、どのようなことが大切だと感じますか。次の中から一番大切だと思う番号を一つだけ書いてください。

- 1 収入が多いこと
- 2 自分の知識や技術が活かせること
- 3 休みがきちんととれるなど、働く時間がきちんときまっていること
- 4 職場の雰囲気がいよこと
- 5 かつこいい仕事であること
- 6 世の中のためになる仕事であること
- 7 仕事の内容が自分に合っていること
- 8 自分を磨めることができること
- 9 通勤が便利なこと

Q23. あなたがこれから先、仕事を探すときに、一番気になることは何だと感じますか。あてはまる番号を一つだけ書いてください。

- 1 年齢
- 2 学歴
- 3 今までに非行があったこと
- 4 専門的な資格や技術
- 5 仕事に関する知識や経験

Q24. 少年院での職業指導は、出院後の生活に役に立つと思いますか。あなたの考えに一番近い番号を一つだけ書いてください。

- 1 役に立つ
- 2 まあ役に立つ
- 3 あまり役に立たない
- 5 どちらともいえない

Q25. あなたは、「中学生」が次のようなことをしたら、どう思いますか。次の1から8までの質問のそれぞれについて、あてはまる番号を一つだけ選んで、○をつけてください。

Q27 あなたは、少年院に入院することになったことについて、どのように考えていますか。あなたの考えに一番近い番号を一つだけ書いてください。

- 1 通が良かった
- 2 納得していないし、処分が重いと思う
- 3 納得していないが、自分のしたことだから仕方がない
- 4 自分のしたことなので、納得している
- 5 よくわからない

Q28 あなたは、少年院の非行の原因について、どのように考えていますか。次の1番から5番までについて、あなたの考えに一番近いものから順に、下の口の中に番号を書いてください。

- 1 学校・先生
- 2 親・家族
- 3 付き合い合っている友だち・仲間・先輩
- 4 自分自身
- 5 自分をとり巻く地域や社会の環境

→ (あなたの考えに一番近いものから書いてください。)

--	--	--	--	--

Q29 あなたは、誰が止めてくれたら、今回の事件をおさなかつたと思いませんか。次の中から、あてはまる番号を一つだけ書いてください。

- 1 母
- 2 兄
- 3 兄弟姉妹
- 4 祖父祖母
- 5 友だち・仲間
- 6 先輩
- 7 恋人
- 8 職場の人
- 9 その他の人
- 10 誰が止めても、事件をおこした

Q30 今回、少年院に入院することになった事件の被害者はいましたか。あてはまる番号を一つだけ書いてください。

- 1 いる
- 2 いない
- 3 わからない

Q31 被害者に対して責任を果たすことは、どんなことだと感じますか。あなたの考えに近い番号を一つだけ選んで、その番号を書いてください。

被害者が死んでいる場合は被害者の家族も言わせて考えてください。被害者がいない人、被害者がいるかどうか分からない人も全員答えてください。

- 1 少年院に収容されること
- 2 金品の弁償、示談や保釈による賠償金などの支払いをすること
- 3 謝罪の手紙を出したり、被害者に会って謝罪をすること
- 4 被害者の気持ちを考えること
- 5 被害者が何をしてほしいか、何をしてほしくないかを理解すること
- 6 被害者やその家族に許してもらうこと
- 7 社会で更生すること
- 8 一生、事件を忘れず、被害者に謝罪の気持ちを表すこと
- 9 その他のこと

--	--

Q32 あなたは、少年院の先生は信頼できると感じますか。あなたの考えに近い番号を一つだけ書いてください。

- 1 信頼できる
- 2 まあ信頼できる
- 3 あまり信頼できない
- 4 信頼できない

Q33 少年院での生活は再び非行を感ぜさせないようにするために役に立つと思いませんか。あなたの考えに一番近い番号を一つだけ書いてください。

- 1 役に立つ
- 2 まあ役に立つ
- 3 あまり役に立たない
- 4 役に立たない
- 5 どちらともいえない

Q34 あなたは、少年院を出院した後の生活について、どのように考えていますか。あなたの考えに近い番号を一つだけ書いてください。

- 1 はつきりとした目標を持っている
- 2 はつきりとしていないが、だいたいの目標はもっている
- 3 考えたことはあるが、まだ決めていない
- 4 考えたことはない

Q35 あなたは、将来の希望について、どのように考えていますか。次の中から、あなたの考えに一番近い番号を一つだけ書いてください。

- 1 お金持ちになりたい
- 2 有名な人になりたい
- 3 高い地位につきたい
- 4 社会のために尽くしたい
- 5 趣味を生かした生活をしたい
- 6 家族と幸せに暮らしたい
- 7 のんきに暮らしたい
- 8 どうでもいい
- 9 わからない